

祭りの実態調査2019 調査報告書

「祭りの実態調査」

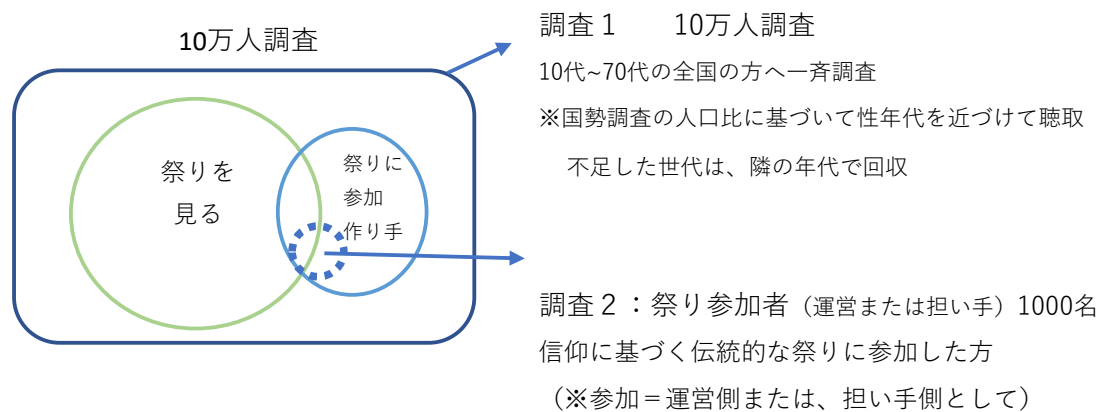
- 調査目的
- ・祭り（海の祭り）の日本人の参加実態を把握する
 - ・生活やコミュニティにおける役割や価値（＝祭りが無くなることの問題点）を明らかにする
 - ・地域における祭り存続の課題を抽出し、存続に向けた機会を発見する

対象 全都道府県16歳～79歳の男女

調査1 スクリーニング10万人調査

調査2 祭り参加者1000名調査

- 信仰に基づく伝統的な祭りに、過去運営側・担い手側として参加した経験のある方



調査1 有効回答数 100,000（男性：49680、女性：50320）

調査期間：2019年6月21日～6月26日

調査手法：インターネット調査

調査2 有効回答数 1,000（男性：701、女性：299）

調査期間：2019年6月21日～6月26日

調査手法：インターネット調査

実査委託先 楽天インサイト株式会社

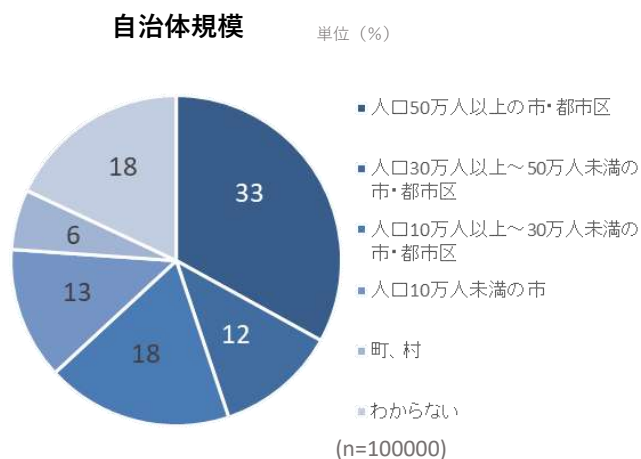
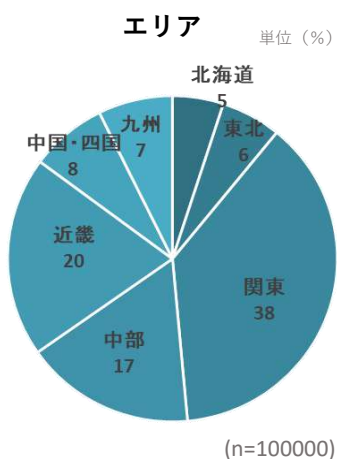
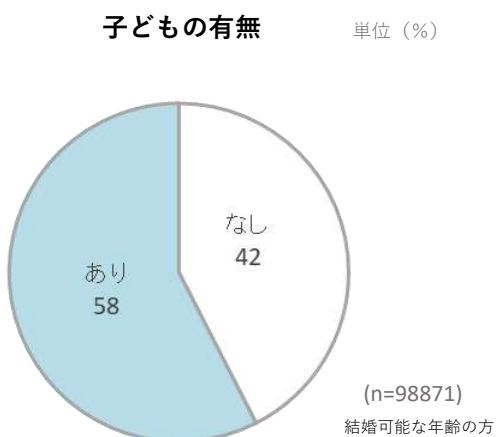
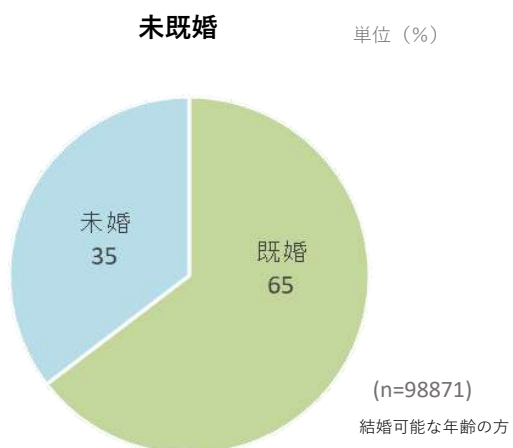
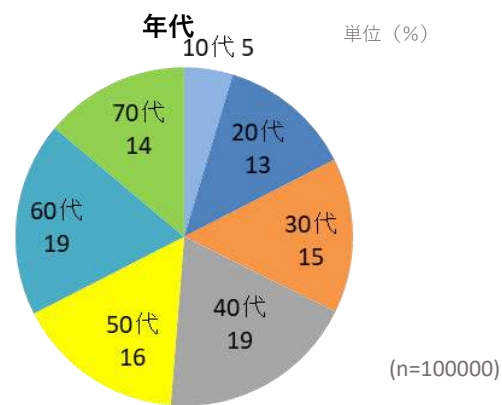
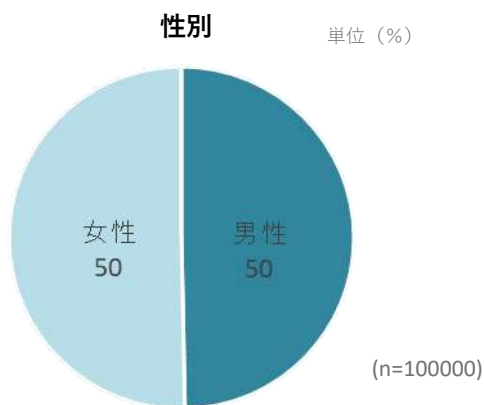
調査1 全国10万人調査

対象 全都道府県16歳～79歳の男女

調査1 有効回答数 100,000 (男性：49680、女性：50320)

調査期間：2019年6月21日～6月26日

調査手法：インターネット調査



地域と祭り (p.7-8)

- ・「私が暮らす地域には「祭り」がある」66%、日本人の7割弱が、地域の祭りの存在を認識している。

祭りとの関係性・意識 (p.9-12)

- ・個人の意向

「祭りの雰囲気が好きだ (51%)」「見て楽しむのが好きだ (46%)」「何かを食べることが好きだ (45%)」
 行ってみて、雰囲気を味わう楽しさや、祭りの屋台等で、何かを食べることへの楽しみが感じられる。
 「祭りがなくなったらさみしい (49%)」と愛着も。

- ・一般論として

「祭りは日本の伝統として、大切な存在である (60%)」
 「祭りは日本人の生活文化において、大切な存在である (56%)」
 「祭りは日本の観光において、重要な役割である (55%)」
 「祭りは高齢者も若い人も楽しむことができる (54%)」
 日本の伝統、文化、観光側面でも、様々な年代の方にとっても、祭りの価値がある。

その一方、数値が低めのものとしては

- ・「祭りは地域の誇りである (40%)」「祭りは日本人の教育にとって、大切な存在である (40%)」

・【見る側か／参加する側か】

「どちらかという、祭りは見ているの方が好きだ (55%)」に対し、
 「どちらかという、祭りは参加するの方が好きだ (15%)」と、40%の差分があり、参加派は少数。

参加実態 (p.13-14)

- ・日本人の2人に1人は、この1年間で祭りに行っている。
 この1年、いずれかの祭りに行った方 (A or B or C) *1 は、55%。
 この1年、「C:商業イベント」を除く、祭りに行った方 (A or B)は、52%。
 なお、「A:地域で行われる伝統的な祭り」に行った方は42%。

※1：祭りを3つで定義

A 地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り

例：神輿（みこし）・山車（だし）がでる地域ごとの神社・お寺主体の祭り／歴史のある盆踊りなど

B 地域に根づいた行事としての祭り（信仰に基づいた伝統的なものではない）

例：町内会・自治体主催の夏祭り、花火大会／戦後からの盆踊り／文化祭・学園祭など

C 商業イベント

例：チケットや入場料が必要な有料のイベント、全国から人が集まるロックフェス、アートフェス、食フェスなど

関わり方 (A or Bの祭り) p.15

- ・この1年で「信仰に基づいた伝統的な祭り (A)」または「地域に根付いた行事としての祭り (B)」に行った方で見る側か作る側（運営または担い手として参加）については、「作る側」は17% (対10万人)であった。

参加実態

海の祭り (p.16-17)

- ・この1年間での参加については
「海の祭り（信仰に基づいた1 or 2の祭り）に行った・参加した」6%、
「海の祭り全般（信仰の有無は問わない 1 or 2 or 3）に行った・参加した」13% となった。
- ・この1年以外に、過去も含めると
「海の祭り（信仰に基づいた）に行った・参加した」は16%、
「海の祭り（信仰の有無を問わない）に行った・参加した」27%となり、4分の1は行った経験がある。

※1：祭りを3つで定義

- 1 海で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り**
例：浜下り 神輿の渡御、大漁祭、船を漕ぐ祭り等
- 2 開催場所は海ではないが、海の神様にまつわる祭り**
例：陸地や川で実施
- 3 伝統的ではないが、海で行われる祭り**
例：音楽祭／花火大会など

見る側 担い手側や運営側として参加しない理由 (A or Bの祭り) (p.18-19)

- ・この1年で「信仰に基づいた伝統的な祭り (A)」または「地域に根付いた行事としての祭り (B)」に「見る側のみ」で行った方の、作り手側（祭りの担い手や運営）として参加しない理由は
「時間的な余裕がない (37%)」
「参加意欲はあっても、事前の準備からずっとは関われないため遠慮する (29%)」
「祭りに参加する、という発想がない (25%)」
「祭りに関心はあるが、閉鎖的なイメージがあり参加しづらい（地元の人のもの、特定コミュニティのもの）(25%)」であった。
- ・年代別では、10代～40代で「時間的な余裕がない」が高く、
10代～30代で「いつどこで、どんな祭りがあるのかを知らない」が高い傾向にあった。

祭りの由来・起源の認知 (A or Bの祭り) (p.20-21)

- ・この1年で祭りAまたはBに行ったことのある方に対し、祭りの由来や起源の認知については
「知らない (54%)」 「知っている (25%)」 と、知らないが多い。

祭りの存続について(p.22-23)

- ・仮に、行っている／参加している祭りが中止、廃絶となった場合について聞いたところ、
全体トップは「（毎年の）楽しみが一つ減る」55%であった。また、追って以下となった。
「祭りを経験できなくなる子どもたちに申し訳ない気持ち」28%
「地域の自然や文化との結びつきが薄れてしまうと心配になる」23%
「地域のつながりそのものもなくなってしまうのではないかと心配になる」18%
- ・年代別では、30代男女と、10～30代女性において「毎年の楽しみが一つ減る」が6割以上と高い。

祭りに誰と行くか (p.24-25)

- ・この1年で祭りに行ったことのある方に、誰と行っているかを聞いたところ、**妻・夫（配偶者）48%、子どもと(34%)、友人・知人（28%）、ひとり（19%）であった。**
- ・年代別では、10代、20代は「友人・知人」「親族」「恋人・パートナー」
30代：「子どもと」が突出
60代・70代：「配偶者と」が続いた。
- ・性別では、男性に「自分ひとり」が高い。

祭りでしたこと (p.26-27)

- ・過去祭りでしたことトップは「屋台を楽しむ（54%）」、次いで「友人・知人と談笑する（49%）」
- ・担い手参加側の項目である「神輿（みこし）をかつぐ」経験のある方は24%、
他に「山車を引く（19%）」、「太鼓やお囃子を演奏する（11%）」であった。
参加者側の経験をしている方は、貴重な機会である。

祭りに行った・行ったことがない別 (p.29-32)

- ・地域や意識の設問では、ほぼすべての項目において、「祭りに行った方」のあてはまるが高い結果となった。

見る側・作る側別 (p.33-35)

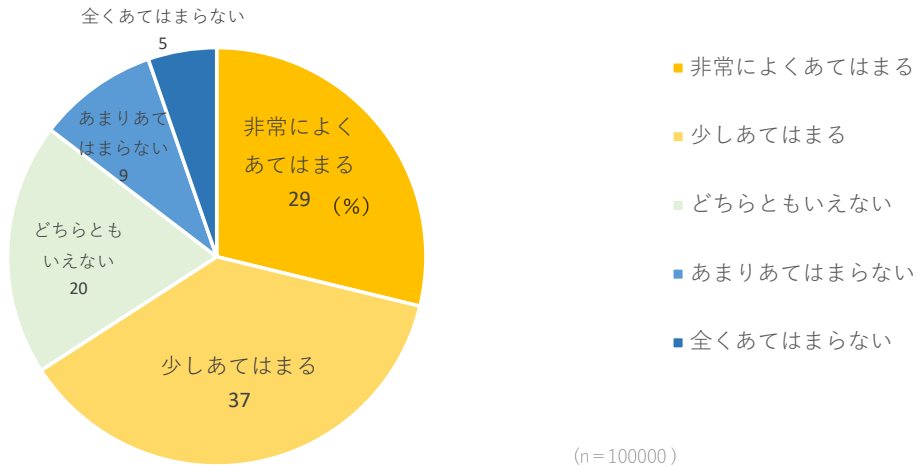
- ・作る側の方で、あてはまるが高いものは
 - 「私の隣近所との人間関係は充実している」
 - 「私は自分が暮らす地域をより良くするために、地域に関与したい」
 - 「暮らしている地域に、頼みごとをしたり、悩みを相談できる友人・知人がいる」
 - 「私は現在暮らしている地域に誇りを持っている」
 - 「祭りに参加することが好きだ（踊る・演奏するなど担い手となる／運営側となる）」
 - 「祭りの由来や起源を知っている」であった。
- ・見る側の方で、あてはまるが高いものは
 - 「祭りの雰囲気が好きだ」
 - 「祭りがなくなったらさみしい」
 - 「どちらかという、祭りは見ている方が好きだ」であった。

・「私が暮らす地域には「祭り」がある」66%

全国10万人に調査を行ったところ、自分が暮らす地域に祭りがある、とした方は7割弱(66%)であった。祭りが身近な存在であることが窺える。

あてはまる:トップ2BOX(非常によくあてはまる+少しあてはまる)と回答した方の合計%
 ※なお、ここでは祭りの種類や定義は特定せず質問した。

私が暮らす地域には「祭り」がある



Q.あなたご自身について、あてはまるものをお選びください。

SA	n	%
全体	100000	100.0
非常によくあてはまる	28797	28.8
少しあてはまる	37064	37.1
どちらともいえない	19524	19.5
あまりあてはまらない	9308	9.3
全くあてはまらない	5307	5.3
TOP2	65861	65.9
BTTM2	14615	14.6

【年代別・性年代別】

・どちらかというと男性より女性の方で「あてはまる」がやや高く(男性+6%)、
若年男性において、祭りの認識が低い傾向にある。

※なお、自治体規模別では大きな差分は見られない

SC3.あなたご自身について、あてはまるものをお選びください。※この設問は、それぞれ横方向(→)にお答えください。

10.私が暮らす地域には「祭り」がある

SA

		n	全くあてはまらない	いあまりあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	る非常によくあてはまる	T O P 2	B T T M 2
全体		100000	5.3	9.3	19.5	37.1	28.8	65.9	14.6
年代	10代	4669	7.0	9.2	21.0	27.2	35.6	62.8	16.2
	20代	12821	7.8	10.1	21.7	31.6	28.8	60.4	17.9
	30代	14811	6.2	8.8	20.6	33.5	30.9	64.4	15.0
	40代	18978	5.8	8.6	21.3	35.3	29.1	64.4	14.4
	50代	16210	4.9	9.3	20.5	37.2	28.1	65.3	14.3
	60代	18611	3.4	9.6	17.6	42.8	26.6	69.3	13.0
	70代	13900	3.9	9.7	14.9	43.8	27.7	71.5	13.6
性別	男性	49680	5.9	9.6	21.8	36.4	26.3	62.7	15.4
	女性	50320	4.7	9.0	17.3	37.7	31.2	69.0	13.8
性年代	男性 10代	2340	8.0	10.0	24.2	26.6	31.2	57.7	18.0
	男性 20代	6655	9.2	10.9	24.9	29.8	25.2	55.0	20.0
	男性 30代	7525	6.9	9.0	23.9	32.9	27.3	60.2	16.0
	男性 40代	9604	6.0	8.8	24.3	35.0	25.9	60.8	14.8
	男性 50代	8125	5.5	9.6	22.6	36.9	25.4	62.3	15.1
	男性 60代	8375	3.6	9.4	19.3	42.6	25.1	67.7	13.0
	男性 70代	7056	3.9	10.0	14.6	43.6	28.0	71.5	13.9
	女性 10代	2329	6.0	8.4	17.8	27.9	40.0	67.9	14.3
	女性 20代	6166	6.2	9.3	18.1	33.6	32.7	66.3	15.6
	女性 30代	7286	5.4	8.5	17.3	34.2	34.6	68.7	13.9
	女性 40代	9374	5.5	8.4	18.1	35.6	32.4	68.0	13.9
	女性 50代	8085	4.4	9.0	18.3	37.5	30.8	68.3	13.4
	女性 60代	10236	3.3	9.8	16.3	42.9	27.7	70.7	13.1
	女性 70代	6844	3.9	9.3	15.3	44.0	27.5	71.5	13.2

・地域と祭りについて、自身の意識を測るため、それぞれの質問を5段階選択制とした。
 (非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらでもない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)

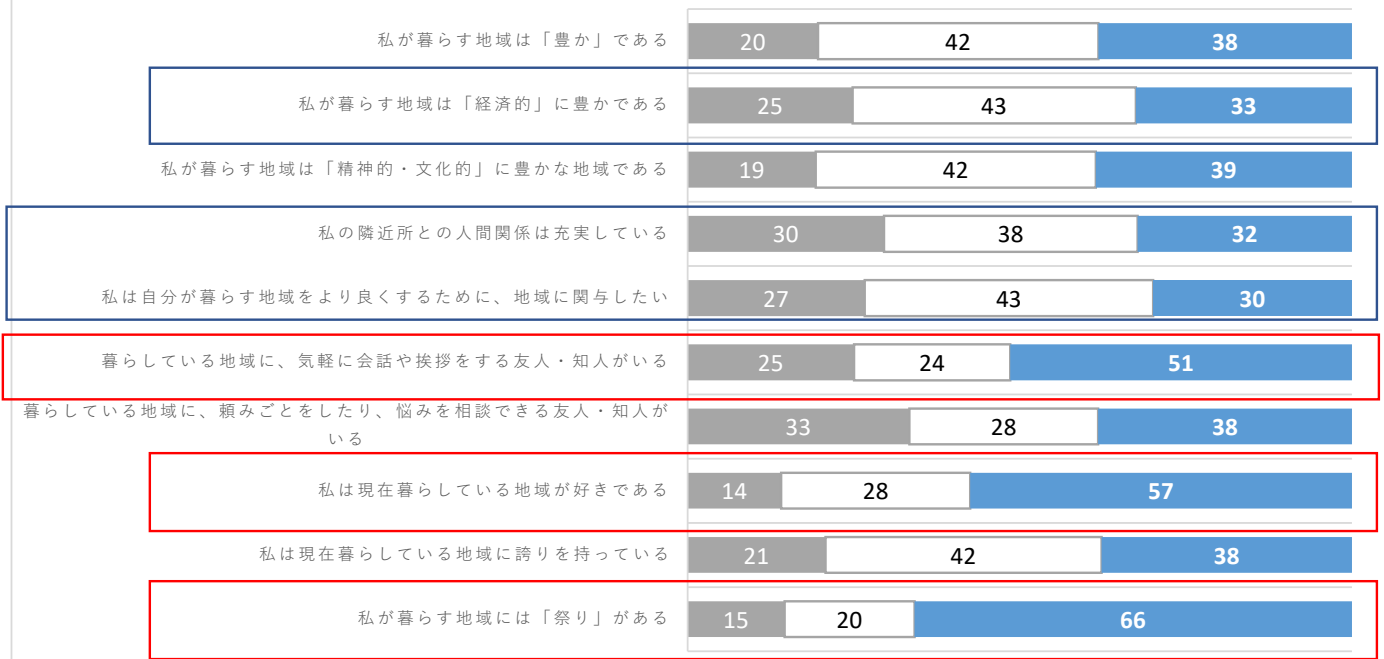
・全体での「あてはまる」(非常によく+少しあてはまるの合計)が高かったものは、「私が暮らす地域には「祭り」がある(66%)」、
 次いで「私は暮らしている地域が好きである(57%)」、「暮らしている地域に、気軽に会話や挨拶をする友人・知人がいる(51%)」となった。

「あてはまる」が低いものとしては、「私は自分が暮らす地域をより良くするために、地域に関与したい(30%)」
 「私と隣近所との人間関係は充実している(32%)」「私が暮らす地域は「経済的」に豊かである(33%)」であった。

地域・祭り 意識

(n=100000)

■あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない) □どちらともいえない ■あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる) (%)



BTTM2

TOP2

	n	あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない)	どちらともいえない	あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる)
私が暮らす地域は「豊か」である	100000	19.6	42.2	38.2
私が暮らす地域は「経済的」に豊かである	100000	24.8	42.6	32.5
私が暮らす地域は「精神的・文化的」に豊かな地域である	100000	19.3	42.1	38.6
私の隣近所との人間関係は充実している	100000	29.6	38.2	32.3
私は自分が暮らす地域をより良くするために、地域に関与したい	100000	26.7	43.4	29.9
暮らしている地域に、気軽に会話や挨拶をする友人・知人がいる	100000	25.1	23.5	51.4
暮らしている地域に、頼みごとをしたり、悩みを相談できる友人・知人がいる	100000	33.4	28.4	38.2
私は現在暮らしている地域が好きである	100000	14.1	28.5	57.5
私は現在暮らしている地域に誇りを持っている	100000	20.7	41.6	37.7
私が暮らす地域には「祭り」がある	100000	14.6	19.5	65.9

・それぞれの質問を5段階選択制とした。
 (非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらでもない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)

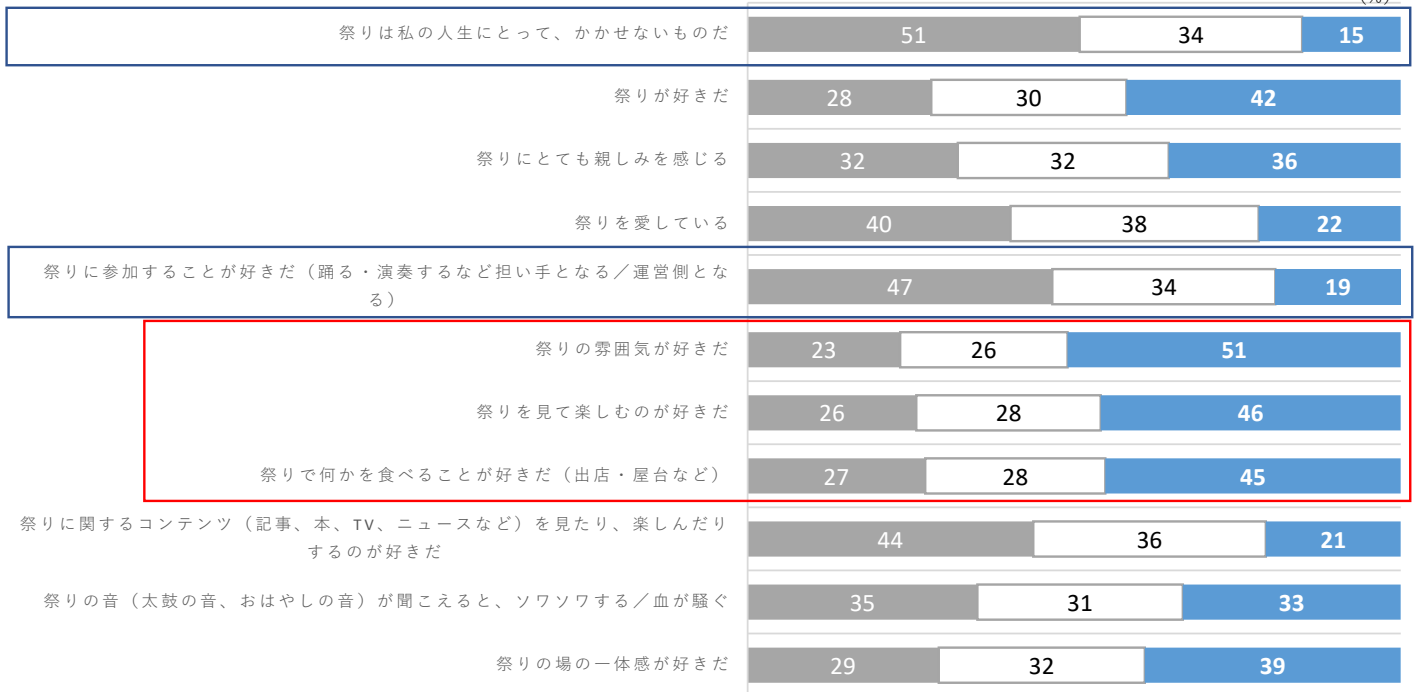
・全体での「あてはまる」(非常によく+少しあてはまるの合計)が高かったものは、「祭りの雰囲気が好きだ(51%)」「祭りを見て楽しむのが好きだ(46%)」「祭りで何かを食べることが好きだ(45%)」となった。

その一方、「祭りは私の人生にとって、かかせないものだ(15%)」「祭りに参加することが好きだ(19%)」があてはまるが低い。

祭りへの意識

(n=100000)

■あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない) □どちらともいえない ■あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる) (%)



Q.祭りについて、あなたにあてはまるものをお選びください。※ここでの「祭り」とは、あなたがイメージする祭りでかまいません。

質問	n	BTTM2		TOP2
		あてはまらない (非常にあてはまらない+あまりあてはまらない)	どちらともいえない	あてはまる (非常にあてはまる+少しあてはまる)
祭りは私の人生にとって、かかせないものだ	100000	50.8	34.1	15.1
祭りが好きだ	100000	28.1	29.9	42.0
祭りにとても親しみを感じる	100000	32.2	32.3	35.5
祭りを愛している	100000	40.2	38.0	21.8
祭りに参加することが好きだ (踊る・演奏するなど担い手となる/運営側となる)	100000	46.7	34.1	19.2
祭りの雰囲気が好きだ	100000	23.4	25.6	51.0
祭りを見て楽しむのが好きだ	100000	25.8	28.2	45.9
祭りで何かを食べることが好きだ (出店・屋台など)	100000	27.2	27.5	45.2
祭りに関するコンテンツ (記事、本、TV、ニュースなど) を見たり、楽しんだりするのが好きだ	100000	43.7	35.6	20.7
祭りの音 (太鼓の音、おはやしの音) が聞こえると、ソワソワする/血が騒ぐ	100000	35.2	31.4	33.4
祭りの場の一体感が好きだ	100000	29.3	31.5	39.2

祭りへの自身の意識を測るため、それぞれの質問を5段階選択制とした。
 (非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらでもない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)

愛着面

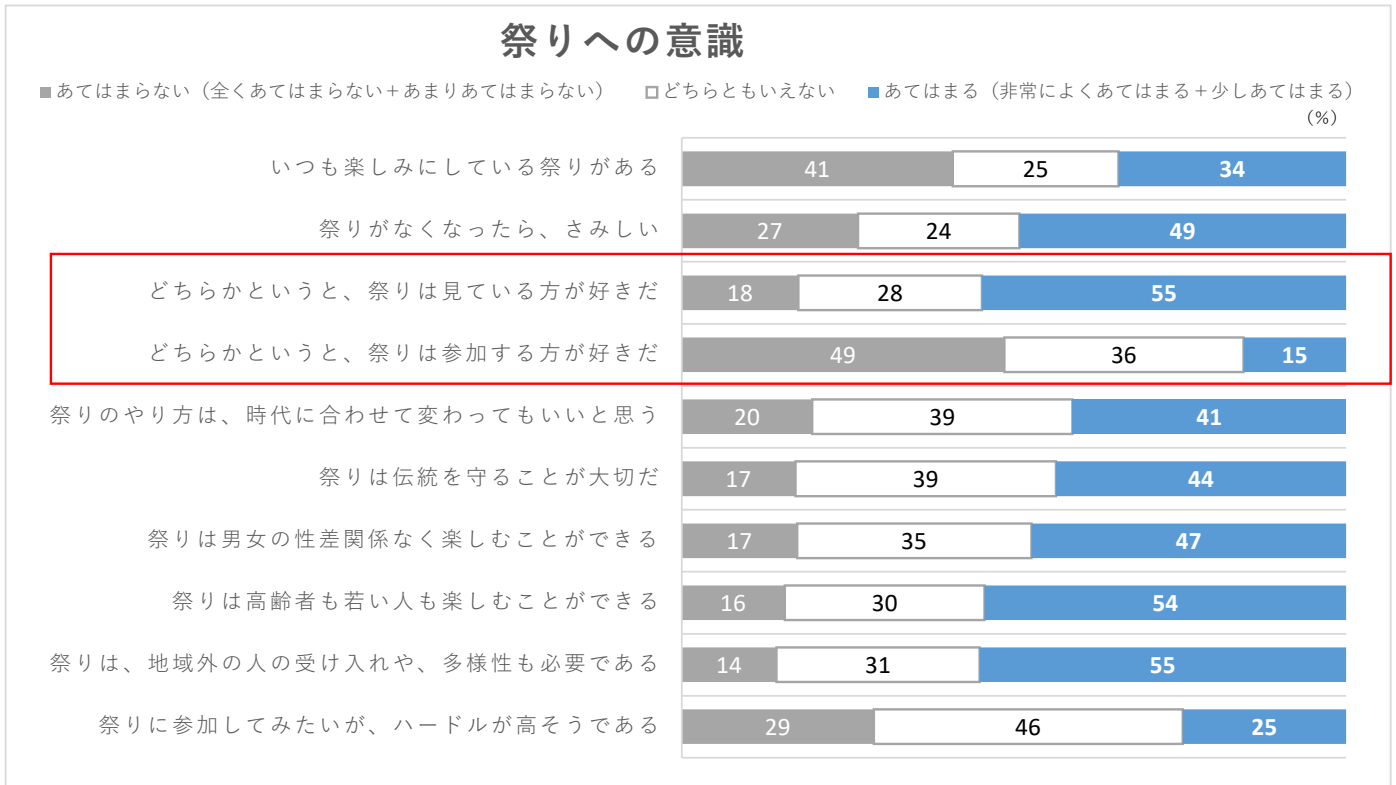
- ・「祭りがなくなったらさみしい」49%、2人に1人はあてはまるとした。
- ・「いつも楽しみにしている祭りがある」34%。3割はいつも楽しみにしている祭りがある。

【見ているか、参加か】

- ・「どちらかという、祭りは見ている方が好きだ(55%)」に対し、「どちらかという、祭りは参加する方が好きだ(15%)」

【その他】

- ・「祭りは地域外の人への受け入れや、多様性も必要である(55%)」「祭りは高齢者も若い人も楽しむことができる(54%)」



	n	あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない)	どちらともいえない	あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる)
いつも楽しみにしている祭りがある	100000	40.8	24.9	34.3
祭りがなくなったら、さみしい	100000	26.5	24.3	49.2
どちらかという、祭りは見ている方が好きだ	100000	17.6	27.6	54.8
どちらかという、祭りは参加する方が好きだ	100000	48.6	36.0	15.5
祭りのやり方は、時代に合わせて変わってもいいと思う	100000	19.6	39.2	41.2
祭りは伝統を守ることが大切だ	100000	17.1	39.2	43.7
祭りは男女の性差関係なく楽しむことができる	100000	17.4	35.3	47.4
祭りは高齢者も若い人も楽しむことができる	100000	15.5	30.1	54.4
祭りは、地域外の人への受け入れや、多様性も必要である	100000	14.3	30.6	55.2
祭りに参加してみたいが、ハードルが高そうである	100000	28.9	46.5	24.6

・それぞれの質問を5段階選択制とした。
 (非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらでもない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)

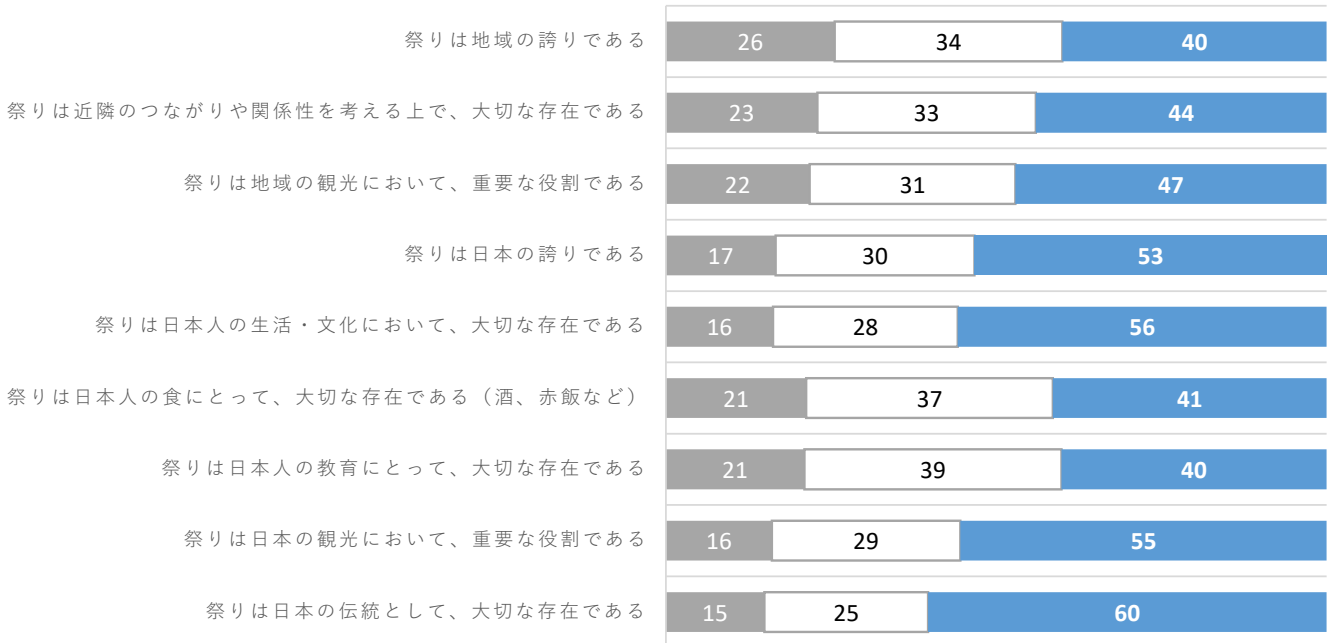
・全体での「あてはまる」(非常によく+少しあてはまるの合計)が高かったものは、「祭りは日本の伝統として、大切な存在である(60%)」「祭りは日本人の生活・文化において、大切な存在である(56%)」「祭りは日本の観光において、重要な役割である(55%)」

その一方、あてはまるが低いものとして、「祭りは日本人の教育にとって、大切な存在である(40%)」「祭りは地域の誇りである(40%)」「祭りは日本人の食にとって、大切な存在である(41%)」となった。

地域と祭りへの意識

(n=100000)

■あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない) □どちらともいえない ■あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる) (%)



BTTM2

TOP2

	n	あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない) (%)	どちらともいえない (%)	あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる) (%)
祭りは地域の誇りである	100000	25.6	34.5	40.0
祭りは近隣のつながりや関係性を考える上で、大切な存在である	100000	23.0	33.0	44.0
祭りは地域の観光において、重要な役割である	100000	21.8	31.1	47.1
祭りは日本の誇りである	100000	16.6	30.1	53.3
祭りは日本人の生活・文化において、大切な存在である	100000	16.2	28.0	55.8
祭りは日本人の食にとって、大切な存在である (酒、赤飯など)	100000	21.2	37.3	41.4
祭りは日本人の教育にとって、大切な存在である	100000	21.0	38.9	40.1
祭りは日本の観光において、重要な役割である	100000	16.0	28.5	55.4
祭りは日本の伝統として、大切な存在である	100000	14.9	24.8	60.3

- ・この1年、いずれかの祭りに行った方(A or B or C) *1は、55%。
- ・「C:商業イベント」を除く、祭りに行った方(A or B)は、52%。
- いづれにしても、日本人の2人に1人は、この1年間で祭りに行っている。

*1 祭りを3つの種類として定義し、例を出してこの1年で行ったかどうかについて質問。便宜上、報告書ではABCとする。

A:地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り

B:地域に根づいた行事としての祭り。信仰に基づいた伝統的なものではない。(例:町内会・自治体主催の夏祭り、花火大会/戦後からの盆踊り/文化祭・学園祭等)

C:商業イベント(例:チケットや入場料が必要な有料のイベント、全国から人が集まるロックフェス、アートフェス、食フェスなど)

定義

祭りの種類

A

地域で行われる
信仰に基づいた
伝統的な祭り

例：神輿（みこし）・
山車（だし）がでる地
域ごとの神社・お寺主
体の祭り/歴史のある
盆踊りなど

B

地域に根づいた
行事としての祭り

※信仰に基づいた
伝統的なものではない

例：町内会・自治体主
催の夏祭り、花火大会
/戦後からの盆踊り/
文化祭・学園祭など

C

商業イベント

例：チケットや入場料が
必要な有料のイベント、
全国から人が集まるロッ
クフェス、アートフェス、
食フェスなど

この1年間は
どの祭りにも
行っていない

A

or

B

or

C

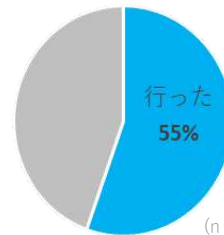
= A B C いづれかの祭りに行った方

地域で行われる
信仰に基づいた
伝統的な祭り

地域に根づいた
行事としての祭り

※信仰に基づいた
伝統的なものではない

商業イベント
(チケットや入場料が
必要な有料イベント)



(n = 100000)

A

or

B

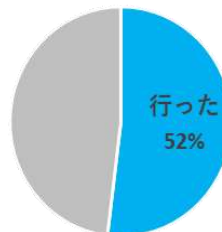
=

A B いづれかの祭りに行った方

地域で行われる
信仰に基づいた
伝統的な祭り

地域に根づいた
行事としての祭り

※信仰に基づいた
伝統的なものではない

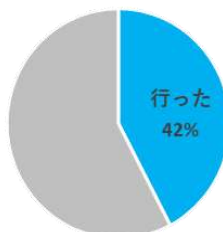


(n = 100000)

Aの祭りに行った方

A

地域で行われる
信仰に基づいた
伝統的な祭り



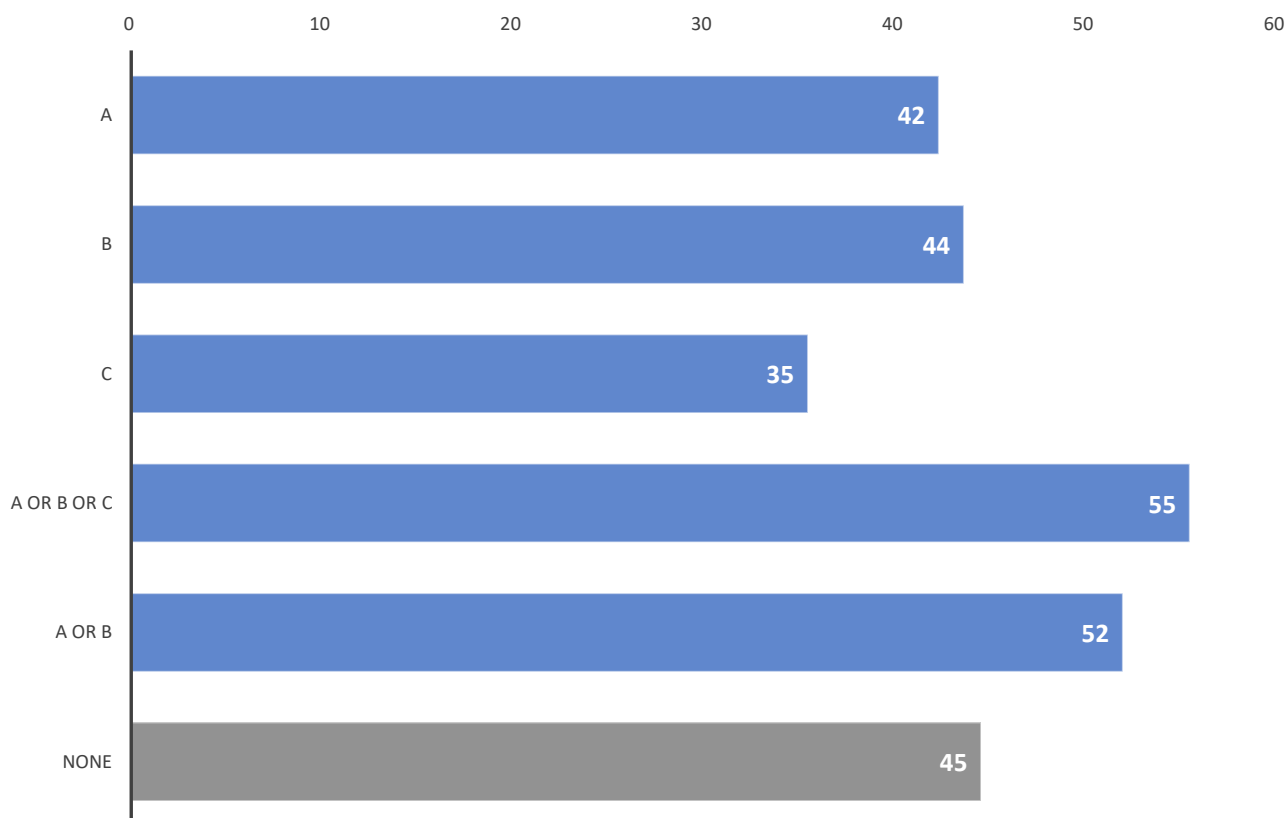
(n = 100000)

Q.あなたは以下の祭りに行きましたか。【この1年間で】、行ったものをすべて選んでください。

MA		n	%
祭りの種類	全体	100000	100.0
A	地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り (例：神輿（みこし）・山車（だし）がでる地域ごとの神社・お寺主体の祭り／歴史のある盆踊りなど)	42324	42.3
B	地域に根づいた行事としての祭り 信仰に基づいた伝統的なものではない (例：町内会・自治体主催の夏祭り、花火大会／戦後からの盆踊り／文化祭・学園祭など)	43629	43.6
C	商業イベント (例：チケットや入場料が必要な有料のイベント、全国から人が集まるロックフェス、アートフェス、食フェスなど)	35454	35.5
A or B or C	この1年 いずれかの祭りに行った方(A or B or C)	55468	55.5
A or B	A または Bの祭りに行った方 (C以外)	51962	52.0
NONE	どの祭りにも行ってない方	44532	44.5

この1年で行った祭り

(%)



- ・この1年、「信仰に基づいた伝統的な祭り(A)」または「地域に根付いた行事としての祭り(B)」に行った方のうち、見る側、作る側(運営または担い手として参加)を聞いたところ、**10万人のうち、AまたはBの祭りの「作る側」は17%、2割弱であった。**
- ・「信仰に基づいた伝統的な祭り(A)」での作る側は、12% 「行事としての祭り(B)」では13%となった。
- ・行った方を母数としての割合は、3割が作る方であった。

この1年で「地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り」あるいは「地域に根付いた行事としての祭り」に行ったことがある方にお聞きします。
 (お客さんとして)見る側と、担い手側として/運営側で参加、どれとして行きましたか。
 あてはまるものを【すべて】お選びください。

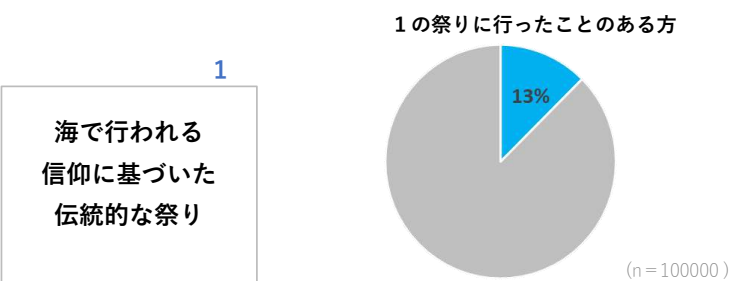
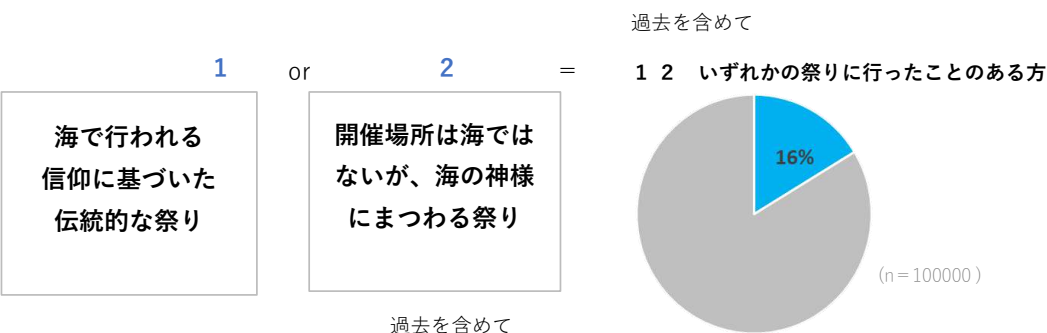
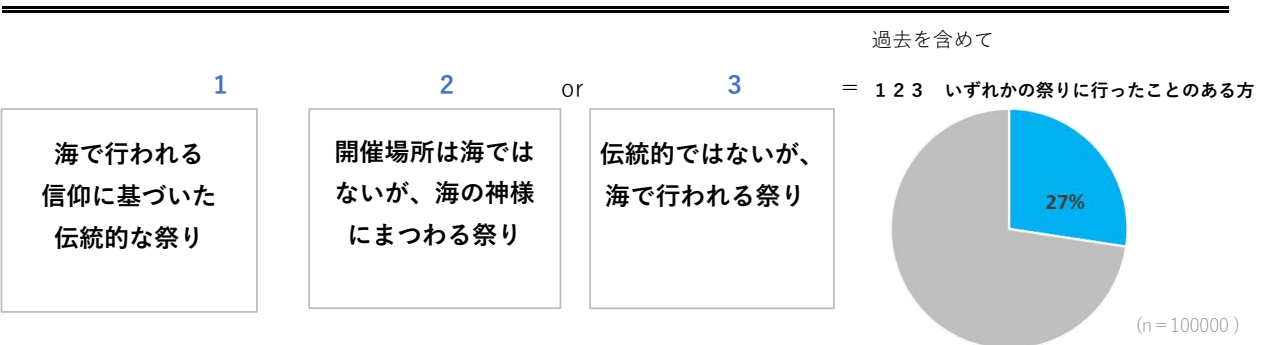
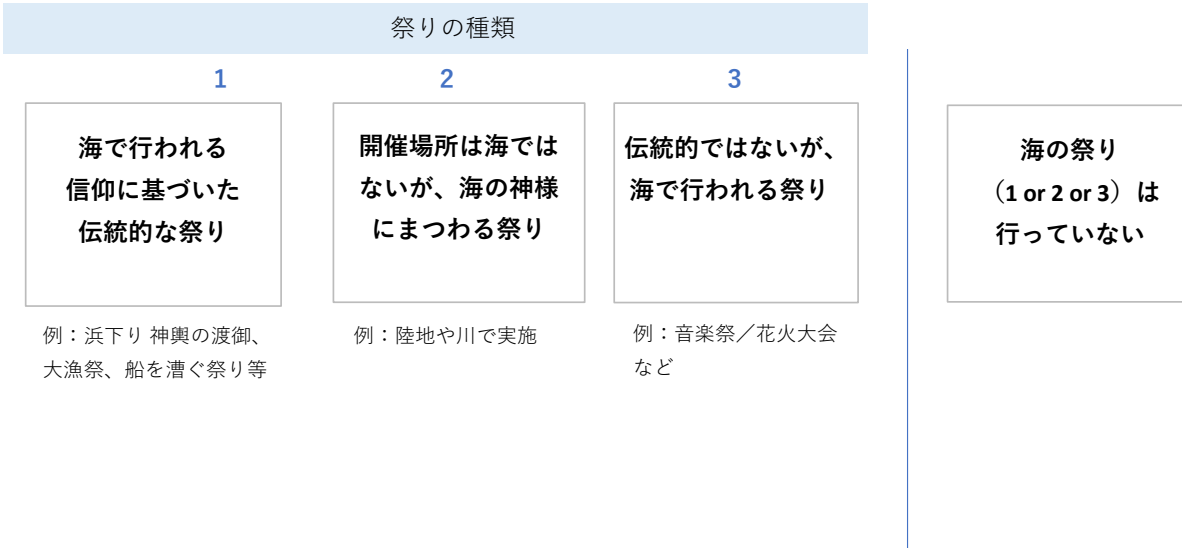
		n	MA			%(対:10万人)				
		行った方全員	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手のいずれか)	行った方全員	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手のいずれか)	
祭りの種類	A	A:信仰に基づいた伝統的な祭りに行った	42324	38342	32757	11764	42.3	38.3	32.8	11.8
	B	B:地域に根付いた行事としての祭りに行った	43629	35351	31666	13362	43.6	35.4	31.7	13.4
	A or B	A or B の祭りに行った方	51962	49558	43531	17237	52.0	49.6	43.5	17.2
	C	C:商業イベントに行った方	35454				35.5			
	A or B or C	この1年 いずれかの祭りに行った方 (A or B or C)	55468				55.5			
	NONE	どの祭りにも行っていない方	44532				44.5			

		n	MA			%(対:行った方)				
		行った方全員	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手のいずれか)	行った方全員	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手のいずれか)	
祭りの種類	A	A:信仰に基づいた伝統的な祭りに行った	42324	38342	32757	11764	100.0	90.6	77.4	27.8
	B	B:地域に根付いた行事としての祭りに行った	43629	35351	31666	13362	100.0	81.0	72.6	30.6
	A or B	A or B の祭りに行った方	51962	49558	43531	17237	100.0	95.4	83.8	33.2

・海の祭りを3つに定義した。それぞれ(過去を含めて)行った経験については
 「海の祭り(信仰に基づいた1 or 2の祭り)に行った・参加した」は、16%
 「海の祭り(信仰の有無を問わない)に行った・参加した」は、27%(日本人の4人に1人)であった。

・なお、この1年間では
 「海の祭り(信仰に基づいた1 or 2の祭り)に行った・参加した」6%
 「海の祭り全般(信仰の有無は問わない 1 or 2 or 3)に行った・参加した」13% となった。

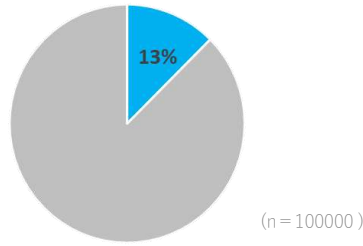
海の祭り



2

開催場所は海ではないが、海の神様にまつわる祭り

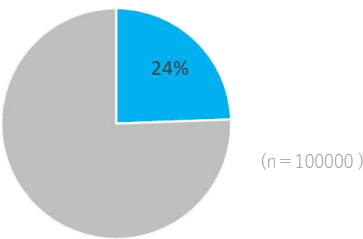
過去を含めて
2の祭りに行ったことのある方



3

伝統的ではないが、海で行われる祭り

過去を含めて
3の祭りに行った方

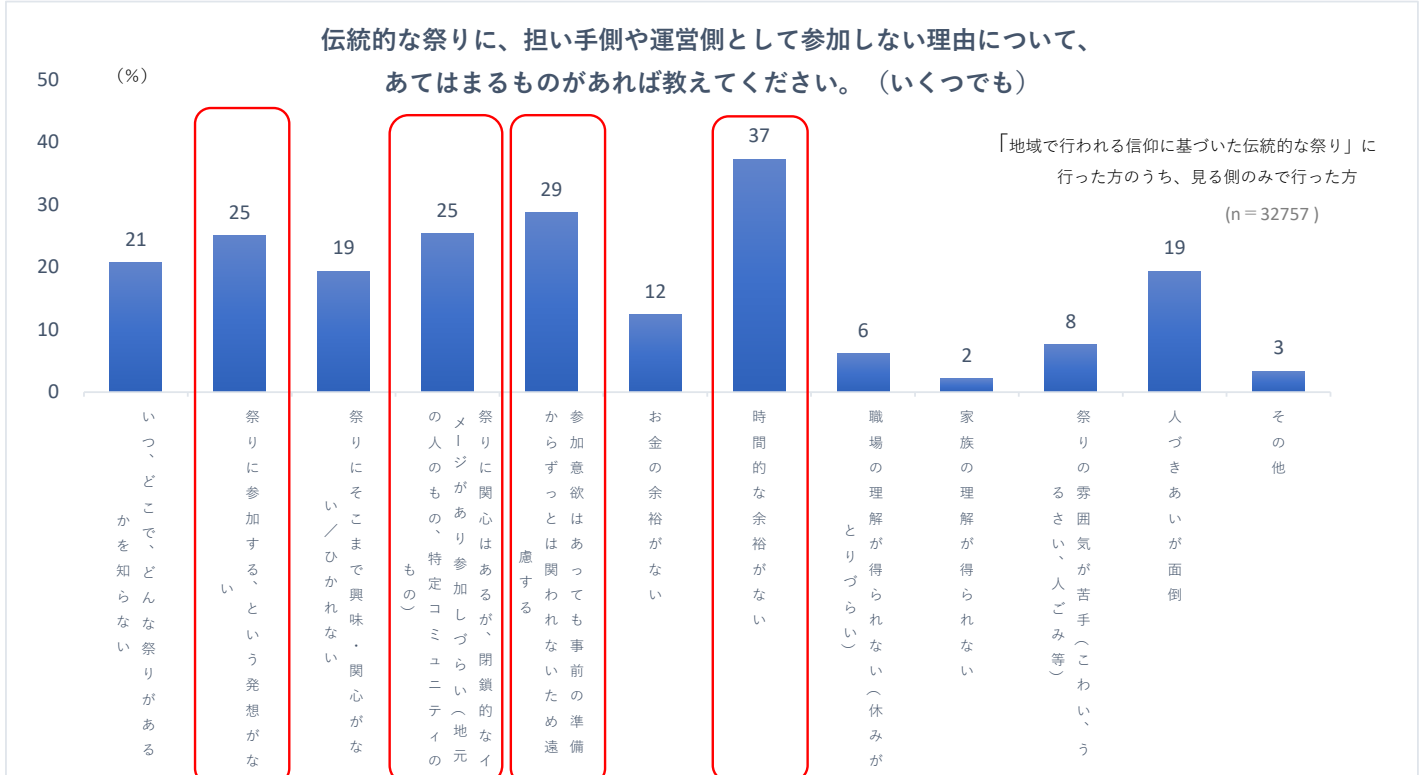


「海に関連した祭り」について、ご自身にあてはまるものをお選びください。

			a	b	a+b	
	n	行っていない	この1年間では行っていないが過去に行っていたことがある	この1年間にいった・参加した	過去に行った・参加したことがある	
1	100000	87486	7720	4794	12514	
	100.0	87.5	7.7	4.8	12.5	
2	100000	87172	8015	4813	12828	
	100.0	87.2	8.0	4.8	12.8	
3	100000	75576	13855	10569	24424	
	100.0	75.6	13.9	10.6	24.4	
海の祭り(1or2)へ行った方		100000	83699	9977	6324	16301
		100.0	83.7	10.0	6.3	16.3
海の祭り(1or2or3)へ行った方		100000	72651	14585	12764	27349
		100.0	72.7	14.6	12.8	27.3
海の祭り(1or2or3)行っていない方		100000	72651			72651
		100.0	72.7			72.7

	行っていない	この1年間では行っていないが過去に行っていたことがある・参加したことがある	この1年間にいった・参加した
1.海で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り(例:浜下り神輿の渡御、大漁祭、船を漕ぐ祭り等)(n=100000)	87	8	5
2.開催場所は海ではないが、海の神様にまつわる祭り(陸地や川で実施)(n=100000)	87	8	5
3.伝統的ではないが、海で行われる祭り(音楽祭/花火大会など)(n=100000)	76	14	11

- ・地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り」に行った方のうち、見る側のみで行った方に対して作り手側(祭りの担い手や運営側)として参加しない理由について聞いたところ、トップ3は以下となった。
 - ・「**時間的な余裕がない(37%)**」
 - ・「**参加意欲はあっても事前の準備からずっとは関われないため遠慮する(29%)**」
 - ・「**祭りに参加する、という発想がない(25%)**」
 - ・「**祭りに関心はあるが、閉鎖的なイメージがあり、参加しづらい(地元のもの、特定コミュニティのもの)(25%)**」
- ⇒ 祭りの準備には時間がかかるイメージ・自分の時間をとられるのではないかと一度行ったら、全部にずっと参加しなけいといけないのではないかと、やったことがないからやらない、誰でもウェルカムではなさそう(閉鎖的)、といった背景が見える。



Q.地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭りに行かれた方にお聞きます。

伝統的な祭りに、担い手側や運営側として参加しない理由について、あてはまるものがあれば教えてください。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	32757	100.0
いつ、どこで、どんな祭りがあるかを知らない	6788	20.7
祭りに参加する、という発想がない	8198	25.0
祭りにそこまで興味・関心がない／ひかれない	6348	19.4
祭りに関心はあるが、閉鎖的なイメージがあり参加しづらい(地元のもの、特定コミュニティのもの)	8315	25.4
参加意欲はあっても事前の準備からずっとは関われないため遠慮する	9410	28.7
お金の余裕がない	4046	12.4
時間的な余裕がない	12218	37.3
職場の理解が得られない(休みがとりづらい)	2029	6.2
家族の理解が得られない	720	2.2
祭りの雰囲気が苦手(こわい、うるさい、人ごみ等)	2490	7.6
人づきあいが面倒	6347	19.4
その他	1108	3.4

【年代別・性年代別】

・年代別では傾向がみられた。※なお、自治体規模別では大きな差分は見られない

10代～40代「時間的な余裕がない」

⇒真に時間が理由の場合：部分での関りでもよければ提示／役割を明確化して告知／やることの見える化など

⇒一緒にやろう／ちょっとでもいいから来てくれるだけで嬉しい／伝え方（困っていること、力をかしてほしいなど）をSNS等でも率直に伝えていくなど

⇒キーパーソン、青年部隊から案内など、人が見える形でコミュニケーションし、心理的ハードルを下げる

10代・20代・30代までは、「いつどこで、どんな祭りがあるのかを知らない」⇒祭りの告知方法、タイミング

10代 お金の余裕がない⇒アメ的な何かがあってもフックになるかもしれない(10代会／アイス・お菓子／交通費支給) など

SC11.地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭りに行かれた方にお聞きます。伝統的な祭りに、担い手側や運営側として参加しない理由について、あてはまるものがあれば教えてください。(いくつでも)
MA

		n	知らない	祭りに参加する、という発想がない	祭りにそこまで興味・関心がない／ひかれない	特定コミュニケーションの（地元の人のも、の）	祭りに関心はあるが、閉鎖的なイメージ	とは関わりたくないため遠慮する	参加意欲はあっても事前の準備からず	お金の余裕がない	時間的な余裕がない	（らい）	職場の理解が得られない（休みがとりづ	家族の理解が得られない	祭りの雰囲気（苦手（こわい、うるさ	い、人ごみ等）	人づきあいが面倒	その他：
全体		32757	20.7	25.0	19.4	25.4	28.7	12.4	37.3	6.2	2.2	7.6	19.4	3.4				
年代	10代	1585	27.3	22.9	15.6	20.1	21.3	19.2	45.7	3.8	3.0	9.0	17.8	2.0				
	20代	4463	28.4	26.5	13.2	27.9	27.9	15.6	45.6	8.8	2.6	8.5	20.2	1.8				
	30代	5314	26.3	25.0	14.8	28.0	29.1	13.9	46.6	9.0	2.7	9.2	22.9	2.4				
	40代	5871	21.4	23.9	18.6	25.4	26.3	13.1	42.5	8.3	2.4	8.0	21.4	2.5				
	50代	4588	16.9	24.3	20.5	23.3	27.5	12.7	40.2	7.5	2.0	6.9	19.6	2.8				
	60代	5985	15.4	25.0	23.3	24.0	30.3	9.1	29.0	3.6	1.5	6.8	17.8	4.1				
	70代	4951	14.8	26.4	26.2	25.6	33.6	8.2	18.3	1.1	1.9	5.7	14.6	7.0				
性別	男性	15826	21.8	23.9	20.7	25.5	27.6	12.5	37.1	7.4	2.5	7.3	18.9	2.7				
	女性	16931	19.7	26.1	18.1	25.3	29.8	12.2	37.5	5.1	1.9	7.9	19.8	4.0				
性年代	男性 10代	695	27.9	23.7	17.1	19.7	17.7	17.8	41.9	4.2	4.3	7.9	16.4	1.2				
	男性 20代	2132	29.8	25.1	14.5	28.0	26.6	16.9	43.8	9.8	3.2	8.4	19.4	1.3				
	男性 30代	2463	28.2	24.1	16.2	27.0	24.9	14.1	46.1	11.3	3.2	9.2	21.3	1.5				
	男性 40代	2914	23.6	22.7	19.8	23.7	24.1	12.7	43.9	10.4	2.6	7.5	20.3	1.7				
	男性 50代	2246	18.9	23.5	21.0	22.7	26.1	12.9	42.5	8.9	2.1	6.3	19.0	1.9				
	男性 60代	2748	16.1	22.8	24.2	25.8	31.5	9.7	30.2	4.3	1.5	7.1	18.5	3.5				
	男性 70代	2628	14.4	25.5	28.0	27.8	34.3	8.3	17.2	1.2	2.1	5.4	15.8	6.5				
	女性 10代	890	26.9	22.2	14.4	20.3	24.2	20.3	48.6	3.5	1.9	9.8	18.9	2.6				
	女性 20代	2331	27.2	27.8	12.0	27.8	29.0	14.5	47.3	7.9	2.0	8.6	20.8	2.3				
	女性 30代	2851	24.6	25.8	13.6	28.9	32.7	13.7	47.0	7.0	2.3	9.3	24.2	3.2				
	女性 40代	2957	19.3	25.2	17.4	27.0	28.4	13.6	41.1	6.1	2.1	8.6	22.5	3.4				
	女性 50代	2342	14.9	25.1	20.0	24.0	28.8	12.5	38.0	6.2	1.9	7.5	20.2	3.7				
	女性 60代	3237	14.9	26.8	22.6	22.6	29.2	8.6	28.0	3.0	1.5	6.6	17.3	4.6				
	女性 70代	2323	15.3	27.3	24.2	23.1	32.9	8.0	19.6	0.9	1.8	6.0	13.3	7.5				

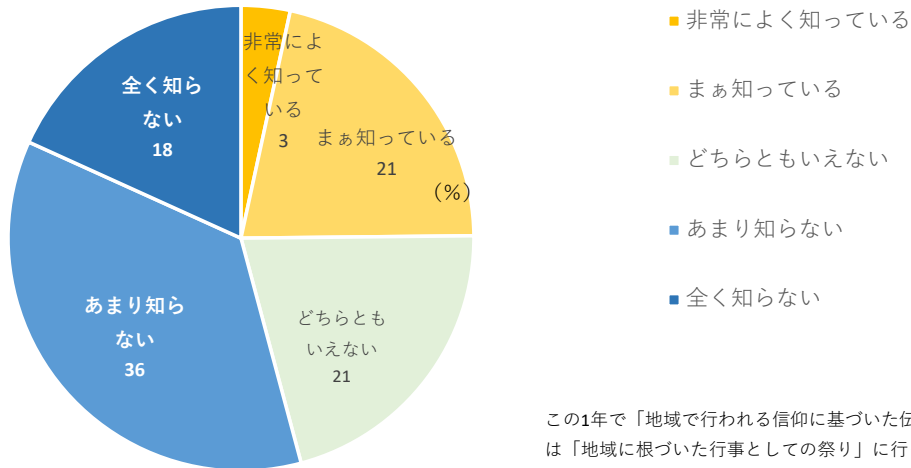
・ご自身が行っている／参加している祭りの由来や起源については「知らない(54%)」「知っている(25%)」と、知らないが多い結果となった。

知っている:トップ2BOX(非常によくあてはまる+少しあてはまる)と回答した方の合計%
 知らない:ボトム2BOX(全く知らない+あまり知らない)と回答した方の合計%

※対象者は、この1年で祭りAまたはBに行ったことのある方

「地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り(A)」あるいは「地域に根づいた行事としての祭り(B)」 ※商業的な祭りは含まれない

ご自身が行っている／参加している祭りの由来や起源について



この1年で「地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り」あるいは「地域に根づいた行事としての祭り」に行ったことがある方 (n=51962)

Qあなたご自身が、行っている／参加している祭りの由来や起源について、あてはまるものをお選びください。

SA	n	%
全体	51962	100.0
非常によく知っている	1768	3.4
まあ知っている	11137	21.4
どちらともいえない	10913	21.0
あまり知らない	18672	35.9
全く知らない	9472	18.2
TOP2	12905	24.8
BTTM2	28144	54.2

【年代別・性年代別】

- ・年代別では傾向がみられた。※なお、自治体規模別では大きな差分は見られない
10代～30代「知らない」6割
60代・70代「知っている」3割以上
- ・女性10代～30代で知らないが高い(7割弱)傾向にある
 ⇒祭りに由来や起源がある場合は、伝えていくことも重要か

SC12.あなたご自身が、行っている／参加している祭りの由来や起源について、あてはまるものをお選びください。

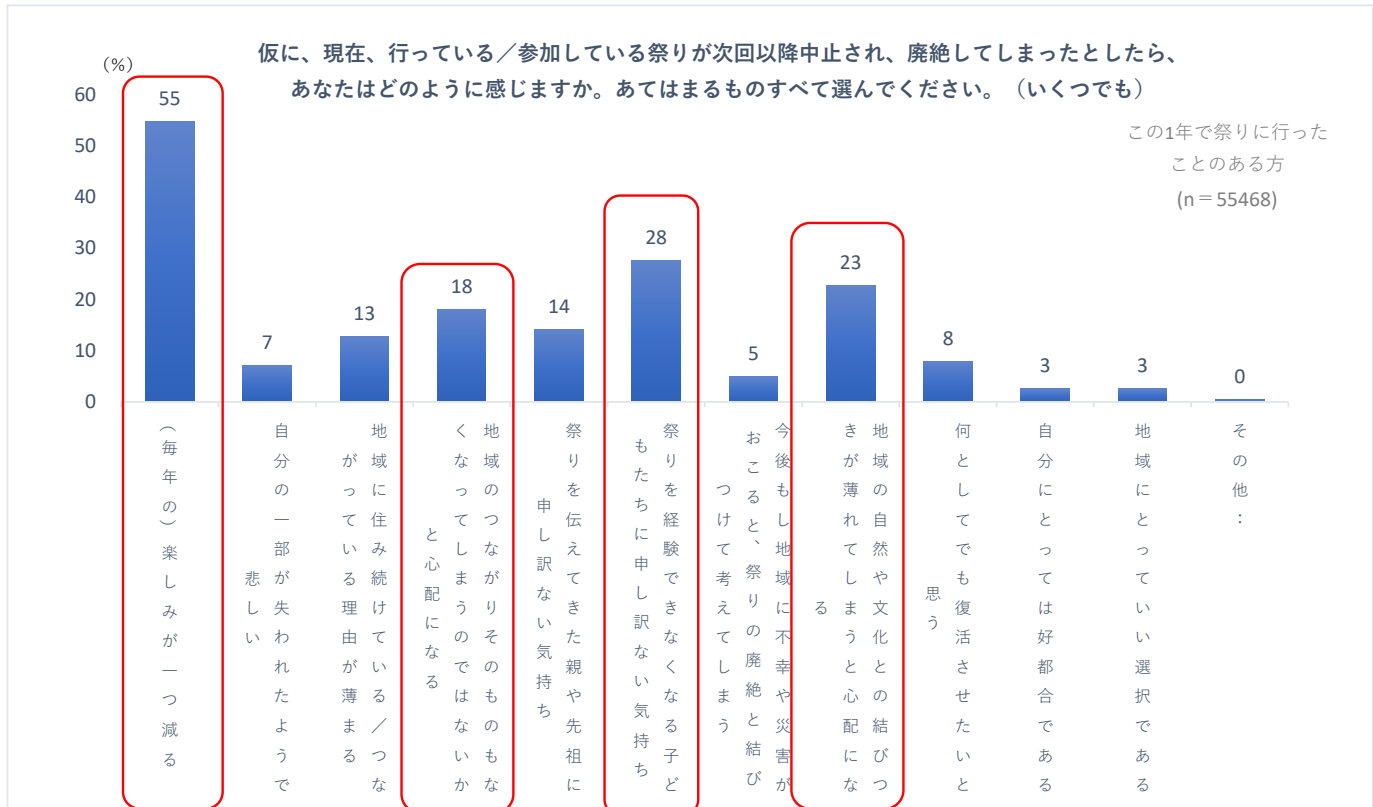
SA

		n	全く知らない	あまり知らない	どちらともいえない	まあ知っている	非常によく知っている	TOP2	BOTTOM2
全体		51962	18.2	35.9	21.0	21.4	3.4	24.8	54.2
年代	10代	2991	29.0	32.4	18.3	15.3	5.0	20.3	61.4
	20代	7370	24.9	37.9	17.2	15.9	4.0	19.9	62.8
	30代	8480	24.2	38.5	19.4	14.9	3.0	17.9	62.7
	40代	9457	20.8	37.1	22.3	17.0	2.9	19.9	57.9
	50代	7106	15.5	35.2	24.2	21.9	3.2	25.1	50.7
	60代	8948	11.1	34.8	22.9	28.0	3.2	31.2	45.9
	70代	7610	8.6	33.1	20.7	33.8	3.7	37.6	41.7
性別	男性	26063	16.0	33.7	22.4	23.5	4.3	27.9	49.8
	女性	25899	20.4	38.1	19.6	19.3	2.5	21.8	58.6
性年代	男性 10代	1410	26.6	30.5	20.4	16.4	6.2	22.6	57.1
	男性 20代	3688	20.9	36.6	18.7	18.5	5.3	23.9	57.5
	男性 30代	4165	20.8	35.9	22.3	17.1	3.9	21.0	56.7
	男性 40代	4812	18.4	34.3	24.4	19.1	3.8	22.9	52.7
	男性 50代	3622	14.3	33.0	25.6	23.4	3.7	27.2	47.3
	男性 60代	4211	10.0	33.0	23.6	29.3	4.2	33.5	43.0
	男性 70代	4155	8.4	30.9	20.0	36.1	4.5	40.6	39.4
	女性 10代	1581	31.1	34.2	16.4	14.4	4.0	18.3	65.2
	女性 20代	3682	29.0	39.3	15.8	13.3	2.7	16.0	68.3
	女性 30代	4315	27.5	41.1	16.6	12.7	2.1	14.8	68.6
	女性 40代	4645	23.3	40.0	20.0	14.8	1.9	16.7	63.3
	女性 50代	3484	16.8	37.5	22.7	20.2	2.7	22.9	54.3
	女性 60代	4737	12.1	36.4	22.4	26.9	2.2	29.2	48.4
	女性 70代	3455	8.9	35.6	21.6	31.1	2.8	33.8	44.5

は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上低いセル

・仮に、行っている／参加している祭りが中止、廃絶となった場合について聞いたところ、
全体トップは「(毎年の)楽しみが一つ減る」55%であった。

次いで、「祭りを経験できなくなる子どもたちに申し訳ない気持ち」28%、
「地域の自然や文化との結びつきが薄れてしまうと心配になる」23%
「地域のつながりそのものもなくなってしまうのではないかと心配になる」18%となった。



Q.仮に、現在、行っている／参加している祭りが次回以降中止され、廃絶してしまったとしたら、
あなたはどのように感じますか。あてはまるものすべて選んでください。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	55468	100.0
(毎年の)楽しみが一つ減る	30329	54.7
自分の一部が失われたようで悲しい	3946	7.1
地域に住み続けている／つながっている理由が薄まる	7059	12.7
地域のつながりそのものもなくなってしまうのではないかと心配になる	10010	18.0
祭りを伝えてきた親や先祖に申し訳ない気持ち	7823	14.1
祭りを経験できなくなる子どもたちに申し訳ない気持ち	15292	27.6
今後もし地域に不幸や災害がおけると、祭りの廃絶と結びつけて考えてしまう	2712	4.9
地域の自然や文化との結びつきが薄れてしまうと心配になる	12613	22.7
何としてでも復活させたいと思う	4391	7.9
自分にとっては好都合である	1421	2.6
地域にとっていい選択である	1476	2.7
その他 :	251	0.5
特になにも思わない (排他)	9424	17.0

※対象者 : この1年間で祭りに行ったことのある方 (祭りの種類は問わない A or B or C)

【年代別・性年代別】

- ・年代別では傾向がみられた。高い傾向としては
- ・30代男女／10代・20代・30代女性「毎年の楽しみが一つ減る」66%
⇒女性の方が祭りを多様に楽しんでいるためか？
- ・60代・70代「地域の自然や文化との結びつきが薄れてしまうと心配になる」3割以上
- ・70代 地域のつながりそのものがなくなってしまうのではないかと
祭りを経験できなくなる子どもたちに申し訳ない気持ち への危惧があった

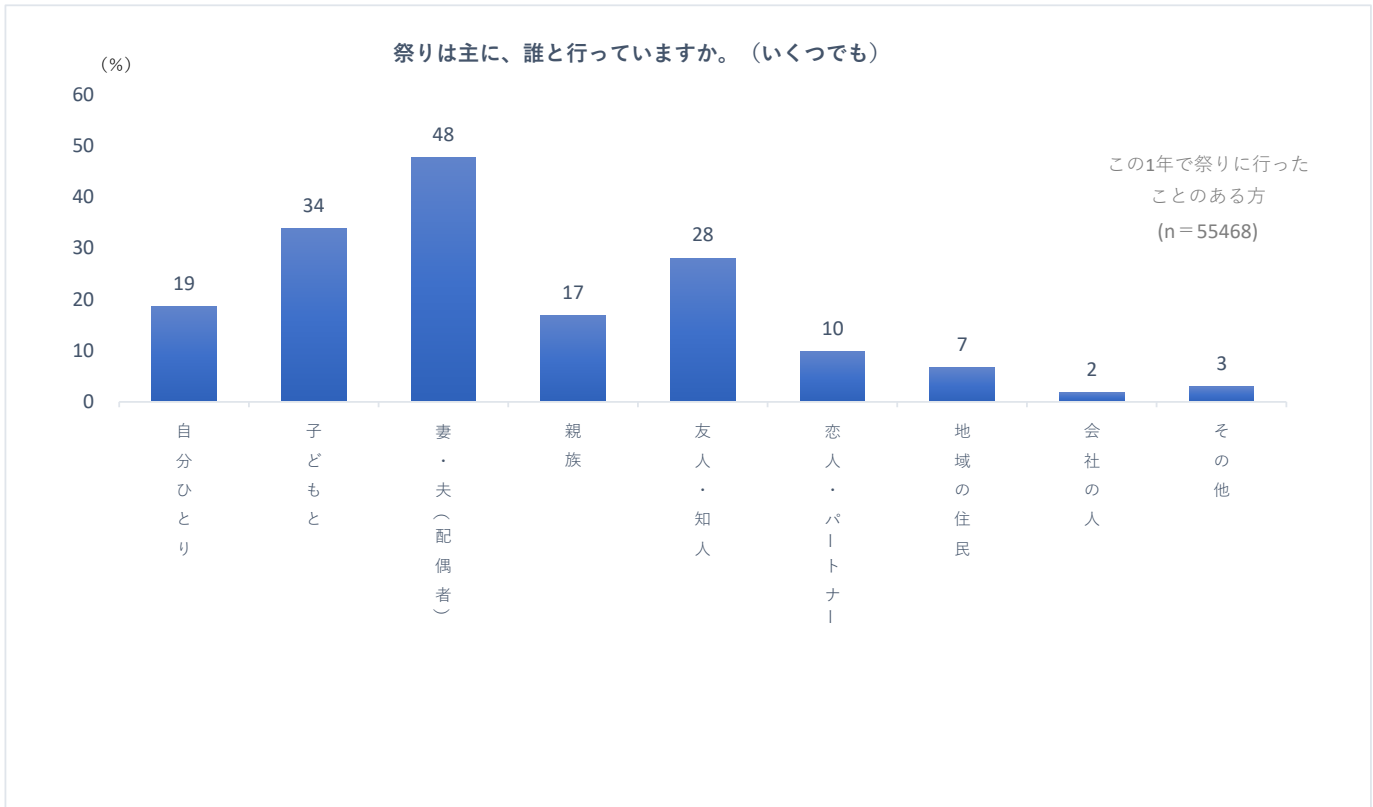
SC13.仮に、現在、行っている／参加している祭りが次回以降中止され、廃絶してしまったとしたら、あなたはどのように感じますか。あてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

MA

		n	(毎年の)楽しみが一つ減る	自分の一部が失われたようで悲しい	理由が薄まる	地域のつながりそのものがなくなってしまうのではないかと心配になる	祭りを伝えるべき親や先祖に申し訳ない気持ち	祭りを経験できなくなる子どもたちに申し訳ない気持ち	祭りの廃絶と結びつけて考えてしまうと、	地域での自然や文化との結びつきが薄れてしまう	何としても復活させたいと思う	自分にとっては好都合である	地域にとてもいい選択である	その他:	特になにも思わない
全体		55468	54.7	7.1	12.7	18.0	14.1	27.6	4.9	22.7	7.9	2.6	2.7	0.5	17.0
年代	10代	3143	59.6	11.3	11.8	13.5	12.7	18.6	6.3	13.5	11.6	2.9	3.0	0.3	16.9
	20代	8151	59.5	11.3	11.5	16.4	14.9	26.5	6.8	18.6	8.0	3.7	3.1	0.4	14.9
	30代	9197	61.2	8.7	10.9	14.8	13.5	31.0	5.5	17.3	6.8	3.1	2.8	0.4	15.6
	40代	10149	54.1	6.8	9.8	15.4	13.9	27.1	4.5	18.3	6.3	2.7	2.4	0.3	19.6
	50代	7652	49.6	5.9	12.1	17.0	14.3	24.3	4.5	21.5	6.8	2.2	2.4	0.6	19.6
	60代	9371	51.1	4.2	14.8	21.1	13.7	27.1	3.4	29.1	8.0	1.8	2.4	0.5	17.3
	70代	7805	50.1	4.3	18.6	26.2	15.1	32.6	4.2	36.6	10.7	1.7	2.9	0.6	14.5
性別	男性	27672	51.2	9.0	14.7	19.7	15.1	26.2	5.4	23.0	8.7	3.2	3.3	0.4	18.2
	女性	27796	58.1	5.3	10.8	16.4	13.1	28.9	4.4	22.5	7.1	1.9	2.1	0.5	15.8
性年代	男性 10代	1480	52.3	13.5	14.2	15.7	14.3	17.3	7.2	13.9	10.9	3.7	4.0	0.4	20.0
	男性 20代	4041	52.7	14.7	14.6	18.6	17.4	24.2	8.8	20.0	9.1	5.5	4.3	0.4	16.1
	男性 30代	4492	55.6	11.8	13.7	17.0	14.3	27.4	6.1	17.2	7.6	4.3	3.9	0.4	17.1
	男性 40代	5138	51.8	8.8	11.3	16.2	15.0	25.3	5.0	17.9	7.4	3.2	2.8	0.3	20.7
	男性 50代	3870	47.0	7.4	13.4	18.1	14.9	23.6	4.5	21.2	7.4	2.5	2.7	0.6	20.5
	男性 60代	4395	49.8	4.9	16.0	22.7	14.7	27.8	3.6	28.6	9.0	1.7	2.8	0.3	18.7
	男性 70代	4256	49.6	4.9	19.9	27.8	14.9	31.9	3.7	37.0	11.4	1.9	3.1	0.5	15.3
	女性 10代	1663	66.0	9.3	9.6	11.5	11.2	19.8	5.5	13.2	12.3	2.2	2.0	0.3	14.2
	女性 20代	4110	66.1	8.0	8.3	14.1	12.4	28.8	4.9	17.2	7.0	1.9	1.9	0.4	13.7
	女性 30代	4705	66.6	5.7	8.1	12.7	12.7	34.5	4.9	17.5	6.0	2.0	1.7	0.4	14.2
	女性 40代	5011	56.4	4.7	8.3	14.7	12.7	29.0	4.0	18.7	5.2	2.1	2.0	0.3	18.5
	女性 50代	3782	52.2	4.3	10.7	16.0	13.8	24.9	4.6	21.9	6.3	2.0	2.1	0.6	18.6
	女性 60代	4976	52.2	3.6	13.7	19.7	12.8	26.6	3.2	29.5	7.0	1.9	2.0	0.6	16.0
	女性 70代	3549	50.8	3.6	17.0	24.1	15.4	33.4	4.9	36.1	9.8	1.4	2.8	0.7	13.6

・誰と主に祭りに行っているかについては、妻・夫(配偶者)48%、子どもと(34%)、友人・知人(28%)、ひとり(19%)と続く。

(年代別は次ページへ)



Q. 祭りは主に、誰と行っていますか。(いくつでも) ※ここでの「祭り」とは、あなたがイメージする祭りでかまいません。

MA

	n	%
全体	55468	100.0
自分ひとり	10355	18.7
子どもと	18728	33.8
妻・夫(配偶者)	26487	47.8
親族	9376	16.9
友人・知人	15558	28.0
恋人・パートナー	5451	9.8
地域の住民	3685	6.6
会社の人	1050	1.9
その他	1657	3.0

※対象者：この1年間で祭りに行ったことのある方（祭りの種類は問わない A or B or C）

【年代別・性年代別】

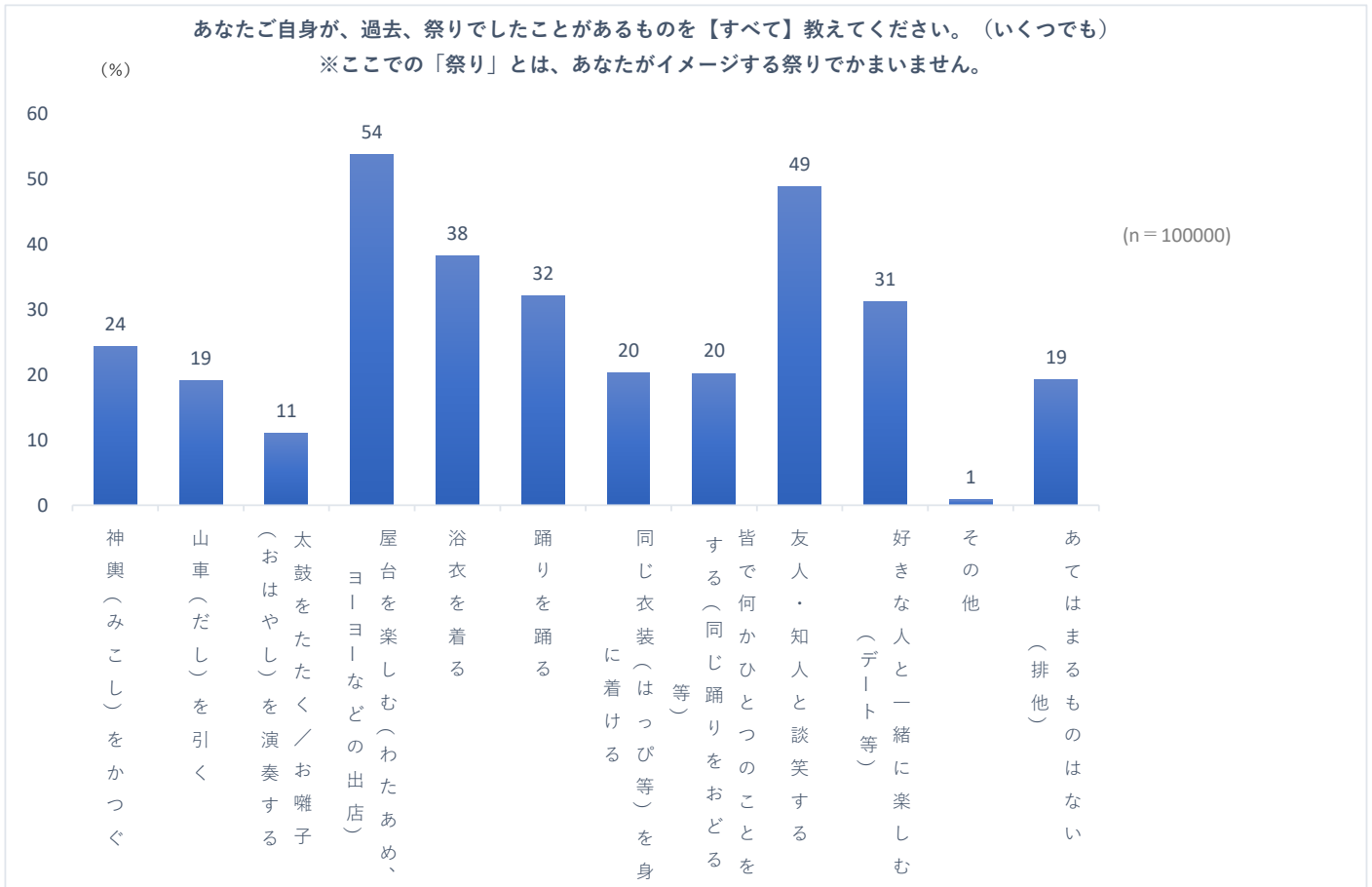
- ・年代別では
10代、20代：友人・知人、親族、恋人・パートナー
30代は子どもとが突出
60代・70代で配偶者とが続く
- ・性別では、男性に「自分ひとり」が高い。

SC14.祭りは主に、誰と行っていますか。(いくつでも) ※ここでの「祭り」とは、あなたがイメージする祭りでかまいません。

MA

		n	自分ひとり	子ども	妻・夫（配偶者）	親族	友人・知人	恋人・パートナー	地域の住民	会社の人	その他
全体		55468	18.7	33.8	47.8	16.9	28.0	9.8	6.6	1.9	3.0
年代	10代	3143	17.1	2.9	4.2	29.1	69.4	19.5	4.1	1.1	4.0
	20代	8151	17.4	17.5	31.9	23.1	48.1	27.9	3.8	3.4	2.1
	30代	9197	14.1	51.2	57.6	20.1	26.4	11.2	3.6	2.5	1.8
	40代	10149	15.7	53.7	51.9	14.6	21.1	7.9	4.5	2.0	2.4
	50代	7652	21.7	35.8	50.6	12.3	20.5	5.4	6.3	2.0	3.4
	60代	9371	21.6	26.8	55.0	13.7	18.1	2.2	9.0	1.1	4.0
性別	70代	7805	23.4	23.1	53.4	13.1	20.7	1.4	14.5	0.6	4.1
	男性	27672	24.9	30.0	49.6	12.4	23.1	9.9	7.8	2.4	3.3
	女性	27796	12.5	37.5	45.9	21.4	33.0	9.7	5.5	1.4	2.7
性年代	男性 10代	1480	24.7	3.6	4.9	26.1	62.1	16.8	5.4	1.6	4.9
	男性 20代	4041	26.0	12.8	26.3	17.1	43.7	27.9	5.0	4.3	2.7
	男性 30代	4492	21.0	46.3	56.5	13.2	22.0	11.8	4.9	3.2	2.4
	男性 40代	5138	22.1	50.8	54.7	10.8	17.8	8.4	5.7	2.5	2.9
	男性 50代	3870	27.1	33.4	53.1	8.2	16.6	5.9	7.5	2.7	3.5
	男性 60代	4395	26.9	21.8	59.4	10.6	13.3	2.7	9.9	1.4	3.6
	男性 70代	4256	27.3	18.4	60.7	10.0	13.5	1.5	14.7	0.5	4.1
	女性 10代	1663	10.3	2.2	3.5	31.8	75.9	21.8	2.9	0.8	3.2
	女性 20代	4110	9.0	22.1	37.4	28.9	52.4	27.9	2.5	2.7	1.4
	女性 30代	4705	7.5	55.9	58.6	26.7	30.7	10.6	2.5	1.7	1.3
	女性 40代	5011	9.2	56.6	49.0	18.4	24.5	7.3	3.3	1.5	1.9
	女性 50代	3782	16.1	38.3	48.0	16.6	24.4	5.0	5.1	1.4	3.3
	女性 60代	4976	16.9	31.3	51.2	16.5	22.3	1.8	8.2	0.8	4.3
	女性 70代	3549	18.7	28.6	44.7	16.9	29.3	1.4	14.3	0.6	4.0

・過去祭りでしたこと、トップは「屋台を楽しむ(54%)」、次いで「友人・知人と談笑する(49%)」
 全体では、担い手参加側の項目である「神輿(みこし)をかつぐ」経験のある方は24%、
 他に「山車を引く(19%)」、「太鼓やお囃子を演奏する(11%)」であった。



Qあなたご自身が、過去、祭りでしたことがあるものを【すべて】教えてください。(いくつでも) ※ここでの「祭り」とは、あなたがイメージする祭りでかまいません。

MA

	n	%
全体	100000	100.0
神輿(みこし)をかつぐ	24311	24.3
山車(だし)を引く	19100	19.1
太鼓をたたく／お囃子(おはやし)を演奏する	10978	11.0
屋台を楽しむ(わたあめ、ヨーヨーなどの出店)	53842	53.8
浴衣を着る	38271	38.3
踊りを踊る	32164	32.2
同じ衣装(はっぴ等)を身につける	20250	20.3
皆で何かひとつのことにする(同じ踊りをおどる等)	20229	20.2
友人・知人と談笑する	48821	48.8
好きな人と一緒に楽しむ(デート等)	31211	31.2
その他	849	0.8
あてはまるものはない(排他)	19243	19.2

※対象者：この1年間で祭りに行ったことのある方(祭りの種類は問わない A or B or C)

【年代別・性年代別】

- ・年代別で高いものは
10代、20代、30代「屋台を楽しむ(わたあめ・ヨーヨーなどの出店)」「友人・知人と談笑する」
20代・30代「好きな人と一緒に楽しむ(デート等)」
10代・20代「太鼓をたたく／お囃子を演奏する」
- ・性別では、
男性「神輿(みこし)をかつぐ」が高い。
女性「浴衣を着る」「屋台を楽しむ」「友人・知人と談笑する」「踊りを踊る」が高い。

SC15.あなたご自身が、過去、祭りでしたことがあるものを【すべて】教えてください。(いくつでも) ※ここでの「祭り」とは、あなたがイメージする祭りでかまいません。

MA

		n	神輿 (みこし) をかつぐ	山車 (だし) を引く	太鼓をたたく／ お囃子を演奏する	屋台を楽しむ (わたあめ、 ヨーヨーなどの 出店)	浴衣を着る	踊りを踊る	着ける 同じ衣装 (はつぴ等) を身に	皆で何かひとつの ことをする (同じ踊りをおどる等)	友人・知人と談笑する	好きな人と一緒に楽しむ (デート等)	その他	あてはまるものはない
全体		100000	24.3	19.1	11.0	53.8	38.3	32.2	20.3	20.2	48.8	31.2	0.8	19.2
年代	10代	4669	29.0	15.1	17.1	58.0	41.5	28.0	21.1	18.5	56.1	20.7	0.4	14.0
	20代	12821	29.2	16.2	18.7	59.3	47.1	30.5	24.1	20.8	56.2	42.6	0.5	14.0
	30代	14811	31.4	19.3	15.9	61.8	45.9	33.2	24.5	21.8	53.5	44.4	0.5	14.6
	40代	18978	29.6	20.8	11.0	57.7	37.0	33.7	21.6	20.8	48.5	36.9	0.7	18.8
	50代	16210	21.9	20.1	8.1	52.7	33.9	34.1	19.2	19.8	45.7	30.9	0.8	22.0
	60代	18611	16.4	18.9	6.1	48.5	34.9	32.3	16.6	19.6	43.9	22.3	1.1	23.0
	70代	13900	16.9	19.7	6.4	42.2	32.3	29.4	16.1	19.2	45.2	14.6	1.7	23.1
性別	男性	49680	30.4	21.2	12.7	48.6	21.5	25.1	20.4	17.1	43.1	29.0	0.8	22.3
	女性	50320	18.3	17.0	9.3	59.0	54.9	39.1	20.1	23.4	54.5	33.4	0.9	16.2
性年代	男性 10代	2340	29.3	15.8	15.6	50.1	18.7	21.4	16.9	14.9	49.8	16.2	0.3	18.7
	男性 20代	6655	30.4	16.9	18.4	49.6	25.5	23.2	19.6	17.1	48.7	34.7	0.5	19.4
	男性 30代	7525	34.2	19.9	16.7	53.6	24.6	24.8	21.4	17.7	45.6	37.8	0.5	19.5
	男性 40代	9604	33.9	21.2	12.3	51.5	18.7	26.1	20.0	17.3	42.2	33.4	0.5	23.1
	男性 50代	8125	29.7	22.1	10.6	48.6	17.6	26.8	20.0	16.1	39.9	29.9	0.8	24.9
	男性 60代	8375	26.9	22.9	8.9	45.7	21.1	26.1	21.0	17.5	39.1	24.7	0.9	24.5
	男性 70代	7056	27.4	25.5	9.5	41.4	23.9	24.0	21.3	17.3	42.4	16.3	2.0	22.3
	女性 10代	2329	28.8	14.3	18.7	65.9	64.5	34.7	25.2	22.2	62.4	25.2	0.6	9.3
	女性 20代	6166	28.0	15.5	19.0	69.7	70.5	38.4	29.0	24.9	64.4	51.1	0.5	8.2
	女性 30代	7286	28.6	18.6	15.1	70.3	67.9	41.8	27.7	26.0	61.7	51.2	0.5	9.5
	女性 40代	9374	25.1	20.4	9.7	64.0	55.8	41.6	23.4	24.3	55.1	40.5	0.8	14.5
	女性 50代	8085	14.1	18.1	5.6	56.8	50.2	41.5	18.4	23.5	51.5	31.9	0.8	19.1
	女性 60代	10236	7.8	15.5	3.8	50.8	46.1	37.4	13.0	21.4	47.8	20.4	1.2	21.7
	女性 70代	6844	6.0	13.9	3.2	43.1	41.0	35.0	10.6	21.1	48.0	12.9	1.3	23.9

調査 1 関与別

・3つの祭りの種類は問わず(A or B or C)「この1年でいずれかの祭りに行った」方の方が、「どの祭りにも行っていない方」よりも「あてはまる」数値が高い。「私が暮らす地域は「豊か」である」「私が暮らす地域は「精神的・文化的」に豊かな地域である」をはじめ、祭りに行っていない方と比べて、祭りの意識における殆どの項目で15%以上の差分が出ている。

・また、参考までに本調査(調査2)に進んだ、作り手1000名(信仰に基づく伝統的な祭り(A)に、作り手側として参加)と比較として掲示。調査2の方で、「自分が暮らす地域をより良くするために、地域に関与したい」「祭りに参加することが好きだ」で、特に差がみられた。

【意識】

Q. あなたにあてはまるものをお選びください。

■TOP2 (非常によくあてはまる+少しあてはまる合計 (%))

(単位: %) ① ② ①-② 参考③ ③-①

	10万人 SC 全体	この1年 いずれかの 祭りに行った (AorBorC)	この1年 どの祭りにも 行っていない	差分 %	調査2 作り手 1000	差分 %
全体 (n)	100000	55468	44532		1000	
1.私が暮らす地域は「豊か」である	38	45	30	15	45	
2.私が暮らす地域は「経済的」に豊かである	33	38	26	11	38	
3.私が暮らす地域は「精神的・文化的」に豊かな地域である	39	46	29	17	48	
4.私の隣近所との人間関係は充実している	32	40	22	18	49	9
5.私は自分が暮らす地域をより良くするために、地域に関与したい	30	39	19	21	51	11
6.暮らしている地域に、気軽に会話や挨拶をする友人・知人がいる	51	61	40	20	66	6
7.暮らしている地域に、頼みごとをしたり、悩みを相談できる友人・知人がいる	38	47	27	19	53	6
8.私は現在暮らしている地域が好きである	57	65	47	18	65	
9.私は現在暮らしている地域に誇りを持っている	38	46	27	19	53	7
10.私が暮らす地域には「祭り」がある	66	75	54	21	76	
1.祭りは私の人生にとって、かかせないものだ	15	23	5	18	35	12
2.祭りが好きだ	42	58	22	37	61	
3.祭りにとっても親しみを感じる	36	51	17	34	59	8
4.祭りを愛している	22	33	8	24	46	13
5.祭りに参加することが好きだ (踊る・演奏するなど担い手となる/運営側となる)	19	29	8	21	49	21
6.祭りの雰囲気が好きだ	51	67	31	36	68	
7.祭りを見て楽しむのが好きだ	46	62	26	36	62	
8.祭りで何かを食べることが好きだ (出店・屋台など)	45	58	29	29	55	
9.祭りに関するコンテンツ (記事、本、TV、ニュースなど) を見たり、楽しんだりするのが好きだ	21	47	9	38	39	
10.祭りの音 (太鼓の音、おはやしの音) が聞こえると、ソワソワする/血が騒ぐ	33	54	17	38	54	
1.祭りの場の一体感が好きだ	39	54	20	34	62	7
2.祭りは地域の誇りである	40	54	22	32	62	8
3.祭りは近隣のつながりや関係性を考える上で、大切な存在である	44	58	27	31	65	7
4.祭りは地域の観光において、重要な役割である	47	59	32	28	60	
5.祭りは日本の誇りである	53	66	37	29	68	
6.祭りは日本人の生活・文化において、大切な存在である	56	69	40	29	68	
7.祭りは日本人の食にとって、大切な存在である (酒、赤飯など)	41	54	26	27	59	6
8.祭りは日本人の教育にとって、大切な存在である	40	53	25	28	62	9
9.祭りは日本の観光において、重要な役割である	55	67	41	26	66	
10.祭りは日本の伝統として、大切な存在である	60	73	45	28	72	

※ (%) は小数点第一位を四捨五入して表示

- ・比較参考としての「調査2：作り手側1000人」で、数値が高い傾向にあるものを太字にした。
- ・また、祭りに行った方の中は、「いつも楽しみにしている祭りがある」「祭りがなくなったら、さみしい」をはじめ、あてはまる数値が高い。
- ・祭りの由来・起源の認知では、行った側全体では、知らない54%であるが、参考の「作り手側」は知っている41%である。

(単位：%)

Q.「海に関係した祭り」について、ご自身にあてはまるものをお選びください。

※行ったことがある（この1年の間+それより以前の合計）

		①	②	①-②	参考	③-①
	10万人SC全体	この1年 いずれかの 祭りに行った (AorBorC)	この1年 どの祭りにも 行っていない	差分 %	調査2 作り手 1000	差分 %
n	100000	55468	44532		1000	
1.海で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り (例：浜下り 神輿の渡御、大漁祭、船を漕ぐ祭り等)	13	18	6	13	34	16
2.開催場所は海ではないが、海の神様にまつわる祭り（陸地や川で実施）	13	19	5	14	37	18
3.伝統的ではないが、海で行われる祭り（音楽祭／花火大会など）	24	35	11	24	46	11

Q.祭りについて、あなたにあてはまるものをお選びください。

TOP2

		①	②	①-②	参考	③-①
	10万人SC全体	この1年 いずれかの 祭りに行った (AorBorC)	この1年 どの祭りにも 行っていない	差分 %	調査2 作り手 1000	差分 %
n	100000	55468	44532		1000	
1.いつも楽しみにしている祭りがある	34	53	11	42	62	9
2.祭りがなくなったら、さみしい	49	66	28	37	68	2
3.どちらかという、祭りは見ている方が好きだ	55	65	42	24	50	
4.どちらかという、祭りは参加する方が好きだ	15	23	6	17	45	22
5.祭りのやり方は、時代に合わせて変わってもいいと思う	41	50	30	20	57	6
6.祭りは伝統を守ることが大切だ	44	53	32	21	61	8
7.祭りは男女の性差関係なく楽しむことができる	47	59	32	27	60	
8.祭りは高齢者も若い人も楽しむことができる	54	67	38	29	70	
9.祭りは、地域外の人への受け入れや、多様性も必要である	55	68	40	28	67	
10.祭りに参加してみたいが、ハードルが高そうである	25	30	18	11	29	

Q.あなたご自身が、行っている／参加している祭りの由来や起源について、あてはまるものをお選びください。

対象者：

SA

		①	②	①-②	参考	③-①
	10万人SC この1年 いずれかの 祭りに行った 方(AorB)	この1年 どの祭りにも 行っていない	差分 %	調査2 作り手 1000	差分 %	
全体 (n)	51962	44532		1000		
全く知らない	18	-		10		
あまり知らない	36	-		29		
どちらともいえない	21	-		20		
まあ知っている	21	-		33	11	
非常によく知っている	3	-		9	5	
TOP2	25	-		41	16	
BTTM2	54	-		39		

Q.仮に、現在、行っている／参加している祭りが次回以降中止され、廃絶してしまったとしたら、あなたはどのように感じますか。

あてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

MA	①	②	参考 調査2 作り手 1000	③-① 差分 %
	この1年 いずれかの 祭りに行った方 (AorBorC)	この1年 どの祭りにも 行っていない		
全体 (n)	55468	44532	1000	
(毎年の) 楽しみが一つ減る	55	-	57	
自分の一部が失われたようで悲しい	7	-	16	8
地域に住み続けている／つながっている理由が薄まる	13	-	25	12
地域のつながりそのものもなくなってしまうのではないかと心配になる	18	-	27	9
祭りを伝えてきた親や先祖に申し訳ない気持ち	14	-	22	8
祭りを経験できなくなる子どもたちに申し訳ない気持ち	28	-	35	8
今後もし地域に不幸や災害がおこると、祭りの廃絶と結びつけて考えてしまう	5	-	9	
地域の自然や文化との結びつきが薄れてしまうと心配になる	23	-	25	
何としてでも復活させたいと思う	8	-	18	10
自分にとっては好都合である	3	-	4	
地域にとっていい選択である	3	-	6	
特になにも思わない	17	-	11	

Q.祭りは主に、誰と行っていますか。(いくつでも) ※ここでの「祭り」とは、あなたがイメージする祭りがかまいません。

SA	①	②	参考 調査2 作り手 1000	③-① 差分 %
	この1年 いずれかの 祭りに行った方 (AorBorC)	この1年 どの祭りにも 行っていない		
全体 (n)	55468	44532	1000	
自分ひとり	19	-	22	
子どもと	34	-	39	5
妻・夫 (配偶者)	48	-	46	
親族	17	-	16	
友人・知人	28	-	29	
恋人・パートナー	10	-	9	
地域の住民	7	-	19	13
会社の人	2	-	4	
その他	3	-	3	

Q.あなたご自身が、過去、祭りでしたことがあるものを【すべて】教えてください。(いくつでも)

※ここでの「祭り」とは、あなたがイメージする祭りでかまいません。

MA	10万人SC	この1年 いずれかの 祭りに行った方 (AorBorC)	この1年 どの祭りにも 行ってない	差分 %	調査2 作り手 1000	
全体 (n)	100000	55468	44532		1000	
神輿(みこし)をかつぐ	24	29	19	10	43	15
山車(だし)を引く	19	23	15		34	11
太鼓をたたく／お囃子(おはやし)を演奏する	11	14	7		27	12
屋台を楽しむ(わたあめ、ヨーヨーなどの出店)	54	61	45	16	57	
浴衣を着る	38	43	32	11	37	
踊りを踊る	32	37	27	10	36	
同じ衣装(はっぴ等)を身につける	20	25	15	10	40	16
皆で何かひとつのことをする(同じ踊りをおどる等)	20	24	16		27	
友人・知人と談笑する	49	56	40	15	53	
好きな人と一緒に楽しむ(デート等)	31	36	25	12	30	-7
その他:	1	1	1		2	
あてはまるものはない	19	9	33	-24	5	

(単位: %)

Q.あなたがお住まいになっている市区町村(自治体)の区分・規模はどれになりますか。

SA	10万人 SC 全体	① この1年 いずれかの 祭りに行った (AorBorC)	② この1年 どの祭りにも 行ってない	参考③	③-① 差分 %
全体 (n)	100000	55468	44532	調査2 作り手 1000	
人口50万人以上の市・都市区	33	33	33	31	
人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	12	12	11	13	
人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	18	19	17	19	
人口10万人未満の市	13	14	12	16	2
町、村	6	6	6	9	3
わからない	18	15	21	12	

区分:
【この1年で行った祭り】
 ・スクリーニング10万人調査の中で、祭りの種類と関与で区分を行った(緑セル)
 ・この1年にAとBの祭りに行った方から、関与別に3区分を抽出した。
 見る側ALL(見るのみ、作る側と見るにつけた方全員)、見る側オンリー(見るのみにつけた方)、作る側(作るのみ、見る側と作るにつけた方全員)
 また、参考として「Cの祭りに行った方」「どの祭りにも行っていない方」調査2: 作り手1000人(A伝統的な祭り参加者)も提示した。
 ・**「作る側」「見る側」で突出している箇所があり、オレンジ・太字とした。**(さらに、参考ではあるものの「調査2: 作り手側1000」で数値が突出しているものがある)
 ・**C: 商業イベントへ行った方も、ABの祭りの「見る側」とそれほど相違がない。**

注: A 地域で行われる信仰に基づいた伝統的な祭り(神輿・山車が出る 神社・お寺主体のお祭り)
 B 地域に根づいた行事としての祭り 信仰に基づいた伝統的なものではない(例: 町内会の夏祭り/文化祭)
 C 商業イベント(有料のイベント、ロックフェス、アートフェス、食フェスなど)

【海の祭り】
 海の祭りは、この1年に行った+過去行ったことがある 両方を含めての抽出とした。
 a「海の祭り(信仰に基づく伝統的な祭り)」に行った方、b「信仰に基づかない海の祭り(ロックフェス、花火大会など)」に行った方、どれも行っていない方

この1年で行った祭り 関与別 (見る・作る)

海の祭りに行った (過去含む)

	スクリーニング	■この1年における祭りの関与度 対象: A or Bの祭り (商業イベント以外)			商業イベント (c) に行った	どれも 行っていない	参考
		見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)	C 商業的な祭り に行った	この1年 どの祭りにも 行っていない	
10万人 全体							調査2 作り手 1000
全体 (n)	100000	49558	43531	17237	35454	44532	1000
	100%	50%	44%	17%	35%	45%	1%

a(1or2)		b(3)		a or b		行っていない
a	b	a or b	a or b	a or b	行っていない	
海の祭り (信仰に基づ く1 or 2)へ 行った	信仰に基づ かない海の祭り (3)へ行った	海の祭り に行った方 ALL (a or b)	海の祭り どれも 行っていない (過去も)			
16301	24424	27349	72651			
16%	24%	27%	73%			

【意識】 TOP2 (非常によくあてはまる+少しあてはまる合計)

あなたにあてはまるものをお選びください。

	スクリーニング	■この1年における祭りの関与度 対象: A or Bの祭り (商業イベント以外)			商業イベント (c) に行った	どれも 行っていない	参考
		見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)	C 商業的な祭り に行った	この1年 どの祭りにも 行っていない	
全体 (n)	100000	49558	43531	17237	35454	44532	1000
1.私が暮らす地域は「豊か」である	38	45	45	44	47	30	45 (%)
2.私が暮らす地域は「経済的に豊か」である	33	38	38	36	39	26	38
3.私が暮らす地域は「精神的・文化的」に豊かな地域である	39	47	47	46	48	29	48
4.私の隣近所との人間関係は充実している	32	41	40	47	40	22	49
5.私は自分が暮らす地域をより良くするために、地域に関与したい	30	39	39	46	41	19	51
6.暮らしている地域に、気軽に会話や挨拶をする友人・知人がいる	51	61	62	63	60	40	66
7.暮らしている地域に、頼みごとをしたり、悩みを相談できる友人・知人がいる	38	47	47	51	48	27	53
8.私は現在暮らしている地域が好きである	57	66	67	63	66	47	65
9.私は現在暮らしている地域に誇りを持っている	38	47	47	49	47	27	53
10.私が暮らす地域には「祭り」がある	66	76	77	72	74	54	76
1.祭りは私の人生にとって、かかせないものだ	15	24	23	31	26	5	35 (%)
2.祭りが好きだ	42	60	60	58	60	22	61
3.祭りにとっても親しみを感じる	36	52	53	53	52	17	59
4.祭りを愛している	22	34	33	40	35	8	46
5.祭りに参加することが好きだ (踊る・演奏するなど担い手となる/運営側となる)	19	29	27	42	32	8	49
6.祭りの雰囲気が好きだ	51	68	70	64	68	31	68
7.祭りを見て楽しむのが好きだ	46	64	65	58	63	26	62
8.祭りで何かを食べることが好きだ (出店・屋台など)	45	59	60	55	61	29	55
9.祭りに関するコンテンツ (記事、本、TV、ニュースなど) を見たり、楽しんだりするのが好きだ	21	31	31	35	34	9	39
10.祭りの音 (太鼓の音、おはやしの音) が聞こえると、ソワソワする/血が騒ぐ	33	48	48	49	49	17	54
1.祭りの場の一体感が好きだ	39	56	56	57	56	20	62 (%)
2.祭りは地域の誇りである	40	55	56	56	55	22	62
3.祭りは近隣のつながりや関係性を考える上で、大切な存在である	44	59	59	60	59	27	65
4.祭りは地域の観光において、重要な役割である	47	60	61	57	62	32	60
5.祭りは日本の誇りである	53	67	68	63	67	37	68
6.祭りは日本人の生活・文化において、大切な存在である	56	70	71	65	69	40	68
7.祭りは日本人の食にとって、大切な存在である (酒、赤飯など)	41	54	55	54	56	26	59
8.祭りは日本人の教育にとって、大切な存在である	40	54	54	54	55	25	62
9.祭りは日本の観光において、重要な役割である	55	68	69	62	68	41	66
10.祭りは日本の伝統として、大切な存在である	60	73	75	67	73	45	72
1.いつも楽しみにしている祭りがある	34	55	56	54	55	11	62 (%)
2.祭りがなくなったら、さみしい	49	67	69	60	66	28	68
3.どちらかというと、祭りは見ている方が好きだ	55	67	70	48	64	42	50
4.どちらかというと、祭りは参加する方が好きだ	15	23	21	37	26	6	45
5.祭りのやり方は、時代に合わせて変わってもいいと思う	41	50	50	50	51	30	57
6.祭りは伝統を守ることが大切だ	44	54	55	53	54	32	61
7.祭りは男女の性差関係なく楽しむことができる	47	60	62	56	60	32	60
8.祭りは高齢者も若い人も楽しむことができる	54	68	70	62	67	38	70
9.祭りは、地域外の人を受け入れや、多様性も必要である	55	68	70	62	68	40	67
10.祭りに参加してみたいが、ハードルが高そうである	25	30	30	27	32	18	29

a		b		a or b		行っていない
a	b	a or b	a or b	a or b	行っていない	
海の祭り (1 or 2)へ 行った	信仰に基づ かない海の祭り (3)へ行った	海の祭り に行った方 ALL (a or b)	海の祭り どれも 行っていない (過去も)			
16301	24424	27349	72651			
16%	24%	27%	73%			

【この1年で行った祭り】

・見る側よりも、作る側の方で、祭りの由来・起源の認知が高い。

【海の祭り】

・a「信仰に基づく祭りに行った」方で、祭りの由来・起源の認知が高い。

・仮に祭りが中止・廃絶となった場合、「毎年の楽しみが一つ減る」が高い。海辺の祭りが楽しみにされていることがわかる。

・a「信仰に基づく祭りに行った」方は、もし祭りが中止、廃絶となった場合

「自分の一部が失われたようで悲しい」「地域に住み続けている／つながっている理由が薄まる」「地域のつながりそのものもなくなってしまうのではないかと心配になる」

「祭りを伝えてきた親や先祖に申し訳ない気持ち」が一般的な祭り参加者よりも高い傾向にあった。

【祭りの由来や起源の認知】

Q. あなたご自身が、行っている／参加している祭りの由来や起源について、あてはまるものをお選びください。

対象者：この1年いずれかの祭りに行った方(AorB)

スクリーニング	この1年で行った祭り関与別（見る・作る）					海の祭りに行った（過去含む）			
	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)	商業イベント (c) に行った	どれも 行っていない	a	b	a or b	行っていない
10万人SC この1年 いずれかの 祭りに行っ た(AorB)									
全体 (n)	49558	43531	17237			12972	18459	20784	31178
全く知らない	19	19	14			9	13	13	22
あまり知らない	36	38	30			31	35	35	37
どちらともいえない	21	21	23			24	22	22	21
まあ知っている	21	21	27			29	25	26	18
非常に知っている	3	3	7			6	5	5	2
TOP2	24	23	33			36	30	31	21
BTTM2	55	56	44			40	48	48	58

【祭りの中止・廃絶】

Q. 仮に、現在、行っている／参加している祭りが次回以降中止され、廃絶してしまったとしたら、あなたはどのように感じますか。あてはまるものすべてを選んでください。（いくつでも）

対象者：この1年いずれかの祭りに行った方(AorB)

スクリーニング	この1年における祭りの関与度 対象：A or Bの祭り（商業イベント以外）					海の祭りに行った（過去含む）			
	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)	商業イベント (c) に行った	どれも 行っていない	a	b	a or b	行っていない
10万人SC この1年 いずれかの 祭りに行っ た(AorB)									
全体 (n)	49558	43531	17237	35454	0	13379	19412	21801	33667
(毎年の) 楽しみが一つ減る	55	56	52	56	0	57	62	61	51
自分の一部が失われたようで悲しい	7	7	12	8	0	14	11	11	5
地域に住み続けている／つながっている理由が薄まる	13	13	20	14	0	19	16	16	11
地域のつながりそのものもなくなってしまうのではないかと心配になる	18	18	24	19	0	24	22	22	16
祭りを伝えてきた親や先祖に申し訳ない気持ち	14	14	18	15	0	20	18	18	11
祭りを体験できなくなる子どもたちに申し訳ない気持ち	28	28	30	28	0	31	32	32	25
今後もし地域に不幸や災害がおこると、祭りの廃絶と結びつけて考えてしまう	5	5	8	6	0	10	7	7	3
地域の自然や文化との結びつきが薄れてしまうと心配になる	23	23	24	24	0	27	26	26	20
何とてでも復活させたいと思う	8	8	12	9	0	13	11	11	6
自分にとっては好都合である	3	2	5	3	0	4	3	3	2
地域にとっていい選択である	3	3	4	3	0	4	3	3	2
特になにも思わない	17	16	14	16	0	9	10	10	22

【祭りに誰と行くか】

Q. 祭りは主に、誰と行っていますか。（いくつでも）

対象者：この1年いずれかの祭りに行った方(AorBorC)

スクリーニング	この1年における祭りの関与度 対象：A or Bの祭り（商業イベント以外）					海の祭りに行った（過去含む）			
	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)	商業イベント (c) に行った	どれも 行っていない	a	b	a or b	行っていない
この1年 いずれかの 祭りに行っ た方 (AorBorC)									
全体 (n)	49558	43531	17237	35454	0	13379	19412	21801	33667
自分ひとり	18	18	20	18		21	18	18	19
子ども	35	35	33	33		33	35	34	33
妻・夫（配偶者）	49	50	43	47		47	49	48	47
親族	17	18	17	17		19	20	20	15
友人・知人	28	27	29	31		33	35	34	24
恋人・パートナー	10	9	10	12		13	14	14	7
地域の住民	6	5	14	7		8	8	8	6
会社の人	2	2	3	2		3	3	3	1
その他	3	3	4	3		2	2	2	4

【過去、祭りでしたこと】

Q.あなたご自身が、過去、祭りでしたことがあるものを【すべて】教えてください。（いくつでも）

※ここで「祭り」とは、あなたがイメージする祭りでかまいません。

この1年で行った祭り 関与別（見る・作る）

スクリーニング	■この1年における祭りの関与度 対象：A or Bの祭り（商業イベント以外）			商業イベント (c) 行った	どれも行って いない	参考	
	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)				
10万人 全体						調査2 作り手 1000	
全体 (n)	100000	49558	43531	17237	35454	44532	1000
神輿（みこし）をかつく	24	29	28	35	31	19	43
山車（だし）を引く	19	23	22	27	23	15	34
太鼓をたたく／お囃子（おはやし）を演奏する	11	14	13	21	16	7	27
屋台を楽しむ（わたあめ、ヨーヨーなどの出店）	54	61	63	54	62	45	57
浴衣を着る	38	44	45	38	46	32	37
踊りを踊る	32	37	37	36	39	27	36
同じ衣装（はっぴ等）を身に着ける	20	24	24	32	26	15	40
皆で何かひとつのことをする（同じ踊りをおどる等）	20	23	24	26	25	16	27
友人・知人と談笑する	49	56	57	49	57	40	53
好きな人と一緒に楽しむ（デート等）	31	37	38	27	39	25	30
その他：	1	1	1	2	1	1	2
あてはまるものはない	19	9	8	9	8	33	5

海の祭りに行った（過去含む）

a	b	a or b	行っていない
海の祭り (信仰に基づ く1 or 2)へ 行った	信仰に基づか ない海の祭り (3)へ行った	海の祭り に行った方 ALL (a or b)	海の祭り どれも 行ってない (過去も)
16301	24424	27349	72651
33	32	32	22
25	25	24	17
19	17	17	9
57	64	63	51
45	50	49	34
39	42	41	29
27	28	27	18
27	29	28	17
53	60	59	45
36	43	42	27
1	1	1	1
9	7	7	24

自治体規模

あなたがお住まいになっている市区町村（自治体）の区分・規模はどれになりますか。

スクリーニング	■この1年における祭りの関与度 対象：A or Bの祭り（商業イベント以外）			商業イベント (c) 行った	どれも行って いない	参考	
	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)				
10万人 全体						調査2 作り手 1000	
全体 (n)	100000	49558	43531	17237	35454	44532	1000
人口50万人以上の市・都市区	33	33	33	31	34	33	31
人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	12	13	13	13	13	11	13
人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	18	19	20	19	19	17	19
人口10万人未満の市	13	14	14	15	13	12	16
町、村	6	6	6	8	6	6	9
わからない	18	15	15	15	16	21	12

a	b	a or b	行っていない
海の祭り (信仰に基づ く1 or 2)へ 行った	信仰に基づか ない海の祭り (3)へ行った	海の祭り に行った方 ALL (a or b)	海の祭り どれも 行ってない (過去も)
16301	24424	27349	72651
35	35	35	32
13	13	13	11
20	19	19	18
13	13	13	13
6	6	6	6
13	14	14	19

性別

スクリーニング	■この1年における祭りの関与度 対象：A or Bの祭り（商業イベント以外）			商業イベント (c) 行った	どれも行って いない	参考	
	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)				
10万人 全体						調査2 作り手 1000	
全体 (n)	100000	49558	43531	17237	35454	44532	1000
男性	50	49	48	60	51	49	50
女性	50	51	52	40	49	51	50

a	b	a or b	行っていない
海の祭り (信仰に基づ く1 or 2)へ 行った	信仰に基づか ない海の祭り (3)へ行った	海の祭り に行った方 ALL (a or b)	海の祭り どれも 行ってない (過去も)
16301	24424	27349	72651
58	50	51	49
42	50	49	51

年代別

スクリーニング	■この1年における祭りの関与度 対象：A or Bの祭り（商業イベント以外）			商業イベント (c) 行った	どれも行って いない	参考	
	見る側 ALL	見る側 オンリー	作る側 (運営 or 担い手)				
10万人 全体						調査2 作り手 1000	
全体 (n)	100000	49558	43531	17237	35454	44532	1000
10代	5	6	5	8	6	3	2
20代	13	14	14	15	16	10	9
30代	15	17	16	16	17	13	22
40代	19	18	18	17	18	20	21
50代	16	13	14	13	14	19	15
60代	19	17	18	16	16	21	17
70代	14	14	15	16	12	14	14

a	b	a or b	行っていない
海の祭り (信仰に基づ く1 or 2)へ 行った	信仰に基づか ない海の祭り (3)へ行った	海の祭り に行った方 ALL (a or b)	海の祭り どれも 行ってない (過去も)
16301	24424	27349	72651
7	7	7	4
18	18	17	11
17	18	18	14
17	18	18	19
13	13	13	17
15	15	15	20
12	11	12	15

1 参加実態と祭りの価値

- ・日本人の7割弱(66%)が「私が暮らす地域には祭りがある」と祭りの存在を認識し、日本人の2人に1人は、何らかの祭り（AまたはBまたはC）に行っている。
- ・「祭りの雰囲気が好きだ（51%）」「見て楽しむのが好きだ（46%）」「何かを食べることが好きだ（45%）」「祭りがなくなったらさみしい（49%）」「祭りは高齢者も若い人も楽しむことができる（54%）」と祭りへの愛着、楽しみといった価値を感じている。
- ・祭りは日本の伝統として／生活文化において／観光においても大切な存在であるに、2人に1人があてはまるとした。伝統・文化側面からも祭りを継続する意味があり、また集客としての可能性・価値も示唆。

2 祭りの種類不問「祭りがあること」「祭りに行くこと」はプラスの可能性

- ・祭りの種類を問わず（A:信仰に基づく伝統的な祭り／B:地域の行事としての祭り／C:商業的な祭り）祭りに行っている人は地域に関する質問、例えば「私が暮らす地域は「豊か」である」「私が暮らす地域は「精神的・文化的」に豊かな地域である」でも「あてはまる」が高い傾向にあった。（この1年で祭りに一度も行っていない方と比較して+15%の有意差）**地域に祭りがあること、祭りに行くことは、地域と人々の気持ちを豊かにしているのではないか。**
※なお統計的に有意差ありの結果が出ているが、いずれも因果関係があると確認されたわけではない。

3 祭りへの参加態度 見る側と作る側 ~作る側は2割だが、地域を良くしたい~

主体的に関わる人材育成としての可能性

- ・祭りのうち「A：信仰に基づく伝統的な祭り」または「B：地域の行事としての祭り」に行った方（全体の52%）へ作る側と見る側での参加実態を聞いたところ、**作る側は約2割（17% 対：対象者10万人）**であった。
- ・作る側として祭りに行った方は、見る側で行った方よりも「私と隣近所との人間関係が充実している」「自分が暮らす地域をよりよくするために、地域に関与したい」に「あてはまる」が高い。「家族」より、ひとつ広い関係性「地域」において、良い関係を築いている自負がありまた自分が関与したいという「自分ごと」への意識、「私」「自分」という第一人称での思いが感じられる。
- ・祭りに「作る側」で参加すると、準備や練習を通じて定期的、あるいは複数回会う機会が生まれる。挨拶を交わす、協力して作業をすることで顔見知りや知人ができ、また人となりを薄く広く互いに知ることで（承認）、世代を超えた地域のつながり（縦・横）、ゆるい（あるいは強固な）関係性もできるのではないか。
- ・祭りを作る側（運営側／担い手側）で参加することは、物事を自分事化し、主体的に関わることへ役立つのではないか。頭で考えているだけでなく、行動する、やってみる人の育成や教育プログラムの一環として、学校側への案内や、企業への案内にも有効ではないか。
- ・一方で、悪いことではないが、見る側だけの人の方が、「祭りは日本の伝統として、大切な存在である」といった一歩ひいた一般論としての設問で「あてはまる」が高い傾向にあった。

作る側

- ・作る側は、現在参加している祭りがなくなることで
「地域に住み続けている／つながっている理由が薄まる」
「地域のつながりそのものなくなってしまうのではないかと心配になる」
の質問で有意差が見られた。祭りが地域に役立っていることが窺える。
- ・「作る側」は由来や起源について、知っている（非常によく+まあ知っている）が
「見る側のみ」の方より高い（+9%）
⇒由来や起源についても、あわせてきちんと伝えていくことは
文化と歴史的側面として、地域が誇りを持てる要素になりうる。あわせて伝えていく努力を

見る側

- ・祭りがなくなったら、よりさみしいと思うのは「見る側」の方である（見るのみ：69% 作る側：60%）
見る側のみの方を、いかに「作る側」へ呼び込むか。
見ることも広い意味での参加ではあるが、担い手・運営側がいないと祭りが続かないことも伝えていくべき。

4 「見る側」が「作る側」になるために

- ・4人に1人は「祭りに参加する、という発想自体がない」ことから、**まずは祭りに参加する経験・機会が必要**。
部活等や勉強が忙しくなる前、小学生くらいまでに友だちと一緒に経験できると良いかもしれない。
地域によっては若年層の参加を市区町村で必須としているところもあるため、そういった試みも有効ではないか。
大人になってからは、学生のゼミや休暇中のプログラムとして、また企業の研修の一環としても可能性はある。
- ・10代～30代で「いつどこで、どんな祭りがあるのかを知らない」が高い。
祭りの告知は（参加者募集も含め）アナログ以外に、SNS等でも広く行ってみる。
- ・見る側のみの方は、作る側に入ることに対し、時間的制約、拘束の度合、コミュニティの閉鎖性を気にしている。
最初からどんな役割を担ってほしいのか役割を明記することや、全てではなく部分的参加でもよければその旨も告知すべきである。関わり方と所要時間について最初から情報をオープンにすると、参加しやすいのではないか。
- ・初めての方歓迎、男女問わず歓迎、興味のある方ならどなたでもなど、各々の祭りにあう条件で
一緒にやろうと呼びかけることも、心理的なハードルを下げることになり、閉鎖性の払拭に有効かもしれない。

※5 祭りに行かない方 0→1の経験

（そもそも、行くことができない事情があるかもしれないが）**まずは祭りに行き、楽しい、という経験をすること**。
特に子どものうちにそれを体験することは、後々、非常に意味のあることと思われる（別紙：調査2の結果より）

調査2：祭りの作り手側

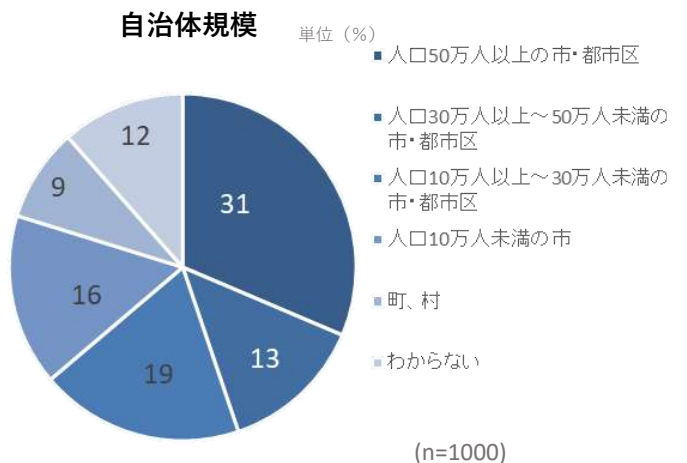
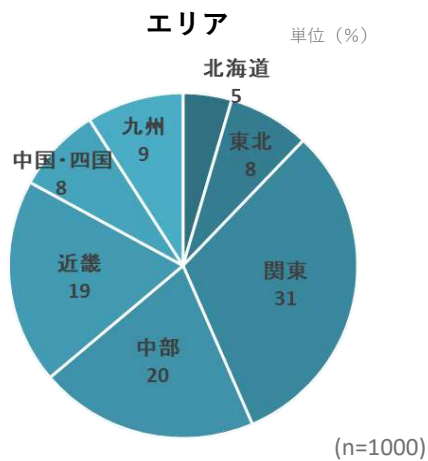
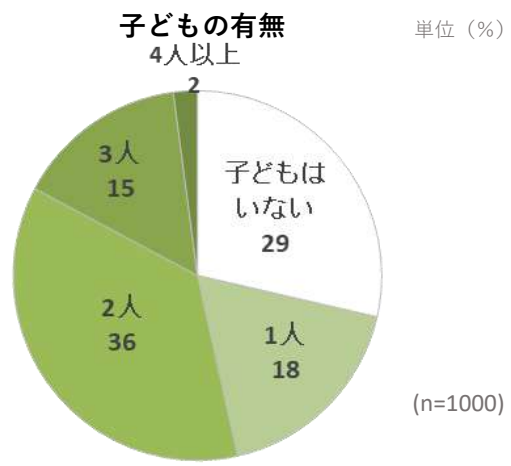
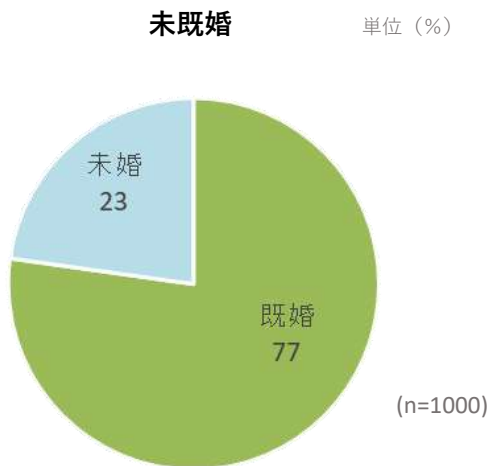
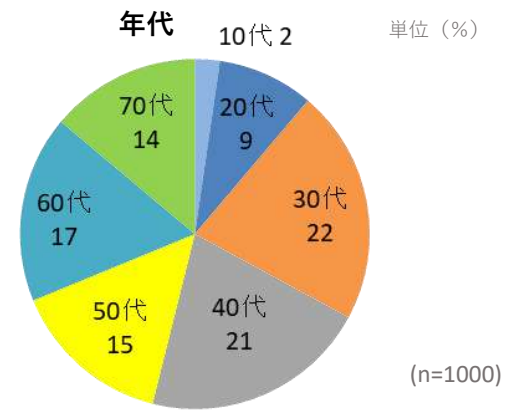
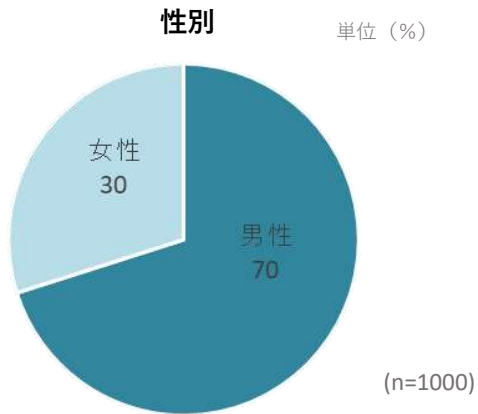
信仰に基づく伝統的な祭り
担い手・運営側 1000名

有効回答数 1,000（男性：701、女性：299）

調査期間：2019年6月21日～6月26日

調査手法：インターネット調査

対象者：10万人スクリーニング（調査1）から、「信仰に基づく伝統的な祭り」に「担い手として参加」もしくは「運営側として参加」した方に調査



祭りの参加と意識

祭りの参加年数 p.47 - 48

- ・ 今回の作り手側1000人の方の、祭り参加年数は、「1年未満（20%）」と「20年以上（20%）」がトップ。4年台までで45%と、2人に1人は5年未満であった。
なお、平均参加年数は11.6年、中央値の選択肢は「5～9年」。
- ・ 自治体規模別でも、参加年数に大きな差分はみられない。（町・村で参加年数多の方が多い傾向はない）
- ・ 年代別では、10代～30代の若年層で1年未満が3割。
- ・ 性別では、女性に1年未満が高い数値となった。

⇒若年層と女性が定着してもらうためのアイデアが必要か

祭りに関わることになったきっかけ p.49 - 50

- ・ 全体トップは「地元の祭りで、もともとなじみがあった／行っていた(48%)」。
追って「町内会など、運営側から依頼・要請があった(39%)」「子供のころ参加していた（24%）」。
- ・ 年代別は、町内会からの依頼・要請があって加わるのは60代、70代である。
一方10代・20代は「地元の祭りで、もともとなじみがあった／行っていた（55%）」「子どもの頃から参加（30%）」
「親や親族が担い手・運営側（29%）」「友人・知人に誘われて（26%）」である。

⇒町会を担う年代（60代以上～）は同年代にしか声をかけないか。若年層への声かけ・周知方法が必要（学校配布、SNS発信など）

⇒どの年代も「地元の祭りで、もともとなじみがあった／行っていた」が突出。祭りに行き、楽しむ経験は非常に重要である。

子どもの頃から作り手側へ参加もできれば、なお良い。

⇒30代は家族への配慮もある。共働き世帯が主である現代、負担にならずに参加できることも重要。

（参加を必須としない／部分だけの参加も可など）

若年層で祭りに関わるきっかけは「祭りになじみのある親・友人経由」となってしまう。全員参加できるしくみがあるとよい。

祭りに「作り手」として参加している方の祭りへの意識 p.51 - 53

- ・ 全体で「あてはまる」が高かったものは
「楽しみや達成感など、感情を共有できる仲間がいる（58%）」
「祭りを通じて地域の魅力を再発見することができる（56%）」
「自分の居場所があると感じる（51%）」「祭りを受け継ぐ次世代のために何かをしたい（52%）」の項目でも
2人に1人、半数があてはまると答えている。
- ・ その一方、「祭りに関与するのは、体力的に厳しいと感じる（41%）」「義務としてしかたなく参加している（33%）」
「どっぷり関わりすぎると大変なのでつかず離れずの距離を保っている（34%）」となった。
- ・ 年代別では、10代～30代：「祭りで、感情を共有できる仲間がいる」に「あてはまらない（22%）」
10代・20代：「どっぷり関わりすぎると大変なので、つかず離れずの距離を保っている（46%）」
30代：「義務としてしかたなく参加している（42%）」で「あてはまる」が高い結果が出ている
- ・ 女性：「どっぷりと関りすぎると大変なので、つかず離れずの距離を保っている（+8% 対：男性）」

⇒主に若年層での腰の引けた参加（年齢的にやむをえない点もある）、どう関与してもらうか検討の余地がある

⇒自由回答が参考になる（うちわづくり等を一緒に、その様子をアップなど）

若年層は、祭りを知ってもらいたい意欲が高いので、SNSを通じた情報発信を担当してもらうことも有効ではないか。

⇒体力的に厳しいと感じるが4割、の観点からも、改善を検討すべき点もあるかもしれない。

例）近年の暑さの考慮、日程や日数、時間の調整など

⇒30代男性への配慮（家族への負担／職場への申し訳なさ）

祭りの良い点

【選択肢からの複数回答】 p.54 - 56

- ・全体では「地域に対する愛着が湧く (41%)」「一体感を感じることができる (41%)」がトップ。
次いで「コミュニティの結束が強くなる (39%)」「世代を超えた縦のつながりができる (37%)」
- ・年代別では、10代・20代の若年層において「出身者が帰ってくる」が高い。
30代は「子どもと一緒に出掛けることができる」
- ・性別では、女性の方で「お酒」や「大きな声を出すこと」を良い点として重きをおいていない。

【自由回答】 p.57 - 58

- ・「祭りの好きなところ」を自由に書いてもらったところ、「地域」「一体感」「仲間」「子どもたち」「屋台」「楽しい」「ふれあう」「うれしい」と賑やかで活気ある、楽しい雰囲気が読み取れる。
⇒「一体感」が感じられるは、やってみた作り手側がピンとくる表現である。
見る側の方が作り手へ入ってもらうためには、別の言葉が必要になるか
(一緒に地域を盛りあげよう／よくしていこう／作るの楽しい／できる範囲の参加でOK、等か)

祭りで困っていること・良くない点

【選択肢からの複数回答】 p.59 - 61

- ・全体でのトップは「特にあてはまるものはない (27%)」※排他選択肢 であったが
トップ3は「町のゴミが増える (24%)」「時間がかかる (祭りを実行するまでの準備、打ち合わせ、当日) (23%)」
「酒で酔っ払った人のトラブルが起きる (20%)」があがった。
- ・年代別では

10代・20代

- 1位：「町のゴミ(43%)」2位：「酒・トラブル (29%)」
3位：「年配者の意向が強い (20%)」「時間がかかる (準備・打ち合わせ・当日) (20%)」

30代：

- 1位：「町のゴミ(28%)」2位：「酒・トラブル (24%)」3位：「仕事との調整 (23%)」 となった。

⇒ゴミの件はリユース食器でゴミを25%削減した「葵祭りの例」も参考になる。

参考：https://www.env.go.jp/press/y030-19b/mat02_2.pdf

次回提案したり、若い方たちや有志で考えてもらう事も手かもしれない。

- ・性別では、男性で特異なものがあった。
男性10代～30代「体育会的なしきたりに従う必要があり、ストレスがたまる (2割)」
男性10代～40代「一度祭りのコミュニティに入ると抜けられない (2割)」

⇒現代の若い方たちは、単に命令、右へ倣えの世界は拒否反応があることも。個人としての尊重も必要か。

⇒状況によってはあるが、強制ではなく参加できる年／できない年など、個人の状況で参加できても良いかもしれない。

【自由回答】 p.62 - 64

困りごと全体としては、「祭り存続の危機」が窺える。

背景に ①運営側が高齢化 ②引継ぎができていない ③担い手の減少・不足が読み取れる。

④参加側の「不公平感」や「強制感」、⑤祭りの「資金面」⑥「ゴミ・騒音・マナー」の問題もあがっている。

祭り運営側の年齢 p.65-66

【現在】

- ・40代～70代がコア。60代 (40%)、50代 (35%)、40代 (31%)、70代 (25%)、追って30代 (22%)。

【昔 (50年くらい前)】

- ・「わからない (38%)」、それ以外は30代～50代がコア。40代 (26%) 50代 (26%)、30代 (22%)、60代 (18%)。
- ・現在は、運営側の年齢が10歳 (～20歳) ほどアップしている。
- ・「町・村」では、小学生・10代 (平均+5%)、40代～70代まで総出で行っている。

青年団（青年部） p.67

- ・「青年団（青年部）的なものがある」は半数（49%）。ただし、機能しているは37%、と全体の4割に留まった。
なお「青年部的なものはない」が27%、「わからない」が25%であった。

祭りの継続・活性化のために行っている地域の取り組み（自由回答） p.68 - 69

【情報発信】

- ・SNSの活用・情報発信活動が目立つ。

ホームページ、facebook、twitter、動画のネット配信、youtubeで生配信
「海外にもアピール」「地域外へPR」「日常的な広報による関心を高める」
「地域のラジオやテレビ局の取材を受ける」

- ・従来方法は、ポスターの掲示や、各戸ポストイング、タウン紙。外国人にも参加してほしいので多言語で掲示。
小学校へ宣伝に行く、新築マンションの自治会で説明会を行う、等がある。

【運営方法】

- ・様々なイベントを合併する
- ・踊り手は踊りたい人を積極的に取り入れる（大学生など）
- ・土日に変更、3日間を2日間へ変更
- ・別の地域に助力を願う
- ・女の子の踊り子を可能に
- ・若い人材の役員登用 など

【教育との連携】

- ・地域の小学校で、小学生によるこの祭りに関する学習発表会が行われ、地域住民も参加できる

地域外からの支援として、ほしいもの p.70-72

- 1位：祭りの担い手組織における若手人材の育成支援(31%)
- 2位：地域内で参加していない住民・新しい住民に参加してもらおう支援（30%）
- 3位：継続的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み（26%）
- 4位：一時的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれるしくみ（24%）

まずは自分たちの地域の中で、そうでなければ外からという意向が見える。まずは人。

年代別で有意差があったものは

■10代・20代

- 1位：外部への発信支援（動画づくり、SNS活用、ポスター作成等）35%
- 2位：一時的に地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み 33%

⇒一緒に地域の若手と情報発信で組むなど、検討できるのではないか

■30代

10~20代に同じ

■60代・70代

- ・地域内で、参加していない住民、新しい住民に参加してもらおう支援
- ・祭りの担い手組織における若手人材の育成支援

祭りがこうあってほしい：理想の姿（自由回答） p.73-74

- ・現状維持：今のまま続けたい／今のまま続いてほしい
- ・若い人：若い人にもっと参加してほしい
- ・一人でも多く：老若男女／町会をはじめ、一人でも多く参加してほしい

祭りの観衆 p.75

- ・全体トップは**100～999人 (35%)**、次点は「1,000～4999人 (15%)」「～99人 (14%)」
1万人以上は約2割 (18%)
- ・自治体規模別：町・村では、「～99人」「～999人」で61%と、小規模よりである。

祭りの担い手組織 (自分のグループ) 規模 p.76

- ・全体でのトップは「**10～49人 (33%)**」、次点は「**50～99人 (20%)**」。
- ・自治体規模別：町・村では、10～49人 (43%)。

祭りのルール**変更の有無 p.78**

- ・「ルールを変えたことがある」24%、「議題にはできるが、変えてはいない」22%。
- ・自治体規模別では、小規模の自治体で「ルールを変えたことがある」が高い。
町・村は約4割 (37%)、人口10万人未満の市では約3割 (32%) がルールを変えたことがある。

⇒変えたいが、変えていない地域への後押しになる。

ルール変更のきっかけ p.79 - 80

- ・全体1位：「祭りの運営組織が高齢化し、若い人が少なくなった (55%)」
2位：「祭りの担い手が不足し、開催が危ぶまれた (48%)」
 - ・自治体規模別では、町・村で「祭りの担い手が不足し、開催が危ぶまれた (56%)」がトップとなり、
そもそも開催ができない、という祭り存続の危機がうかがえる。
 - ・「組織が高齢化」の項目は人口10万人～30万未満都市／人口10万人未満の市で多い傾向にある。
- ⇒町・村では既に祭り自体の存続危機がはじまっており、次の規模の自治体で「運営組織の高齢化／若い人の不足」に。

ルール変更提案者 p.81

- ・運営組織の役員 (58%)、運営組織 全体から (42%)、運営組織の若手 (26%)、地域住民 (18%)

ルール変更して p.82

「良かったと思う (76%)」

ルール変更の具体例 p.83

- ・運営負担の軽減：日程の変更 (固定から日曜など)、日数減 (3日を2日へ)、毎年⇒隔年開催、開催時間短縮など
神輿：人が担ぐから、荷車やトラックで引くへ代替
- ・担ぎ手の拡大：中学生まで参加可／女性参加可／祭りサポーターの募集、外部からの参加を許可など
- ・資金面：寄付金一口分を少額にし、個人寄付をしやすく
- ・若手の意見の採用

祭りの運営資金 p.84

「わからない (33%)」がトップ、「トントン (プラスマイナスゼロ) である」が3割 (29%)。
「余裕がある (黒字)」は21%、「赤字である」は17%

祭りの予算

【自分たちのグループ】 p.85

わからない (43%)、~50万 (15%)

【全体】 p.86

わからない (48%)

予算面は、ノータッチ (わからない) が2人に1人。

祭り運営資金・予算の調達方法 p.87- 89

・全体では1位：「自治体の町内会費 (50%)」

2位：「賛同者の方・氏子の方からの寄付 (45%)」、3位：「市町村の補助金など (38%)」

・年代別では、10代~50代の3割は「わからない」。60代~70代で6割が「自治体の町内会費」「賛同者・氏子の寄付」

⇒会計は60代以上で行っている模様か。

・自治体の規模別では、町・村において

自治体の町内会費 (61%)

賛同者の方、氏子からの寄付 (53%) に頼っている傾向がみられる。

人口が減ると、祭り予算も減っていくことが容易に読み取れる。

祭りの課題 (選択肢から) p.90 - 92

参加側の担い手の人手不足、運営サイドの高齢化・体力面の問題、若手が運営側に入っていない、予算、若手流出。

1位：参加側の担い手が集まらない／人が足りない (38%)

2位：主となる運営側が高齢のため、体力的に厳しい (28%)

3位：地域の若手が担い手組織に入っていない (20%)

4位：予算が厳しい (19%)

5位：若い人が地域の外に流出してしまう (18%)

年代別では

■10代・20代

祭りとしての活気に欠ける (20%)

■30代

観衆が多すぎる (20%)

■60代・70代

地域の担い手組織 (運営側) に入っていない (約3割)

祭りの課題 運営と資金 p.93

1割強は問題あり、2割は改善してうまくいくようになり、3割がうまくいっている。

(残り3 (~4)割は「わからない」と回答)

⇒半数はうまくいっている。

【運営面】

実際に「うまくいっていない・問題あり」は、14%

【資金面】

実際に「うまくいっていない・問題あり」は、12%

年代別でみると、「うまくいっていない・問題あり」が高いのは男性30代、20代、10代。

50代を超えると、概ねうまくいっているになる。

⇒若手の意見も参考に。反映できる枠組み・しくみなど

うまくいっていなかったが、改善を重ねてうまくいった2割の方 その工夫**【運営面】 p.94**

- ・若い住人の祭りサポータークラブの立ち上げ、運営
- ・クラウドファンディング
- ・外部アドバイザーなど、様々な意見をいれる
- ・話し合い
- ・企業への宣伝、若年年齢者の勧誘 など

【資金面】 p.95

- ・クラウドファンディング
- ・資金の見直し
- ・SNSを使ってスポンサーを募る
- ・募金等

祭りについての意識 p.96- 98

- ・全体で「あてはまる」が最も高いものは、「この祭りを次の世代へ継続していきたい (52%)」。
また、「祭りの存続が危機である (23%)」は現時点では全体では2割であるが、
町・村では「祭りの存続が危機である (37%)」と約4割が危機と回答している。
- ・年代別は、10代～30代若年層で「祭りの存在を知ってもらいたい」
「今のままでいいとは思わないが、どうしたらいいかわからない」高。
- ・年配層：「次の世代へ継続したい」が高い。
- ・自治体規模別に見ると、人口が多い都市で「祭りの将来に希望がもてる」が高い。

祭りに関わる前と後 自身の意識の変化について p.99- 101

作る側において、以下の6項目で50%以上の方があてはまると回答した。

- ・地域の人と協力することは楽しい (59%)
- ・次世代に祭りをつなげていきたい気持ちが強くなった (54%)
- ・地域の子どもたちを育てていきたい気持ちが強くなった (52%)
- ・地域コミュニティのメンバーとしての自覚がわいた (52%)
- ・地域の役に立つことをしたいという気持ちがわいた(52%)
- ・地域に対する愛着が増した (51%)

■10代・20代／30代でも

「地域の人と協力することは楽しい」 50%以上があてはまるとしている

■30代

「祭りがあることで、仕事におけるパフォーマンスが上がった (36%)」

ただし30代は「家族や職場に迷惑をかけてしまい、申し訳ない気持ちがある」 (36%) も。

⇒仕事や育児等もある世代。負担のない中で参加してもらえ工夫

■70代 意識全般において、あてはまるが突出**■男性10代・20代／30代**

約4割が「家族や職場に迷惑をかけてしまい、申し訳ない気持ちがある」としている。

祭りの継続 何年後まで p.102 -103

- ・5年後 可能である (55%)
- ・10年後 可能である (40%)
- ・30年後 可能である (21%)

30年後は、「町・村」／「人口10万人未満の市」で4割が継続は難しいと回答している。

祭りの配慮 p.104 - 106

全体では、地域外と女性への配慮が高い。

1位：地域外の人参加できる工夫・配慮をしている（参加枠の設定など）50%

2位：女性も気軽に参加できる工夫・配慮をしている 43%

追って

初めて参加した人たちの交流の場を設けている（22%）

外国人の方も参加できるよう工夫・配慮をしている（21%）

幸福度 しあわせスコア（土スコアのみ） p.107 - 110

・「地域しあわせラボ」の地域のしあわせ調査における「土スコア」*1 項目で調べたところ、

祭りの参加者側の方の「地域の幸福度：土スコア」は、360.8であった。

（比較参考：調査で47都道府県トップの沖縄のスコアは337.3）

祭りの作り手側は、自分の地域がしあわせな気持ちを後押しする地域・風土と認識。

*1：「地域しあわせ風土に関する調査」2014年（全国15000人対象：https://archive.issueplusdesign.jp/project/local-happiness/691）

「土スコア」とは、「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」「ほっとする」気持ちを地域の住民に生み出す、その地域の価値観、地域性、土壌

⇒**祭り（作り手側）は全国各都道府県、様々な場所。祭りがある地域はしあわせな気持ちを後押しする地域なのか地域ではなく、作り手だからなのか。**

子どもの頃の思い出 p.111

・子どもの頃（小学生のころ）、**祭りに行くことに対して「楽しい思い出がある」方は8割（78%）。**

うち、「とても楽しい思い出がある」方が44%、「やや楽しい思い出がある」方が34%であった。

⇒**子どものころに「とても楽しい思い出」として祭りを経験しておくことは、地域の祭りに親しみを持ち、将来祭りを作る側に入るきっかけとなる。地域をよくする個人を育成、という面からも非常に重要ではないか。**

・参考：「子どもの頃の祭りに行くことの思い出」と中程度の相関が出た項目は

「次世代に祭りをつなげていきたい気持ちがわいた」「地域の人と協力することは楽しい」

「地域コミュニティのメンバーとして自覚がわいた」「地域の役に立つことをしたいという気持ちがわいた」。

⇒**相関は参考までではあるが、数ある質問からこの質的体験の項目が際立つことは、注目すべき点ではないか。**

子どもの頃 祭りでしたこと p.113

・「屋台で何かを買ってもらう・買う（69%）」「花火を見る（48%）」「浴衣を着せてもらう、着る（40%）」

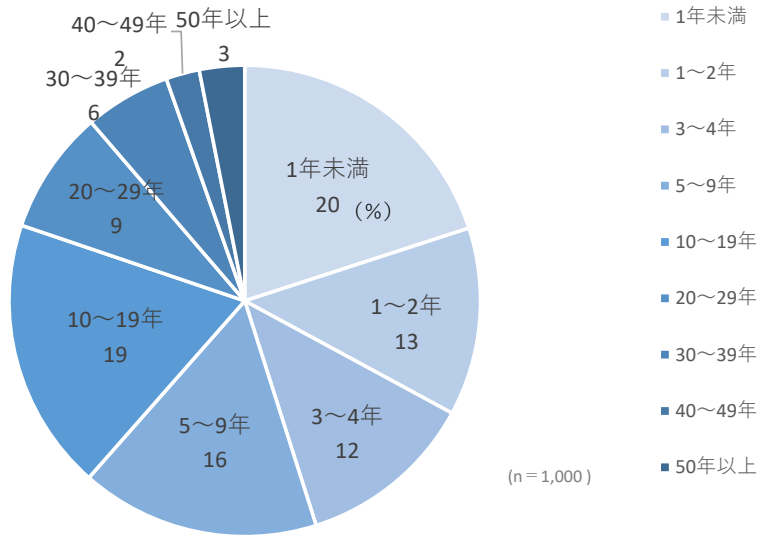
・神輿をかつぐ(37%)、山車をひく(32%)、太鼓をたたく／お囃子を演奏する（27%）となった。

⇒**10万人調査（過去に祭りでしたこと≠子どもの頃ではあるが）と比べても、神輿を担ぐ等、高い結果に。**

- ・祭りの参加年数は、「1年未満(20%)」と「20年以上(20%)」がトップ。4年台までで45%と、2人に1人は5年未満となった。
- ・なお、平均参加年数は11.6年、中央値の選択肢は「5～9年」であった。
- ・自治体規模別でも、参加年数に大きな差分はみられない。(町・村が参加年数が多いといったような傾向はない)
- ・年代別では、10代～30代の若年層で1年未満が3割であった。
- ・性別では、女性に1年未満が高い数値となった。

Q.あなたが（運営側・担い手側になっている）今の祭りに参加するようになって、どのくらいになりますか。

祭り 参加年数



SA

	n	%
全体	1000	100.0
1年未満	200	20.0
1～2年	129	12.9
3～4年	122	12.2
5～9年	164	16.4
10～19年	187	18.7
20～29年	85	8.5
30～39年	59	5.9
40～49年	23	2.3
50年以上	31	3.1

20年以上 20% (19.8)

【年代別】

Q.あなたが（運営側・担い手側になっている）今の祭りに参加するようになって、どのくらいになりますか。

SA

		n	1 年 未 満	1 ~ 2 年	3 ~ 4 年	5 ~ 9 年	1 0 ~ 1 9 年	2 0 ~ 2 9 年	3 0 ~ 3 9 年	4 0 ~ 4 9 年	5 0 年 以 上
全体		1000	20.0	12.9	12.2	16.4	18.7	8.5	5.9	2.3	3.1
年代（10代/20代 まとめ）	10代/20代	112	33.9	17.0	17.0	17.9	12.5	1.8	0.0	0.0	0.0
	30代	217	27.2	15.7	15.7	17.1	17.1	3.7	3.7	0.0	0.0
	40代	210	21.9	11.9	13.3	19.5	21.4	5.7	3.8	2.4	0.0
	50代	149	14.1	12.8	10.1	14.1	15.4	15.4	12.8	2.0	3.4
	60代	173	13.9	6.9	8.7	12.7	23.1	14.5	7.5	4.0	8.7
	70代	139	8.6	14.4	7.9	16.5	20.1	10.8	7.9	5.8	7.9

は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上低いセル

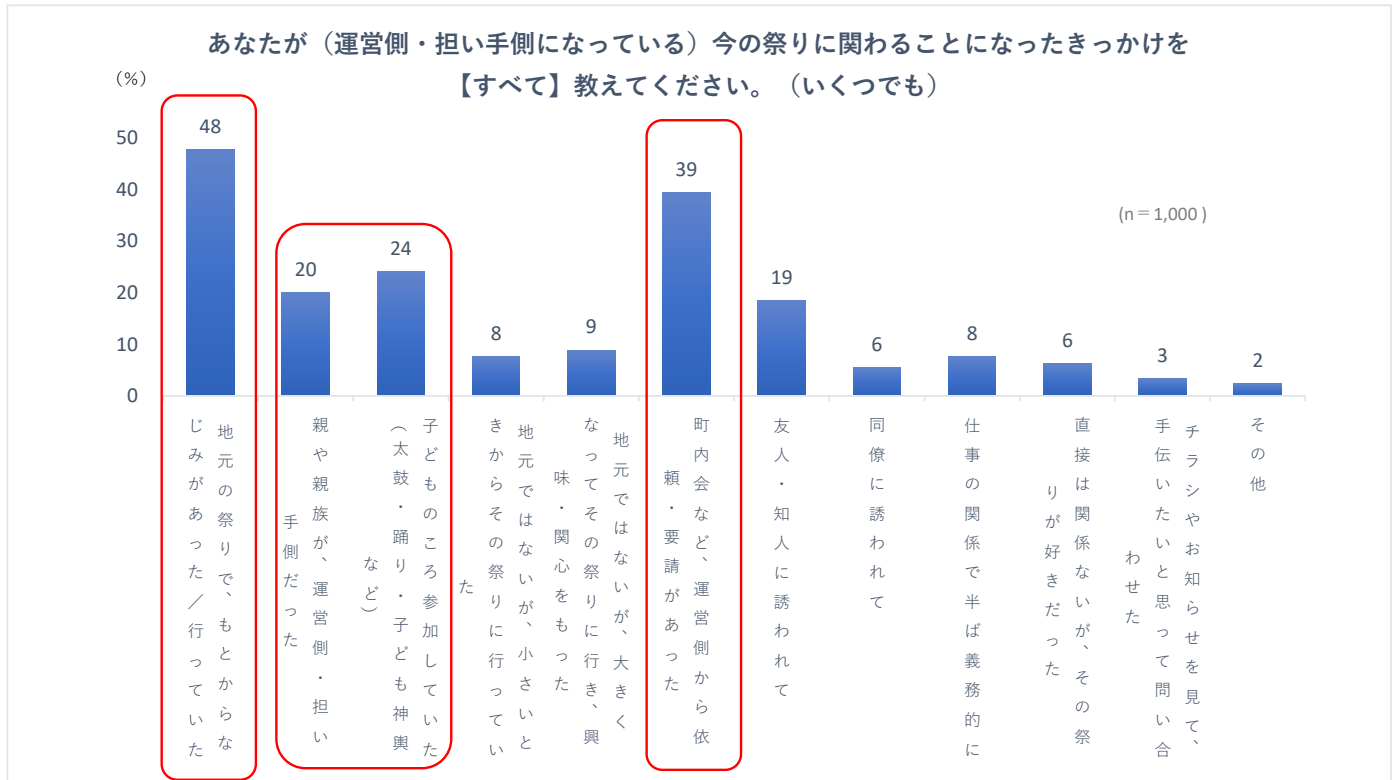
【男女別】

Q.あなたが（運営側・担い手側になっている）今の祭りに参加するようになって、どのくらいになりますか。

SA

		n	1 年 未 満	1 ~ 2 年	3 ~ 4 年	5 ~ 9 年	1 0 ~ 1 9 年	2 0 ~ 2 9 年	3 0 ~ 3 9 年	4 0 ~ 4 9 年	5 0 年 以 上
全体		1000	20.0	12.9	12.2	16.4	18.7	8.5	5.9	2.3	3.1
性別	男性	701	15.4	13.8	12.1	17.7	19.7	9.1	5.6	2.7	3.9
	女性	299	30.8	10.7	12.4	13.4	16.4	7.0	6.7	1.3	1.3

・全体トップは「地元の祭りで、もとからなじみがあった／行っていた(48%)」。追って「町内会など、運営側から依頼・要請があった(39%)」「子供のころ参加していた(24%)」となった。



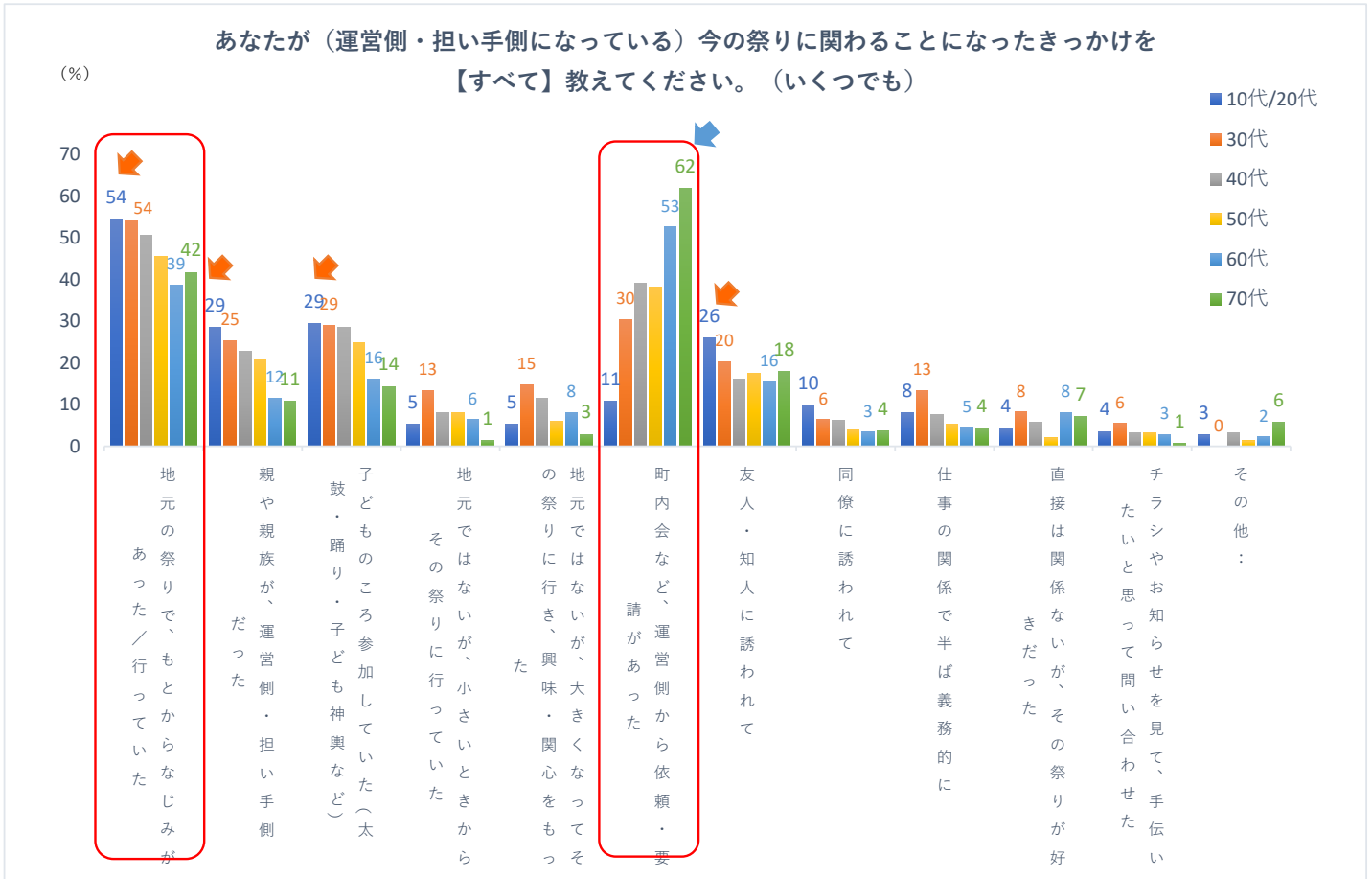
Q.あなたが（運営側・担い手側になっている）今の祭りに関わることになったきっかけを【すべて】教えてください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	1000	100.0
地元の祭りで、もとからなじみがあった／行っていた	478	47.8
親や親族が、運営側・担い手側だった	201	20.1
子供のころ参加していた（太鼓・踊り・子ども神輿など）	241	24.1
地元ではないが、小さいときからその祭りに行っていた	77	7.7
地元ではないが、大きくなってその祭りに行き、興味・関心をもった	89	8.9
町内会など、運営側から依頼・要請があった	394	39.4
友人・知人に誘われて	185	18.5
同僚に誘われて	55	5.5
仕事の関係で半ば義務的に	76	7.6
直接は関係ないが、その祭りが好きだった	62	6.2
チラシやお知らせを見て、手伝いたいと思って問い合わせた	34	3.4
その他	24	2.4

・年代別で見ると、**町内会からの依頼・要請があつて加わるのは60代、70代。**
 一方10代・20代は「地元の祭りでもとからなじみがあつた／行っていた(55%)」が突出。
 「子どもの頃から参加していた(30%)」「親や親族が運営側・担い手側(29%)」「友人・知人に誘われて(26%)」と、続く。
 子どもの頃からなじみがある以外は、祭りになじみのある親、家庭であること、友人つながりがあることと限定される。

【年代別】



Q.あなたが（運営側・担い手側になっている）今の祭りに関わることになったきっかけを【すべて】教えてください。（いくつでも）

MA

年代	n	地元の祭りでもとからなじみがあつた／行っていた	親や親族が、運営側・担い手側だった	子どもの頃から参加していた（太鼓・踊り・子ども神輿など）	地元ではないが、小さいときからその祭りに行っていた	地元の祭りには行かないが、興味・関心をもつた	町内会など、運営側から依頼・要請があつた	友人・知人に誘われて	同僚に誘われて	仕事の関係で半ば義務的に	直接は関係ないが、その祭りが好きだった	チラシやお知らせを見て、手伝いたいと思つて問い合わせた	その他
全体	1000	47.8	20.1	24.1	7.7	8.9	39.4	18.5	5.5	7.6	6.2	3.4	2.4
10代/20代	112	54.5	28.6	29.5	5.4	5.4	10.7	25.9	9.8	8.0	4.5	3.6	2.7
30代	217	54.4	25.3	29.0	13.4	14.7	30.4	20.3	6.5	13.4	8.3	5.5	0.0
40代	210	50.5	22.9	28.6	8.1	11.4	39.0	16.2	6.2	7.6	5.7	3.3	3.3
50代	149	45.6	20.8	24.8	8.1	6.0	38.3	17.4	4.0	5.4	2.0	3.4	1.3
60代	173	38.7	11.6	16.2	6.4	8.1	52.6	15.6	3.5	4.6	8.1	2.9	2.3
70代	139	41.7	10.8	14.4	1.4	2.9	61.9	18.0	3.6	4.3	7.2	0.7	5.8

・祭りへの自身の意識を測るため、それぞれの質問を5段階選択制とした。
 (非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらでもない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)

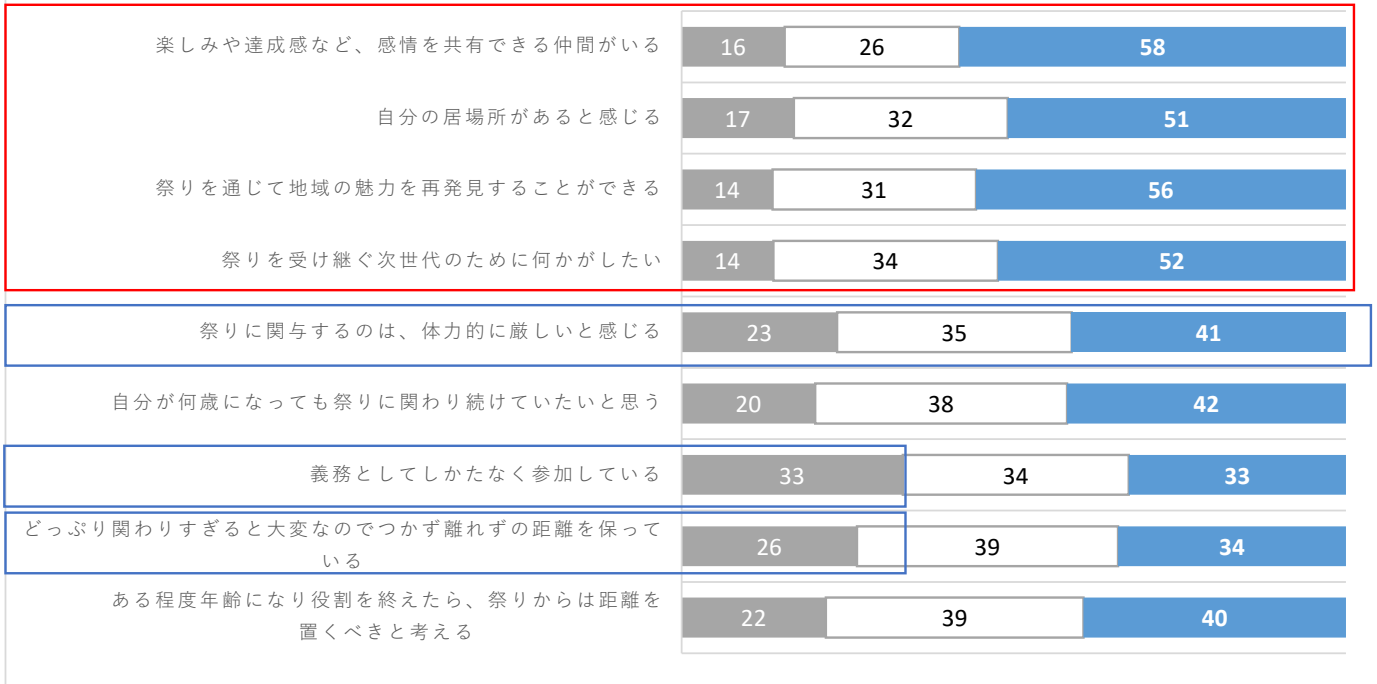
・全体での「あてはまる」(非常によく+少しあてはまるの合計)が高かったものは、「**楽しみや達成感など、感情を共有できる仲間がいる**(58%)」「**祭りを通じて地域の魅力を再発見することができる**(56%)」であった。また「**自分の居場所があると感じる**(51%)」「**祭りを受け継ぐ次世代のために何かをしたい**(52%)」の項目でも**2人に1人、半数があてはまると答えている**。

その一方、「祭りに関与するのは、体力的に厳しいと感じる(41%)」「義務としてしかたなく参加している(33%)」「どっぷり関わりすぎると大変なのでつかず離れずの距離を保っている(34%)」となった。

祭りへの意識

(n=1000)

■あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない) □どちらともいえない ■あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる) (%)



BTTM2

TOP2

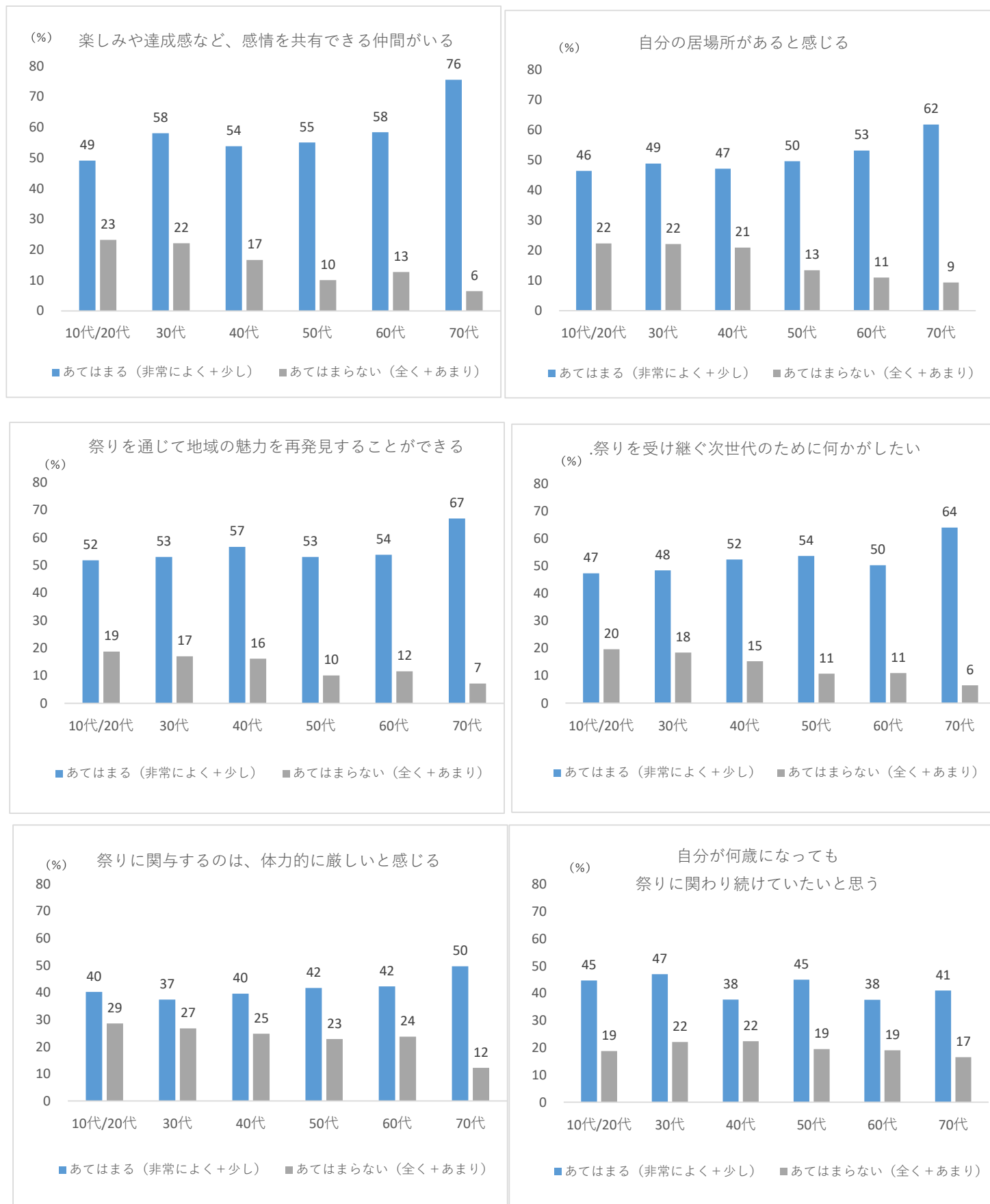
	ま り あ て は ま ら な い + あ	ど ち ら と も い え な い	あ よ く あ て は ま る (+ 少 し	あ て は ま る (非 常 に
楽しみや達成感など、感情を共有できる仲間がいる	15.5	26.3	58.2	
自分の居場所があると感じる	16.9	32.2	50.9	
祭りを通じて地域の魅力を再発見することができる	13.7	30.6	55.7	
祭りを受け継ぐ次世代のために何かをしたい	13.8	33.8	52.4	
祭りに関与するのは、体力的に厳しいと感じる	23.4	35.3	41.3	
自分が何歳になっても祭りに関わり続けたいと思う	20.1	37.9	42.0	
義務としてしかたなく参加している	33.3	34.0	32.7	
どっぷり関わりすぎると大変なのでつかず離れずの距離を保っている	26.4	39.3	34.3	
ある程度年齢になり役割を終えたら、祭りからは距離を置くべきと考える	21.7	38.8	39.5	

年代別

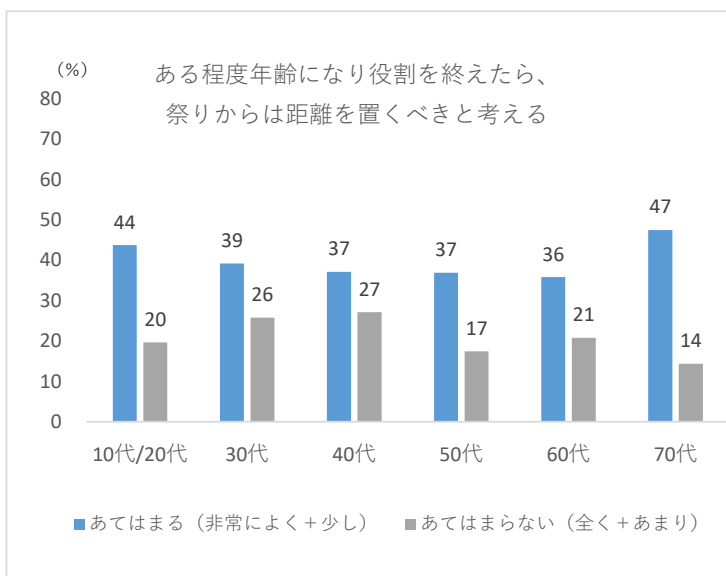
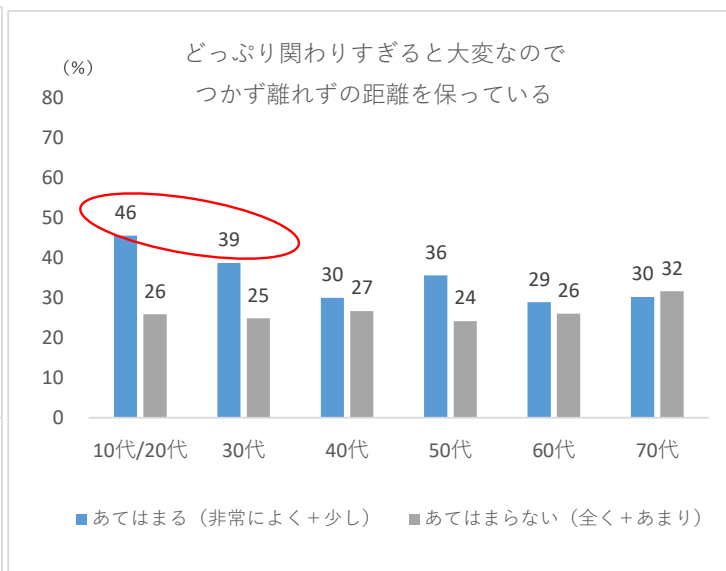
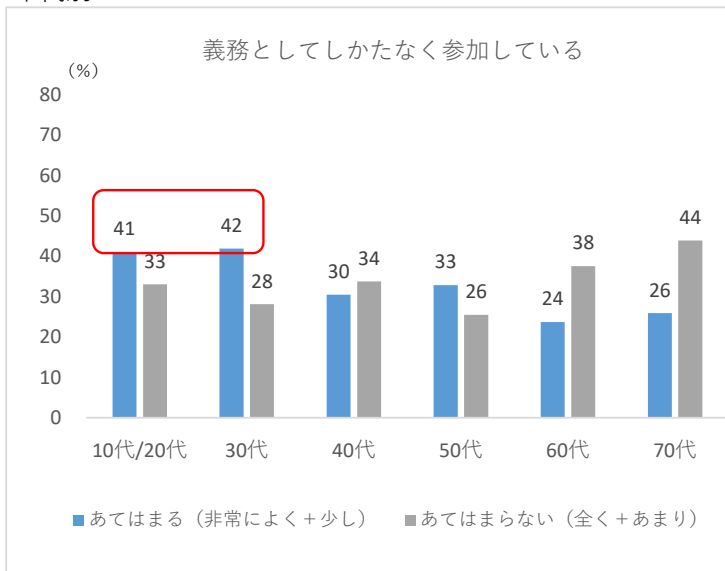
・年代別でみると、10代から30代の若年層で「祭りで、感情を共有できる仲間がいる」に「あてはまらない(22%)」となっている。
 10代・20代:「どっぷり関わりすぎると大変なので、つかず離れずの距離を保っている(46%)」
 30代:「義務としてしかたなく参加している(42%)」で「あてはまる」が高い結果が出ている。

・女性:「どっぷりと関りすぎると大変なので、つかず離れずの距離を保っている(+8% 対:男性)」であった。

Q.参加している(運営側・担い手側になっている)祭りについて、あなたにあてはまるものをお選びください。

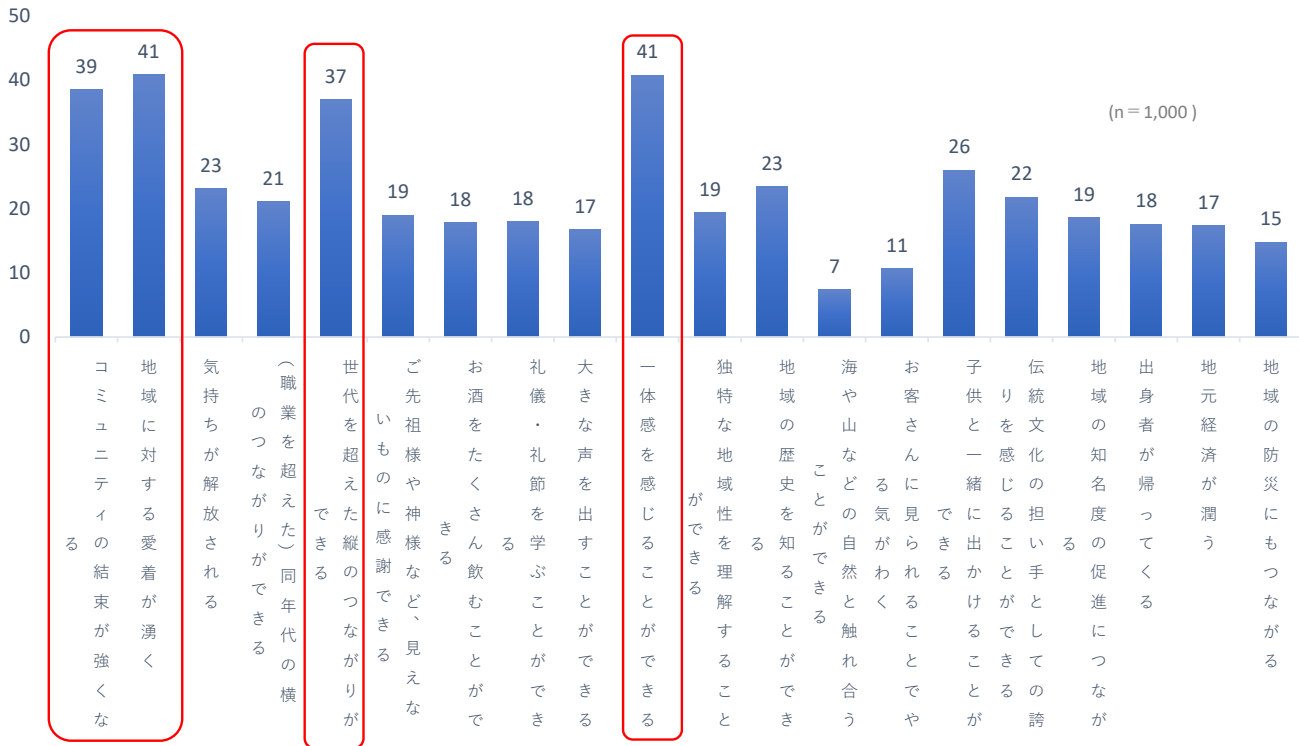


年代別



・全体では
 「地域に対する愛着が湧く(41%)」「一体感を感じることができる(41%)」がトップ。
 次いで「コミュニティの結束が強くなる(39%)」「世代を超えた縦のつながりができる(37%)」。

Q.あなたが参加している祭りの良い点はどんなところにあると思いますか。
 あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

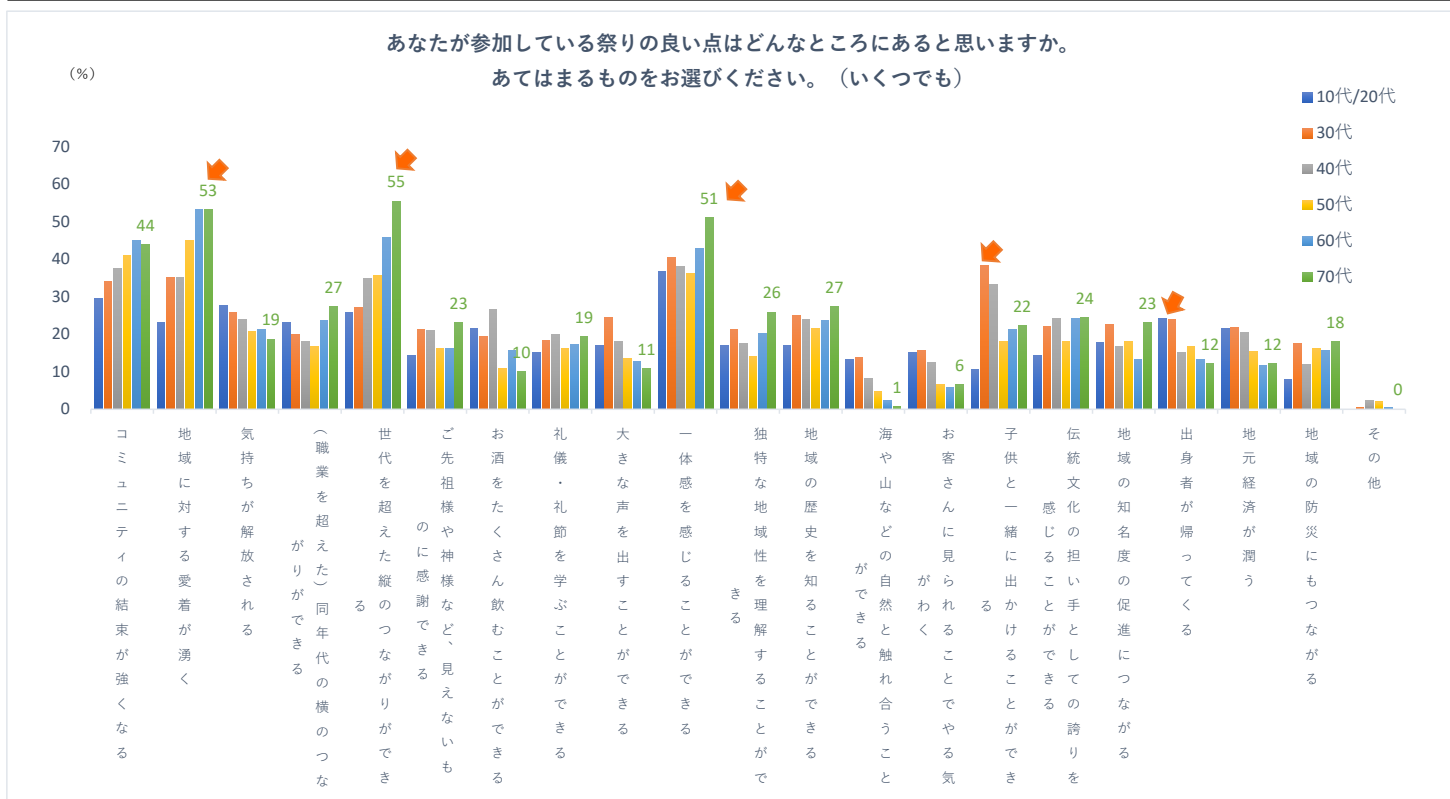


Q.あなたが参加している祭りの良い点はどんなところにあると思いますか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	1000	100.0
コミュニティの結束が強くなる	386	38.6
地域に対する愛着が湧く	409	40.9
気持ち解放される	231	23.1
(職業を超えた) 同年代の横のつながりができる	211	21.1
世代を超えた縦のつながりができる	370	37.0
ご先祖様や神様など、見えないものに感謝できる	190	19.0
お酒をたくさん飲むことができる	179	17.9
礼儀・礼節を学ぶことができる	180	18.0
大きな声を出すことができる	167	16.7
一体感を感じることができる	408	40.8
独特な地域性を理解することができる	194	19.4
地域の歴史を知ることができる	234	23.4
海や山などの自然と触れ合うことができる	74	7.4
お客さんに見られることでやる気がわく	106	10.6
子供と一緒に出かけることができる	260	26.0
伝統文化の担い手としての誇りを感じることができる	218	21.8
地域の知名度の促進につながる	186	18.6
出身者が帰ってくる	176	17.6
地元経済が潤う	174	17.4
地域の防災にもつながる	148	14.8
その他：	10	1.0

・年代別で特筆すべき点は、10代・20代の若年層において「出身者が帰ってくる」が高い。
 30代は「子どもと一緒に出掛けることができる」が強く出ている。
 また、60代・70代では、「世代を超えた縦のつながりができる」「地域に対する愛着が湧く」「一体感を感じる事ができる」
 ・また性別では、女性で「お酒をたくさん飲むことができる」点や「大きな声を出すことができる」点が強く出ているなかった。
 (⇒ここに重きをおいていないというよりは、伝統的な祭りに作り手側として参加している女性の役割が、違うのかもしれない)



Q.あなたが参加している祭りの良い点はどこにあると思いますか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

MA

	n	コミュニティの結束が強くなる	地域に対する愛着が湧く	気持ちが解放される	(職業を超えた) 同年代の横のつながりができる	世代を超えた縦のつながりができる	ご先祖様や神様などに感謝できる	お酒をたくさん飲むことができる	礼儀・礼節を学ぶことができる	大きな声を出すことができる	一体感を感じる事ができる	独特な地域性を理解することができる	地域の歴史を知ることができる	海や山などの自然と触れ合うことができる	お客さんに見られることがわく	子どもと一緒に出かけることができる	伝統文化の担い手としての誇りを感じる事ができる	地域の知名度の促進につながる	出身者が帰ってくる	地元経済が潤う	地域の防災にもつながる	その他	
全体	1000	38.6	40.9	23.1	21.1	37.0	19.0	17.9	18.0	16.7	40.8	19.4	23.4	7.4	10.6	26.0	21.8	18.6	17.6	17.4	14.8	1.0	
年代	10代/20代	112	29.5	23.2	27.7	23.2	25.9	14.3	21.4	15.2	17.0	36.6	17.0	17.0	13.4	15.2	10.7	14.3	17.9	24.1	21.4	8.0	0.0
	30代	217	34.1	35.0	25.8	19.8	27.2	21.2	19.4	18.4	24.4	40.6	21.2	24.9	13.8	15.7	38.2	22.1	22.6	24.0	21.7	17.5	0.5
	40代	210	37.6	35.2	23.8	18.1	34.8	21.0	26.7	20.0	18.1	38.1	17.6	23.8	8.1	12.4	33.3	24.3	16.7	15.2	20.5	11.9	2.4
	50代	149	40.9	45.0	20.8	16.8	35.6	16.1	10.7	16.1	13.4	36.2	14.1	21.5	4.7	6.7	18.1	18.1	18.1	16.8	15.4	16.1	2.0
	60代	173	45.1	53.2	21.4	23.7	45.7	16.2	15.6	17.3	12.7	42.8	20.2	23.7	2.3	5.8	21.4	24.3	13.3	13.3	11.6	15.6	0.6
70代	139	43.9	53.2	18.7	27.3	55.4	23.0	10.1	19.4	10.8	51.1	25.9	27.3	0.7	6.5	22.3	24.5	23.0	12.2	12.2	18.0	0.0	

【性別】

Q.あなたが参加している祭りの良い点はどんなところにあると思いますか。あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

MA

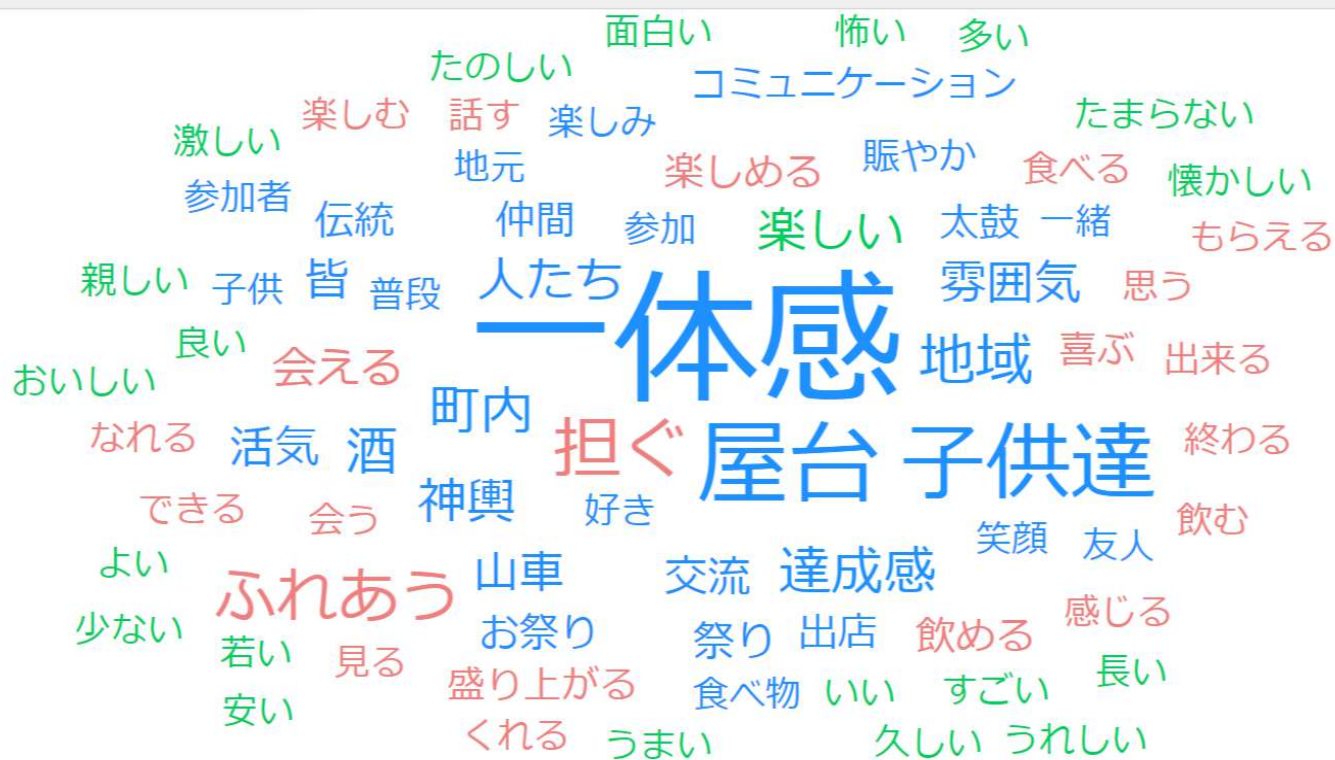
		コミュニティの結束が強くなる	地域に対する愛着が湧く	気持ちが解放される	（職業を超えた）同年代の横のつながり ができる	世代を超えた縦のつながり ができる	ご先祖様や神様など、見えないものに感 謝できる	お酒をたくさん飲むことができる	礼儀・礼節を学ぶことができる	大きな声を出すことができる	一体感を感じることができる	独特な地域性を理解することができる	地域の歴史を知ることができる	海や山などの自然と触れ合うことができ る	お客さんに見られることでやる気がわか る	子供と一緒に出かけることができる	伝統文化の担い手としての誇りを感じる ことができる	地域の知名度の促進につながる	出身者が帰ってくる	地元経済が潤う	地域の防災にもつながる	その他	
全体	1000	38.6	40.9	23.1	21.1	37.0	19.0	17.9	18.0	16.7	40.8	19.4	23.4	7.4	10.6	26.0	21.8	18.6	17.6	17.4	14.8	1.0	
性別	男性	701	39.4	41.2	23.7	22.8	39.1	20.7	21.5	19.7	19.1	41.7	19.5	23.4	7.8	11.8	24.7	22.8	18.4	18.4	18.8	15.1	1.0
	女性	299	36.8	40.1	21.7	17.1	32.1	15.1	9.4	14.0	11.0	38.8	19.1	23.4	6.4	7.7	29.1	19.4	19.1	15.7	14.0	14.0	1.0

- ・参加している祭りの良い点について、自由に書いてもらったところ、「一体感」が強く出た。
- ・それ以外にも、屋台、神輿、子どもたち、仲間、活気や賑やかさ、笑顔や嬉しいといった言葉が出てきている。担いで、食べて、会って、飲んで、会話をして、にぎやかに楽しむ様子がうかがえる。普段会えない友に会える喜びもある。
- ・（対象者：本調査全員 ただし「特になし」「ない」等の回答は省いて集計（n=876）

Q.参加している祭りにおいて、あなたが楽しい、好きだと思っていることはどんなことですか。何でもご自由にお書きください。
また、できましたら具体的にお書きください。

ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



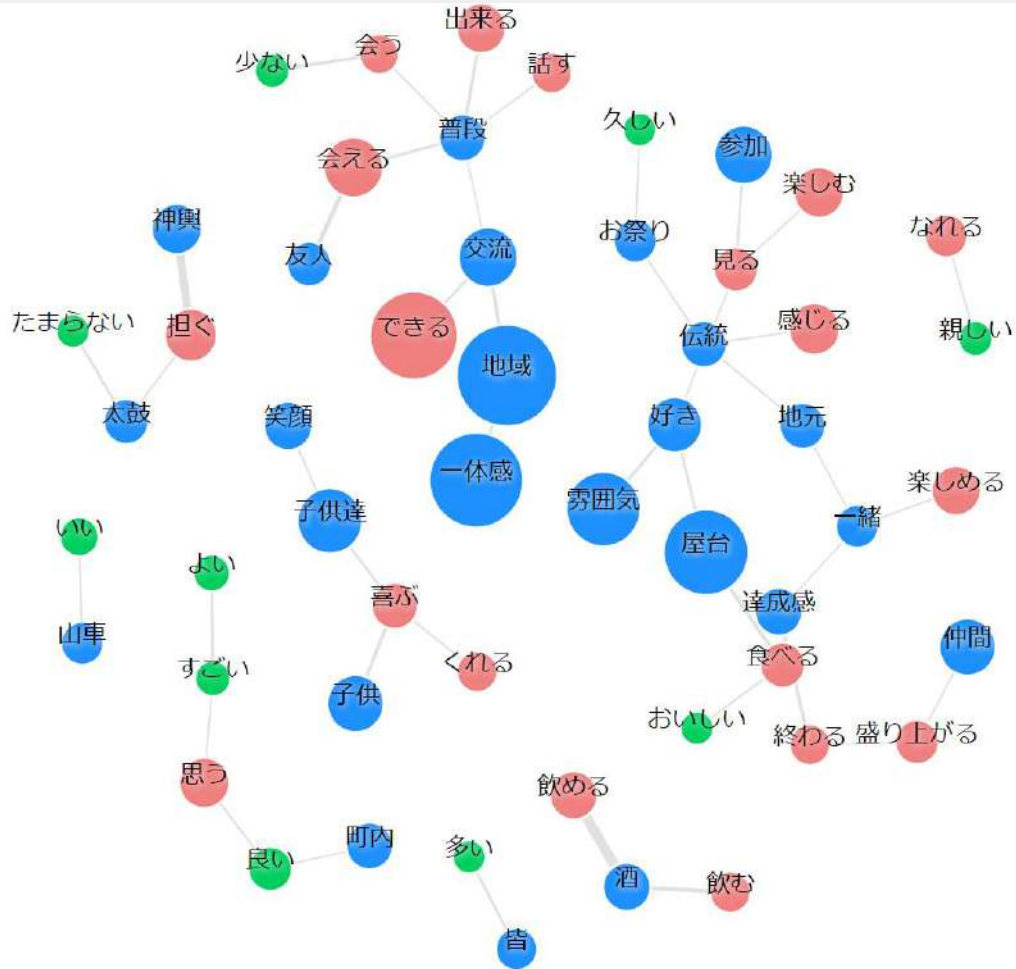
単語出現頻度

文章中出现する単語の頻度を表にしています。単語ごとに表示されている「スコア」の大きさは、与えられた文書の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを表しています。通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなりますが、「言う」や「思う」など、どの文書にもよく現れる単語についてはスコアが低めになります。

■ 名詞	スコア	出現頻度	■ 動詞	スコア	出現頻度
地域	87.40	82	できる	2.60	53
一体感	460.93	74	会える	13.14	26
屋台	237.23	63	担ぐ	47.95	19
雰囲気	53.07	50	感じる	1.88	18
子供達	207.56	39	楽しむ	2.29	17
祭り	23.18	36	思う	0.17	17
交流	31.30	32	出来る	0.71	16
参加	5.92	31	楽しめる	5.71	16
子供	5.61	29	飲める	7.54	15
仲間	20.81	29	喜ぶ	2.89	13
好き	1.03	27	食べる	0.24	12
神輿	55.52	21	見る	0.08	11
笑顔	5.05	19	盛り上がる	2.80	11
酒	76.46	18	ふれあう	39.43	11
達成感	76.46	18	なれる	0.98	10

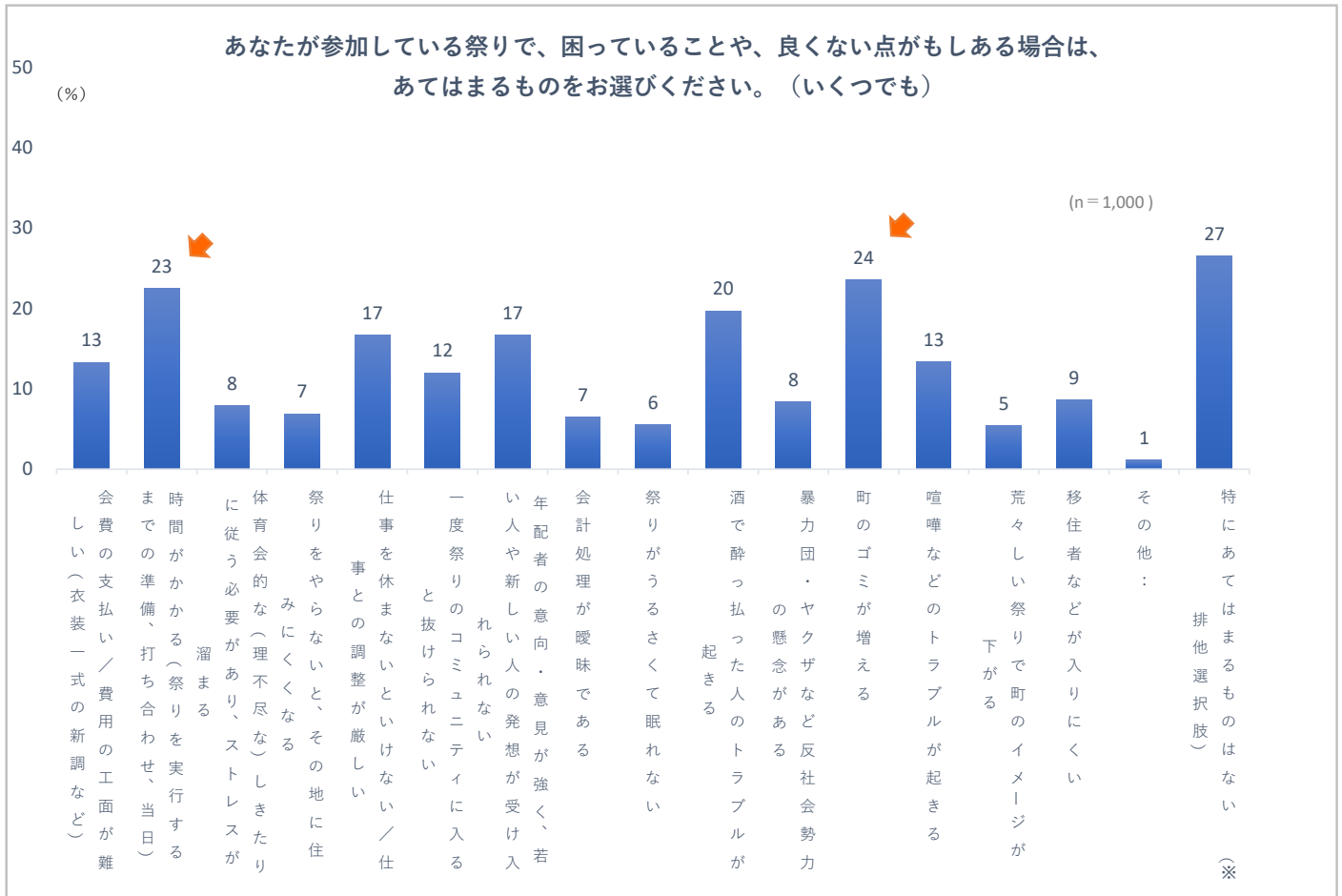
共起キーワード

文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

・全体でのトップは「特にあてはまるものはない(27%)」※排他選択肢であったが
 トップ3は
 「町のゴミが増える(24%)」
 「時間がかかる(祭りを実行するまでの準備、打ち合わせ、当日)(23%)」
 「酒で酔っ払った人のトラブルが起きる(20%)」があがった。



Q.あなたが参加している祭りで、困っていることや、良くない点がある場合は、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

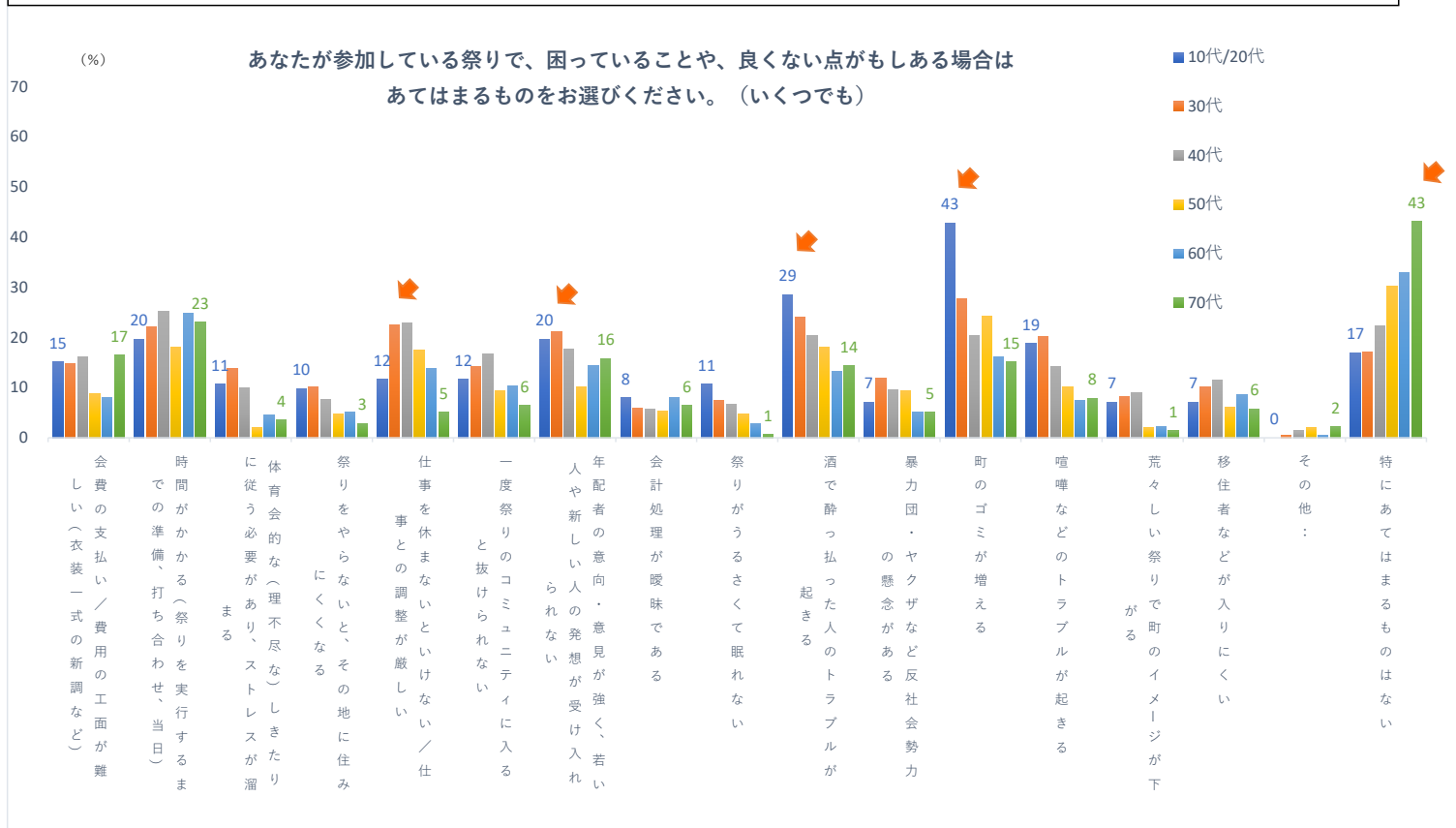
MA

	n	%
全体	1000	100.0
会費の支払い／費用の工面が難しい（衣装一式の新調など）	133	13.3
時間がかかる（祭りを実行するまでの準備、打ち合わせ、当日）	225	22.5
体育会的な（理不尽な）しきたりに従う必要があり、ストレスが溜まる	79	7.9
祭りをやらないと、その地に住みにくくなる	69	6.9
仕事を休まないといけない／仕事との調整が厳しい	167	16.7
一度祭りのコミュニティに入ると抜けられない	120	12.0
年配者の意向・意見が強く、若い人や新しい人の発想が受け入れられない	167	16.7
会計処理が曖昧である	65	6.5
祭りがうるさくて眠れない	55	5.5
酒で酔っ払った人のトラブルが起きる	197	19.7
暴力団・ヤクザなど反社会勢力の懸念がある	84	8.4
町のゴミが増える	236	23.6
喧嘩などのトラブルが起きる	134	13.4
荒々しい祭りで町のイメージが下がる	54	5.4
移住者などが入りにくい	86	8.6
その他：	11	1.1
特にあてはまるものはない（※排他選択肢）	265	26.5

・年代別では

10代・20代 1位:「町のゴミ(43%)」2位:「酒・トラブル(29%)」3位:「年配者の意向が強い(20%)」「時間がかかる(準備・打ち合わせ・当日)(20%)」
 30代: 1位:「町のゴミ(28%)」2位:「酒・トラブル(24%)」3位:「仕事との調整(23%)」となった。
 ⇒ゴミの件は「葵祭りの例」もある。若い方たちに考えてもらうのも手かもしれない。

・性別では、男性の若い世代で「年配者の意向・意見が強く、若い人や新しい人の発想が受け入れられない」「体育会的なしきたりに従う必要があり、ストレスがたまる」「一度祭りのコミュニティに入ると抜けられない」が高い。



Q.あなたが参加している祭りで、困っていることや、良くない点がある場合は、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

MA

	n	会費の支払い／費用の工面が難しい（衣装一式の新調など）	時間がかかる（祭りを実行するまでの準備、打ち合わせ、当日）	体育会的な（理不尽な）しきたりに従う必要があり、ストレスが溜まる	祭りをやらないと、その地に住みにくい	仕事を休まないといけない／仕事との調整が厳しい	一度祭りのコミュニティに入ると抜けられない	年配者の意向・意見が強く、若い人や新しい人の発想が受け入れられない	会計処理が曖昧である	祭りがうるさくて眠れない	酒で酔っ払った人のトラブルが起きる	暴力団・ヤクザなど反社会勢力の懸念がある	町のゴミが増える	喧嘩などのトラブルが起きる	荒々しい祭りでの町のイメージが下がる	移住者などが入りにくい	その他	特にあてはまるものはない	
全体	1000	13.3	22.5	7.9	6.9	16.7	12.0	16.7	6.5	5.5	19.7	8.4	23.6	13.4	5.4	8.6	1.1	26.5	
年代（10代/20代まとめ）	10代/20代	112	15.2	19.6	10.7	9.8	11.6	11.6	8.0	10.7	28.6	7.1	42.9	18.8	7.1	7.1	0.0	17.0	
	30代	217	14.7	22.1	13.8	10.1	22.6	14.3	6.0	7.4	24.0	12.0	27.6	20.3	8.3	10.1	0.5	17.1	
	40代	210	16.2	25.2	10.0	7.6	22.9	16.7	17.6	5.7	6.7	20.5	9.5	20.5	14.3	9.0	11.4	1.4	22.4
	50代	149	8.7	18.1	2.0	4.7	17.4	9.4	10.1	5.4	4.7	18.1	9.4	24.2	10.1	2.0	6.0	2.0	30.2
	60代	173	8.1	24.9	4.6	5.2	13.9	10.4	14.5	8.1	2.9	13.3	5.2	16.2	7.5	2.3	8.7	0.6	32.9
70代	139	16.5	23.0	3.6	2.9	5.0	6.5	15.8	6.5	0.7	14.4	5.0	15.1	7.9	1.4	5.8	2.2	43.2	

【性別】 会費の差分以外は、特になし

Q.あなたが参加している祭りで、困っていることや、良くない点がある場合は、あてはまるものをお選びください。(いくつでも)

MA

		n	会費の支払い／費用の工面が難しい(衣装一式の新調など)	準備、打ち合わせ(祭りを実行するまでの準備、打ち合わせ、当日)	体育会的な(理不尽な)しきたりに従う必要がある(ストレスが溜まる)	祭りをやらないと、その地に住みにくくなる	祭りをやらないといけない／仕事との調整が厳しい	仕事を休まないといけない／仕事と調整が厳しい	一度祭りのコミュニティに入ると抜けられない	若い人の発想が受け入れられない	年配者の意向・意見が強く、若い人や新しい人の発想が受け入れられない	会計処理が曖昧である	祭りがうるさくて眠れない	酒で酔っ払った人のトラブルが起きる	暴力団・ヤクザなど反社会勢力の懸念がある	町のゴミが増える	喧嘩などのトラブルが起きる	荒々しい祭りでの町のイメージが下がる	移住者などが入りにくい	その他:	特にあてはまるものはない
全体		1000	13.3	22.5	7.9	6.9	16.7	12.0	16.7	6.5	5.5	19.7	8.4	23.6	13.4	5.4	8.6	1.1	26.5		
性別	男性	701	15.8	23.3	9.1	7.8	18.4	13.4	16.8	6.7	5.3	20.5	10.0	21.5	14.8	5.8	9.6	1.3	25.8		
	女性	299	7.4	20.7	5.0	4.7	12.7	8.7	16.4	6.0	6.0	17.7	4.7	28.4	10.0	4.3	6.4	0.7	28.1		

【性年代別】

Q.あなたが参加している祭りで、困っていることや、良くない点がある場合は、あてはまるものをお選びください。(いくつでも)

MA

		n	会費の支払い／費用の工面が難しい(衣装一式の新調など)	準備、打ち合わせ(祭りを実行するまでの準備、打ち合わせ、当日)	体育会的な(理不尽な)しきたりに従う必要がある(ストレスが溜まる)	祭りをやらないと、その地に住みにくくなる	祭りをやらないといけない／仕事との調整が厳しい	仕事を休まないといけない／仕事と調整が厳しい	一度祭りのコミュニティに入ると抜けられない	若い人の発想が受け入れられない	年配者の意向・意見が強く、若い人や新しい人の発想が受け入れられない	会計処理が曖昧である	祭りがうるさくて眠れない	酒で酔っ払った人のトラブルが起きる	暴力団・ヤクザなど反社会勢力の懸念がある	町のゴミが増える	喧嘩などのトラブルが起きる	荒々しい祭りでの町のイメージが下がる	移住者などが入りにくい	その他:	特にあてはまるものはない
全体		1000	13.3	22.5	7.9	6.9	16.7	12.0	16.7	6.5	5.5	19.7	8.4	23.6	13.4	5.4	8.6	1.1	26.5		
性年代	男性 10代/20代	63	22.2	25.4	19.0	11.1	15.9	20.6	25.4	11.1	11.1	33.3	9.5	36.5	23.8	6.3	9.5	0.0	12.7		
	男性 30代	149	18.8	24.2	16.1	12.1	22.1	18.1	24.8	6.7	7.4	24.2	12.8	26.8	22.1	8.7	11.4	0.7	16.1		
	男性 40代	154	16.9	27.3	10.4	8.4	26.0	17.5	16.2	6.5	6.5	23.4	12.3	20.1	14.9	11.0	11.0	1.3	21.4		
	男性 50代	110	8.2	16.4	1.8	6.4	18.2	10.0	10.9	3.6	4.5	19.1	11.8	23.6	13.6	2.7	7.3	1.8	30.0		
	男性 60代	121	10.7	20.7	5.0	5.0	15.7	7.4	9.9	8.3	3.3	13.2	6.6	14.9	7.4	2.5	11.6	0.8	34.7		
	男性 70代	104	20.2	25.0	3.8	3.8	6.7	6.7	15.4	5.8	0.0	13.5	4.8	12.5	8.7	1.0	4.8	2.9	39.4		
	女性 10代/20代	49	6.1	12.2	0.0	8.2	6.1	0.0	12.2	4.1	10.2	22.4	4.1	51.0	12.2	8.2	4.1	0.0	22.4		
	女性 30代	68	5.9	17.6	8.8	5.9	23.5	5.9	13.2	4.4	7.4	23.5	10.3	29.4	16.2	7.4	7.4	0.0	19.1		
	女性 40代	56	14.3	19.6	8.9	5.4	14.3	14.3	21.4	3.6	7.1	12.5	1.8	21.4	12.5	3.6	12.5	1.8	25.0		
	女性 50代	39	10.3	23.1	2.6	0.0	15.4	7.7	7.7	10.3	5.1	15.4	2.6	25.6	0.0	0.0	2.6	2.6	30.8		
	女性 60代	52	1.9	34.6	3.8	5.8	9.6	17.3	25.0	7.7	1.9	13.5	1.9	19.2	7.7	1.9	1.9	0.0	28.8		
	女性 70代	35	5.7	17.1	2.9	0.0	0.0	5.7	17.1	8.6	2.9	17.1	5.7	22.9	5.7	2.9	8.6	0.0	54.3		

・困っていること・良くない点についての自由回答は、約6割の方が回答。「祭り存続自体の危機」「疲弊」も出ている。要約すると、**運営側の ①高齢化 ②引継ぎ問題 ③担い手(参加者)の減少・不足** また①②③があることによる、**④参加者の不公平感 ⑤資金面の困窮**である。そして、それとは別に**マナー・騒音**の問題がある。

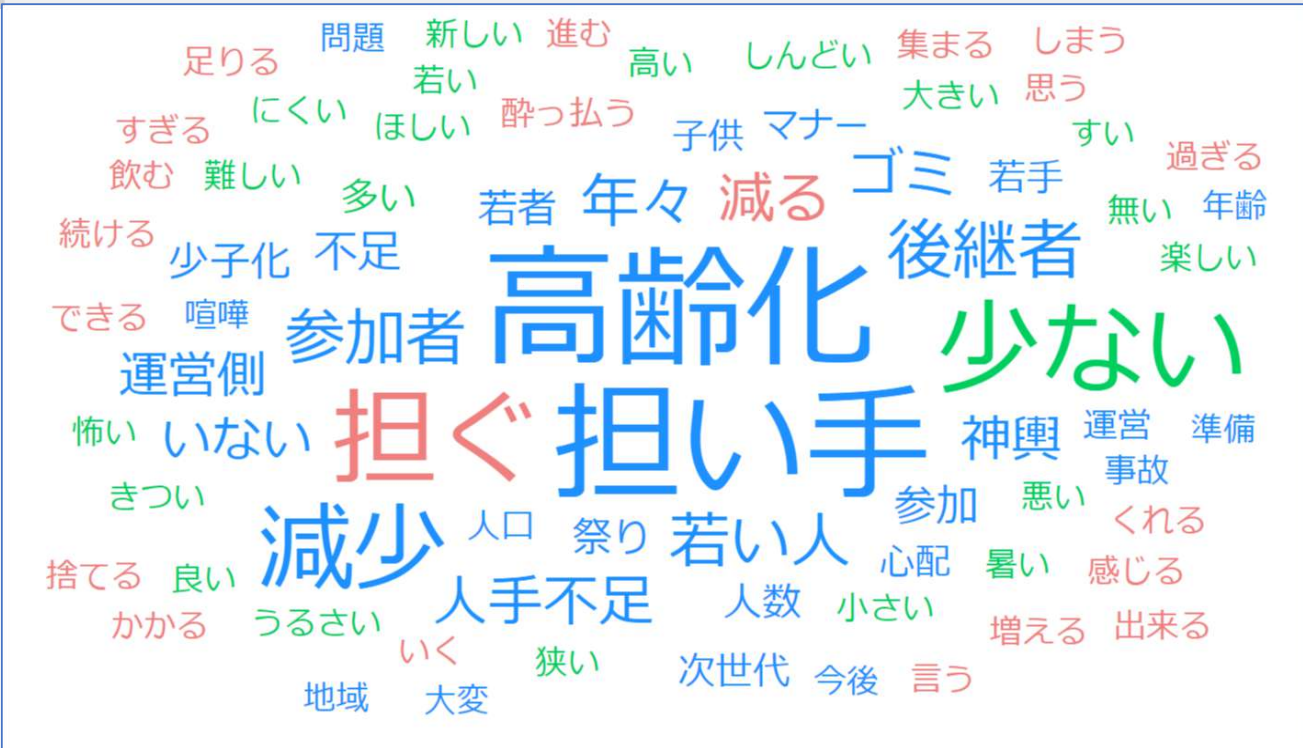
※対象者:本調査全員 ただし「特になし」「ない」等の回答は省き集計 (n=663)

Q.あなたが参加している祭りで、困っていること、心配していることがあれば何でもご自由にお書きください。

できましたら具体的にお書きください。

ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



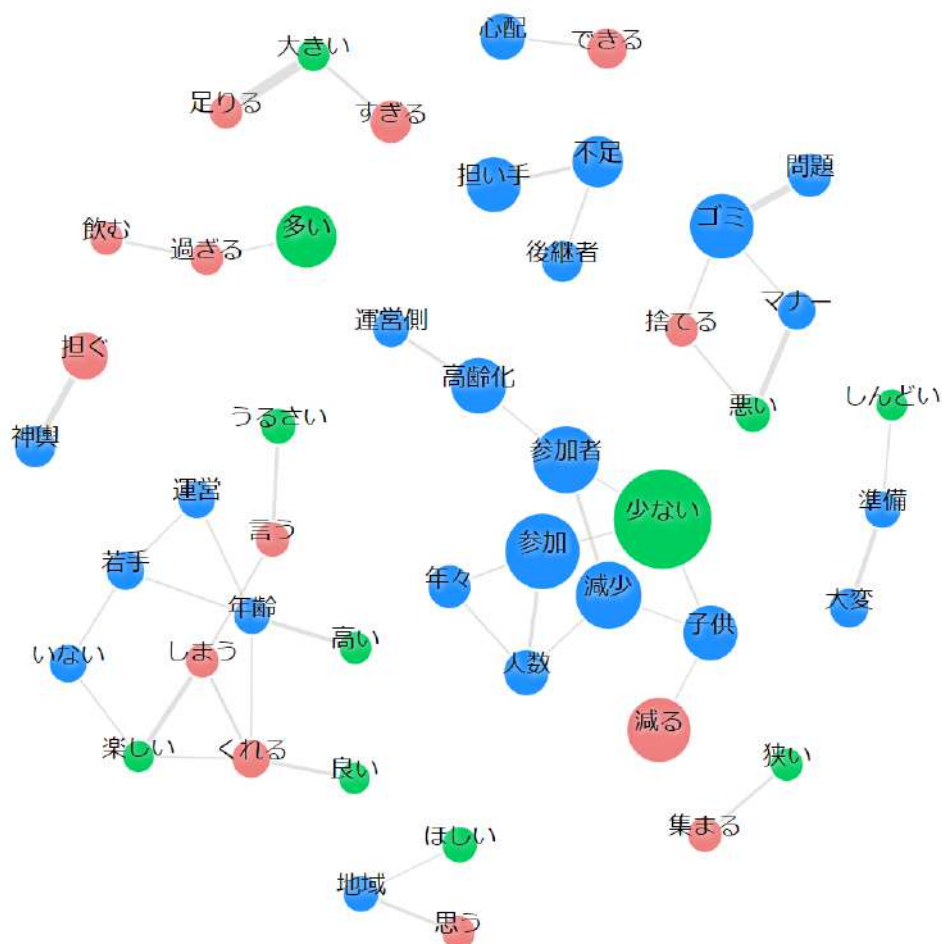
単語出現頻度

文章中に出現する単語の頻度を表しています。単語ごとに表示されている「スコア」の大きさは、与えられた文章の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを表しています。通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなりますが、「言」や「思」など、どの文章にもよく現れる単語についてはスコアが低くなります。

品詞	単語	スコア	出現頻度	
名詞	参加	20.31	59	
	減少	111.45	48	
	参加者	51.91	48	
	ゴミ	37.78	45	
	高齢化	174.40	34	
	子供	7.20	33	
	担い手	167.89	33	
	不足	22.76	28	
	祭り	11.89	25	
	若者	11.98	22	
	心配	6.55	21	
	人数	11.94	20	
	問題	1.55	18	
	年々	46.53	17	
	後継者	60.00	15	
動詞	減る	14.25	36	
	担ぐ	44.27	18	
	すぎる	0.25	13	
	できる	0.11	11	
	増える	0.74	11	
	いく	0.14	9	
	くれる	0.10	9	
	かかる	0.41	7	
	続ける	0.21	6	
	進む	0.54	6	
	集まる	0.39	5	
	言う	0.02	5	
	思う	0.01	4	
	捨てる	0.23	4	
	飲む	0.05	4	
	形容詞	少ない	44.67	72
		多い	3.19	33
		難しい	0.45	7
		うるさい	0.93	6
		悪い	0.13	6
ほしい		0.19	6	
若い		0.24	4	
にくい		0.17	4	
小さい		0.14	4	
高い		0.04	4	
無い		0.04	4	
大きい		0.08	4	
狭い		0.55	4	
きつい		0.44	4	
暑い		0.04	4	

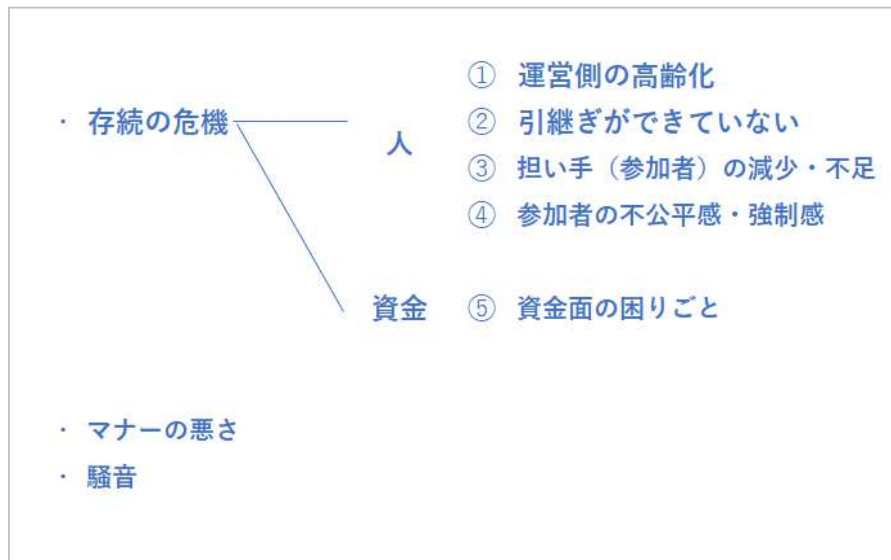
共起キーワード

文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

Q.あなたが参加している祭りで、困っていること、心配していることがあれば何でもご自由にお書きください。



【祭り存続の危機】

- ・ 「いずれ、無くなるのでは」
- ・ 「いつまで祭りを続けられるか。」

「 」内、自由回答より抜粋したリアルボイス

理由

■運営側

①高齢化

- ・ 「だんだん老人が多くなり、準備等が大変になってきた。」
- ・ 「運営側の超高齢化準備の労力が負担になりつつある」

②引継ぎができていない

- ・ 「お祭りの関係者が年々年を取っているにもかかわらず 次の世代への引き継ぎがうまくできていない。」
- ・ 「後継者探しに悩む」

③担い手（参加者）の減少・不足

- ・ 「かつぎてが少なくなってきている」
- ・ 「すべての面で担い手不足」
- ・ 「引き手、囃子方の不足で大変です。」
- ・ 「だんだん年齢がいった祭りに参加できなくなる」

④参加者の不公平感・強制感

- ・ 「いつも決まった人しか出てこない。」
- ・ 「他にもいろんな手伝いが必須になり、毎回やるひとが決まってきたり、やりたくない人もいるわけなので不公平に感じる。」
- ・ 「なかなか帰れない」
- ・ 「過疎化が進み祭の参加が強制的になっている。」

⑤資金面の困りごと

- ・ 「だんだん協賛金が少なくなっている」
- ・ 「運営資金の捻出」

【その他】

■マナーの悪さ

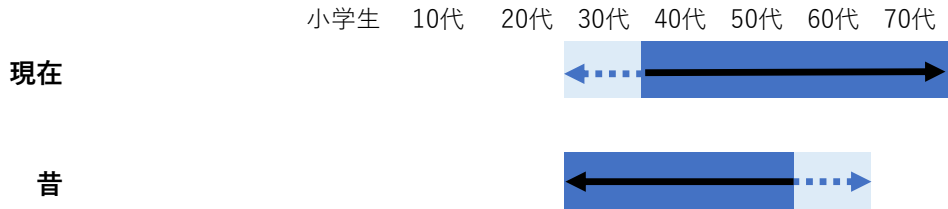
- ・ 「ゴミのポイ捨て」
- ・ 「マナーの悪い人がいる タバコなど」

■騒音

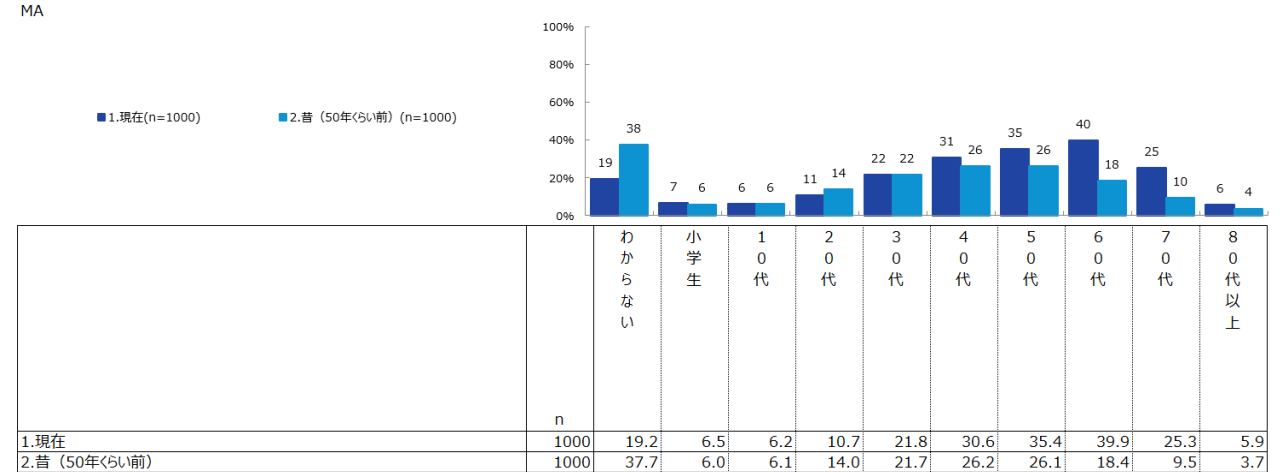
- ・ 「交通規制で、理解できない人が、文句を言う。」
- ・ 「音がうるさい」
- ・ 「ゴミや騒音」

・【現在】 **40代～70代がコア**。60代(40%)、50代(35%)、40代(31%)、70代(25%)、追って30代(22%)。
 ・【昔(50年くらい前)】「わからない(38%)」、それ以外は**30代～50代がコア**。
 40代(26%)50代(26%)、30代(22%)、60代(18%)。

⇒現在は、運営側の年齢が10歳(～20歳)ほどアップしている
 ・なお、「町・村」では、小学生・10代(平均+5%)40代～70代まで、総出で祭りを行っている。



Q.あなたが参加している祭りの、【運営側の年齢】について教えてください。中心となっている年代を【すべて】選んでください。
 (例：今は60～70代が中心、昔は20代～40代だけで運営など) ※先輩や年配者に聞いた話でけっこうです。
 なお、昔がわからない方は、わからないをお選びください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。



Q.あなたが参加している祭りの、【運営側の年齢】について教えてください。中心となっている年代を【すべて】選んでください。

(例：今は60～70代が中心、昔は20代～40代だけで運営など) ※先輩や年配者に聞いた話でけっこうです。

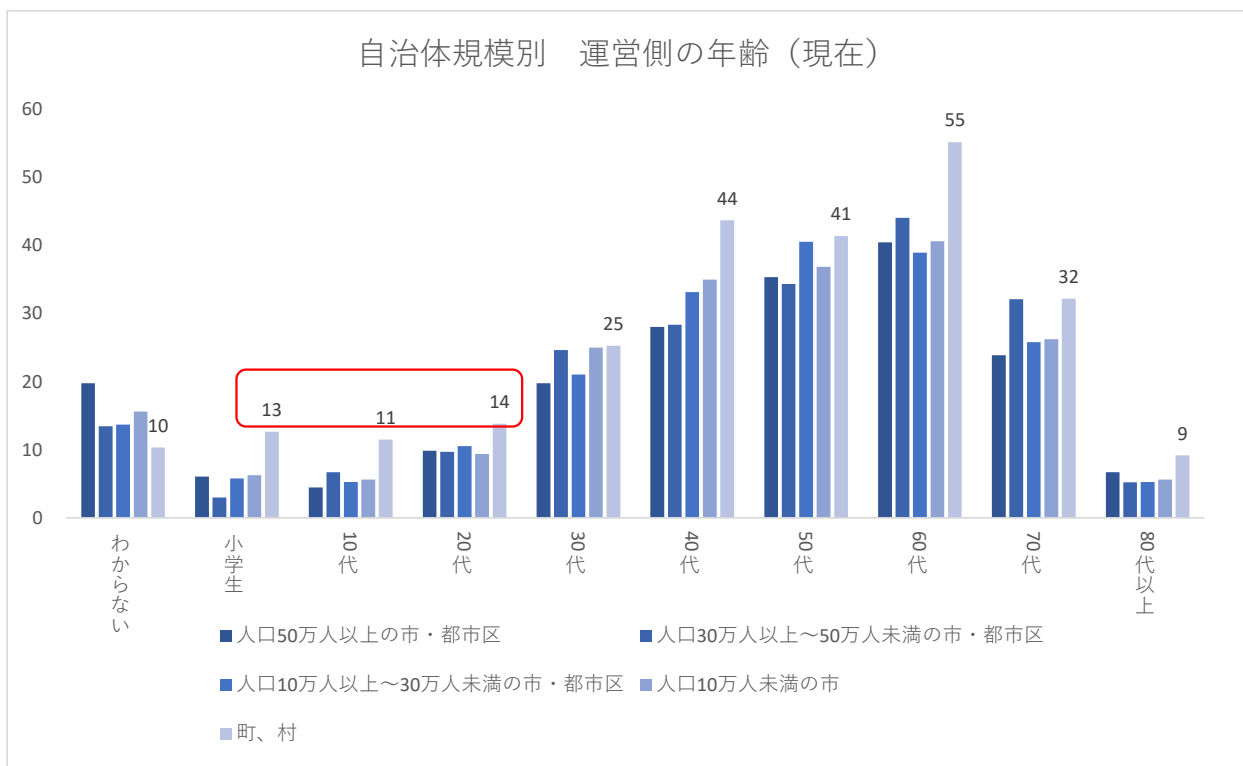
なお、昔がわからない方は、わからないをお選びください。※この設問は、それぞれ縦方向(↓)にお答えください。

1.現在

MA

		n	わからない	小学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体		1000	19.2	6.5	6.2	10.7	21.8	30.6	35.4	39.9	25.3	5.9
自治体区分別	人口50万人以上の市・都市区	314	19.7	6.1	4.5	9.9	19.7	28.0	35.4	40.4	23.9	6.7
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	13.4	3.0	6.7	9.7	24.6	28.4	34.3	44.0	32.1	5.2
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	13.7	5.8	5.3	10.5	21.1	33.2	40.5	38.9	25.8	5.3
	人口10万人未満の市	160	15.6	6.3	5.6	9.4	25.0	35.0	36.9	40.6	26.3	5.6
	町、村	87	10.3	12.6	11.5	13.8	25.3	43.7	41.4	55.2	32.2	9.2
	わからない	115	45.2	8.7	8.7	13.9	18.3	20.0	21.7	22.6	13.9	3.5

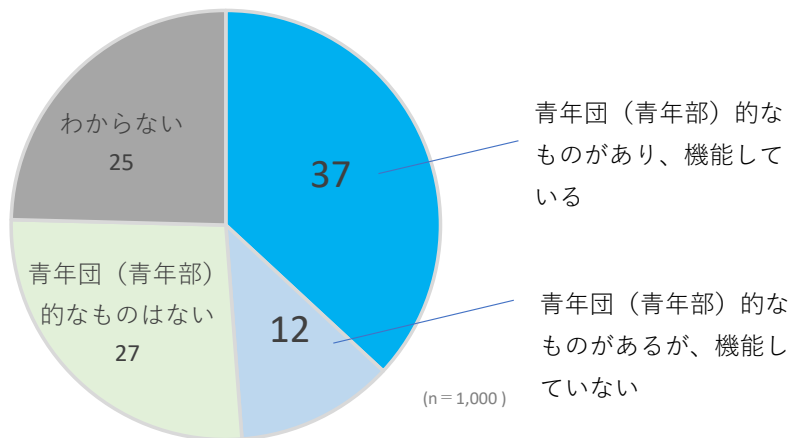
は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上低いセル



- ・青年団の有無については、49%が「青年団（青年部）的なものがある」とした。また、実態については「機能している(37%)」、「機能していない(12%)」であった。
- ・自治体規模別でみると、「町・村」では「青年団があり、機能している(51%)」が平均+14%と高く、人口10万人未満の市・都市区で「青年団的なものはない」が高い。

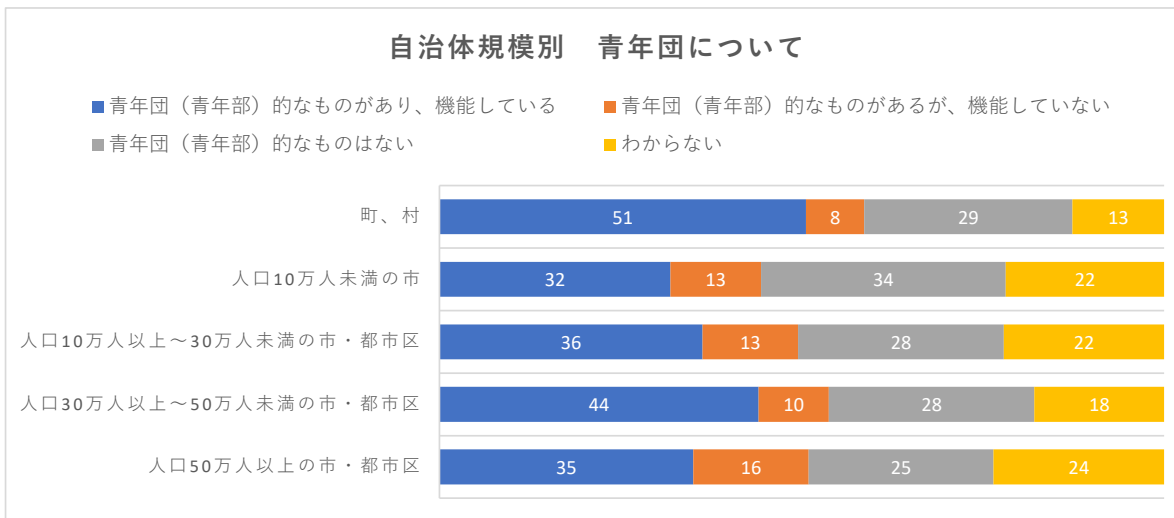
Q. 祭りの運営についてお聞きします。

通常の運営組織とは別に、若い方（20～40代）が中心の青年団や青年部的なものについてはいかがですか。



	n	%
全体	1000	100.0
青年団（青年部）的なものがあり、機能している	369	36.9
青年団（青年部）的なものがあるが、機能していない	119	11.9
青年団（青年部）的なものはない	266	26.6
わからない	246	24.6

【自治体規模別】



Q.祭りの運営についてお聞きします。通常の運営組織とは別に、若い方（20～40代）が中心の青年団や青年部的なものについてはいかがですか。

SA

	全体	人口50万人以上の市・都市区	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	人口10万人未満の市	町、村	わからない
n	1000	314	134	190	160	87	115
青年団（青年部）的なものがあり、機能している	36.9	35.0	44.0	36.3	31.9	50.6	31.3
青年団（青年部）的なものがあるが、機能していない	11.9	15.9	9.7	13.2	12.5	8.0	3.5
青年団（青年部）的なものはない	26.6	25.5	28.4	28.4	33.8	28.7	13.0
わからない	24.6	23.6	17.9	22.1	21.9	12.6	52.2

・参加している祭りの活性化のための取り組みについて、自由に書いてもらったところ、「SNS」「情報発信」が強く出ており FacebookやtwitterなどのSNSを駆使して、情報発信をしている様子が見えてくる。

・町内会や地域にポスターを貼る、チラシを配るといった従来の告知、小学校への呼びかけも行われている。

対象者：本調査全員 ただし「特になし」「なし」「ない」等の回答は省いて集計(n=440)

Q.あなたが参加している祭りについてお聞きます。祭りを継続するため、あるいは活性化していくために、地域で行っている取り組みはありますか。ある方は、それはどのようなものか具体的にお書きください。

(例：ホームページやfacebookで情報発信を行う／若い人や女性にも好まれるようなデザインのはっぴを制作する／組織の枠を超えて祭りを開催など)

ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



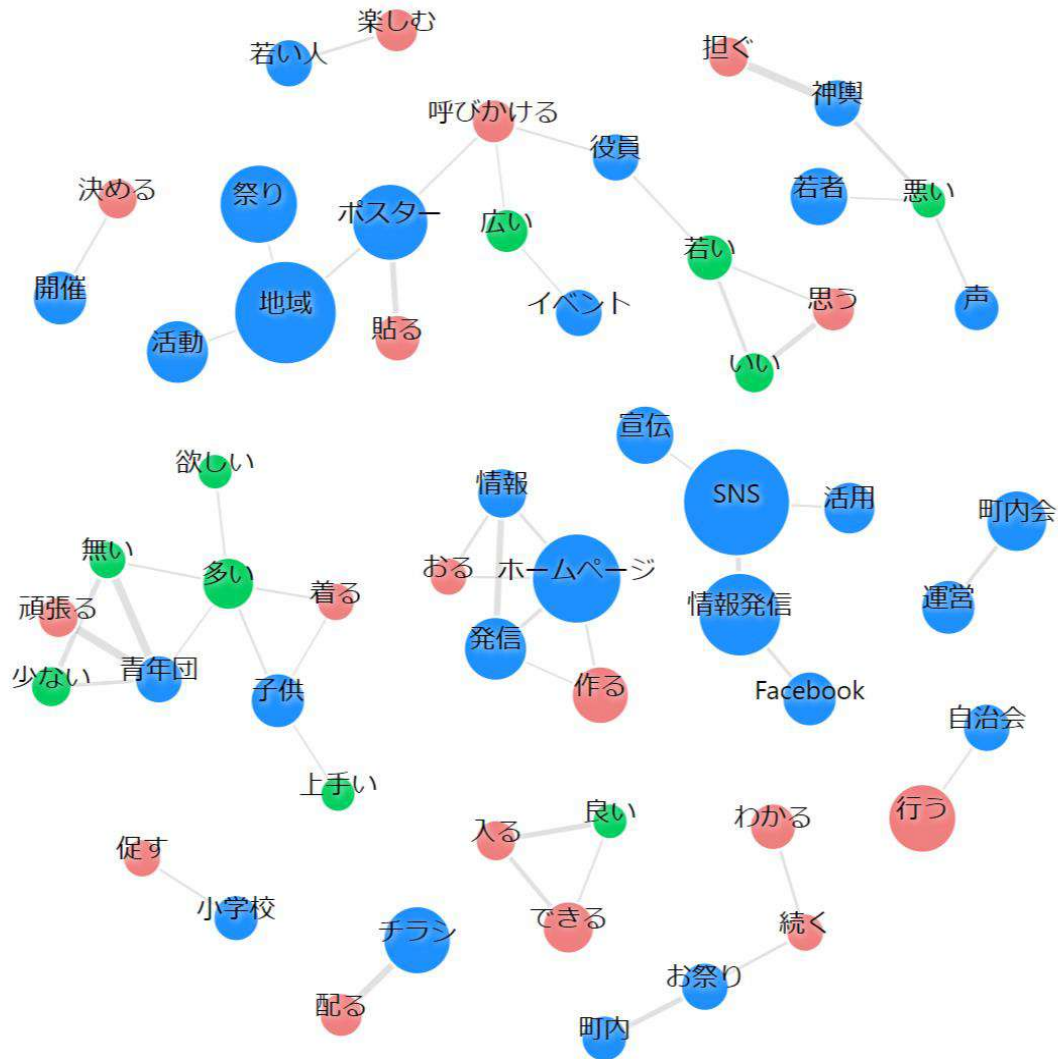
単語出現頻度

文章中出现する単語の頻度を表にしています。単語ごとに表示されている「スコア」の大きさは、与えられた文書の中でその単語がどれだけ特徴的であることを表しています。通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなりますが、「言う」や「思う」など、どの文書にもよく現れる単語についてはスコアが低くなります。

品詞	単語	スコア	出現頻度
名詞	参加	12.13	45
	SNS	174.40	34
	地域	16.40	32
	ホームページ	16.81	26
	情報発信	105.45	23
	祭り	8.60	21
	ポスター	8.95	20
	チラシ	9.13	16
	活動	3.50	14
	発信	8.70	14
	町内会	49.50	13
	宣伝	2.48	12
	若者	3.86	12
	開催	0.51	10
運営	3.02	10	
動詞	行う	0.77	13
	作る	0.20	9
	できる	0.05	7
	貼る	0.52	5
	わかる	12.92	5
	呼びかける	2.12	4
	思う	0.01	4
	配る	0.80	4
	募る	2.34	4
	楽しむ	0.13	4
	頑張る	0.03	3
	使う	0.02	3
	入る	0.02	3
	知る	0.03	3
担ぐ	2.42	3	

共起キーワード

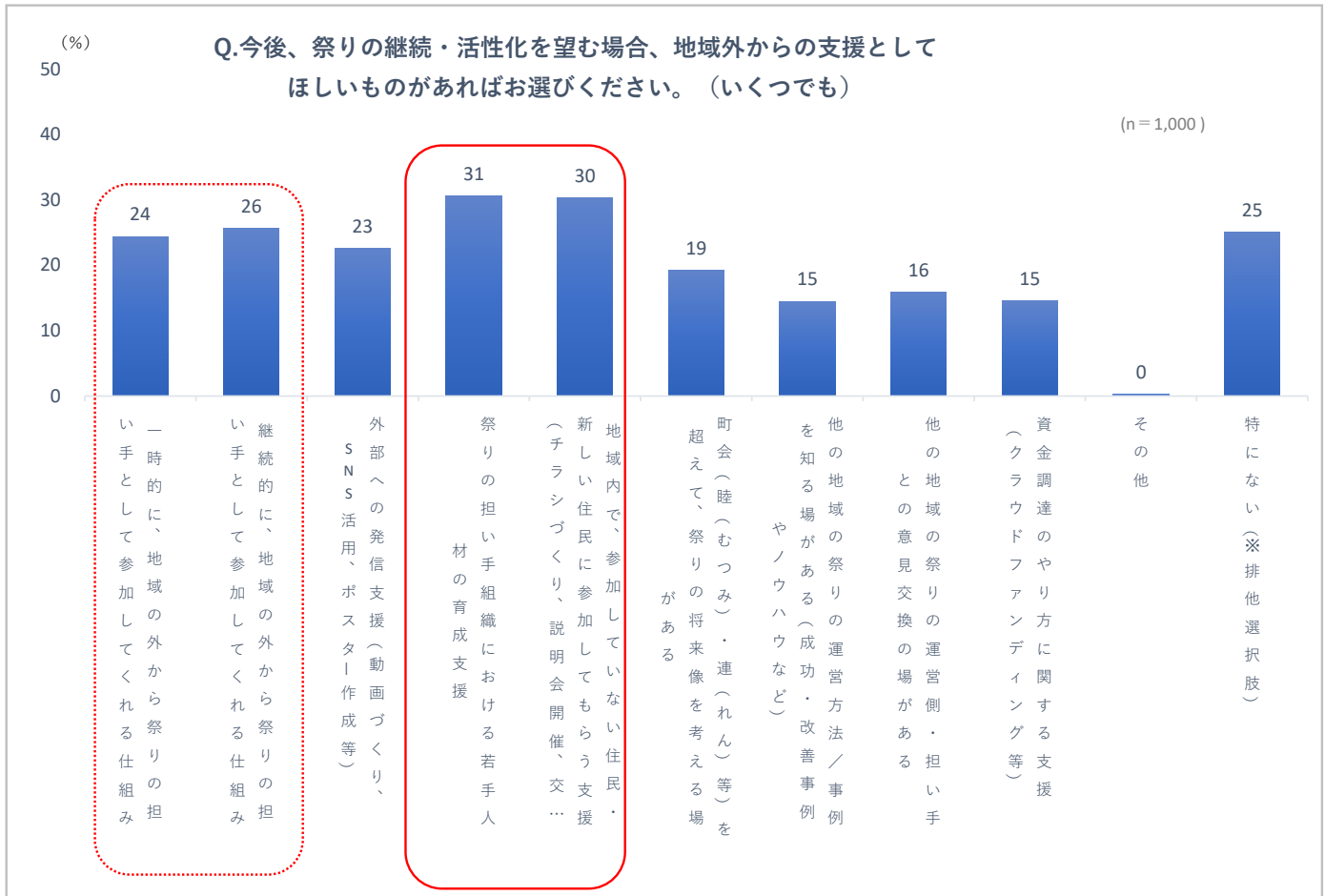
文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

・全体では、「祭りの担い手組織における若手人材の育成支援(31%)」「地域内で参加していない住民・新しい住民に参加してもらおう支援(30%)」がトップ2。
 追って「継続的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み(26%)」「一時的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれるしくみ(24%)」

⇒まずは自分たちの地域の中で、そうでなければ外からという意向が見える。まずは人。



Q.今後、祭りの継続・活性化を望む場合、地域外からの支援としてほしいものがあればお選びください。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	1000	100.0
一時的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み	244	24.4
継続的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み	256	25.6
外部への発信支援(動画づくり、SNS活用、ポスター作成等)	226	22.6
祭りの担い手組織における若手人材の育成支援	306	30.6
地域内で、参加していない住民・新しい住民に参加してもらおう支援(チラシづくり、説明会開催、交流会開催等)	303	30.3
町会(睦(むつみ)・連(れん)等)を超えて、祭りの将来像を考える場がある	192	19.2
他の地域の祭りの運営方法/事例を知る場がある(成功・改善事例やノウハウなど)	145	14.5
他の地域の祭りの運営側・担い手との意見交換の場がある	159	15.9
資金調達のやり方に関する支援(クラウドファンディング等)	146	14.6
その他	3	0.3
特にない(※排他選択肢)	251	25.1

有意差があるものとして

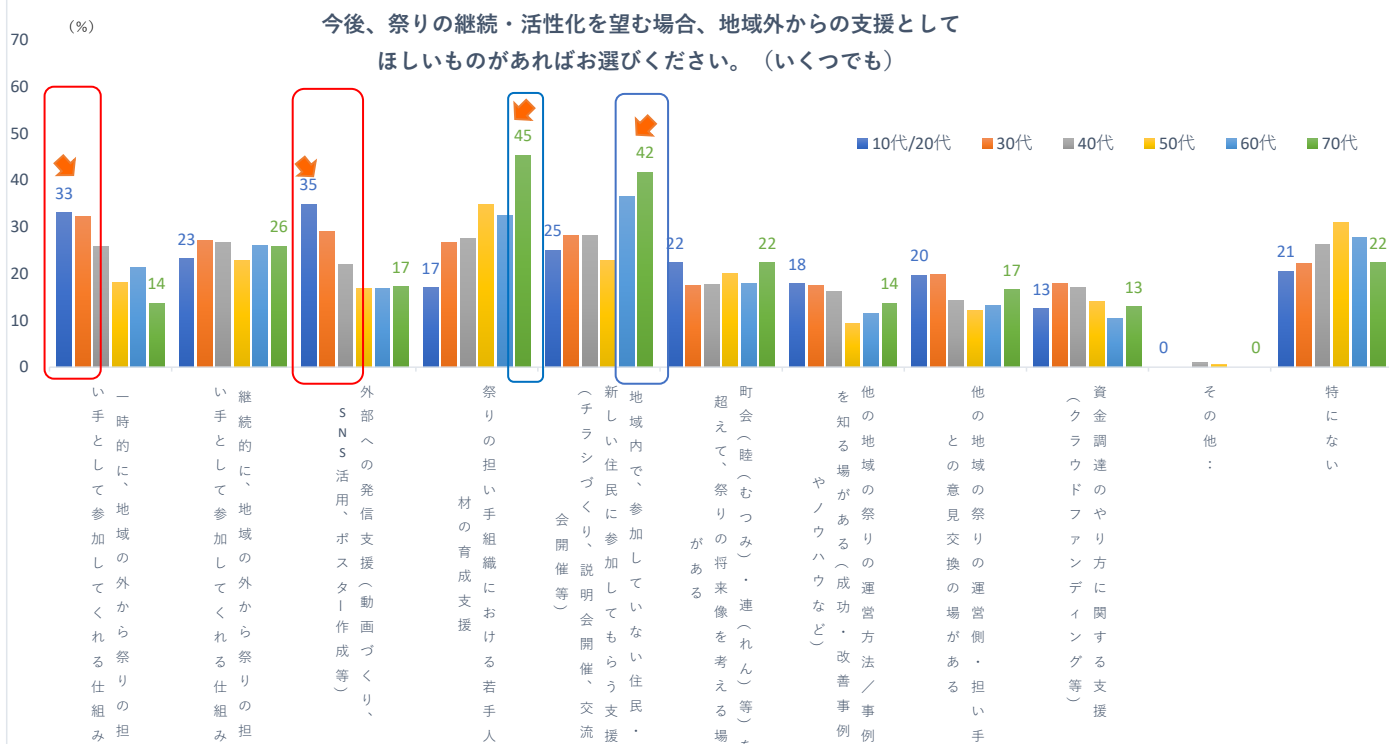
■10代・20代

1位：外部への発信支援（動画づくり、SNS活用、ポスター作成等）35%

2位：一時的に地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み 33%

■30代 10~20代と同じ

■60代・70代・地域内で、参加していない住民、新しい住民に参加してもらう支援・祭りの担い手組織における若手人材の育成支援 となった。



Q.今後、祭りの継続・活性化を望む場合、地域外からの支援としてほしいものがあればお選びください。(いくつでも)

MA

		n	一時的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み	継続的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み	外部への発信支援（動画づくり、SNS活用、ポスター作成等）	祭りの担い手組織における若手人材の育成支援	地域内で、参加していない住民・新しい住民に参加してもらう支援（チラシづくり、説明会開催、交流会開催等）	町会（睦（むつみ）・連（れん）等）を超えて、祭りの将来像を考える場がある	他の地域の祭りの運営方法／事例を知る場がある	他の地域の祭りの運営側・担い手との意見交換の場がある	資金調達のやり方に関する支援（クラウドファンディング等）	その他	特になし
全体		1000	24.4	25.6	22.6	30.6	30.3	19.2	14.5	15.9	14.6	0.3	25.1
年代（10代/20代まとめ）	10代/20代	112	33.0	23.2	34.8	17.0	25.0	22.3	17.9	19.6	12.5	0.0	20.5
	30代	217	32.3	27.2	29.0	26.7	28.1	17.5	17.5	19.8	18.0	0.0	22.1
	40代	210	25.7	26.7	21.9	27.6	28.1	17.6	16.2	14.3	17.1	1.0	26.2
	50代	149	18.1	22.8	16.8	34.9	22.8	20.1	9.4	12.1	14.1	0.7	30.9
	60代	173	21.4	26.0	16.8	32.4	36.4	17.9	11.6	13.3	10.4	0.0	27.7
	70代	139	13.7	25.9	17.3	45.3	41.7	22.3	13.7	16.5	12.9	0.0	22.3

■【自治体規模別】

「人口30万人以上～50万人未満の市・都市区」において、「継続的に、地域の外から祭りの担い手として参加してくれる仕組み」「外部への発信支援」の支援希望率が高かった。(平均+5%強)

【自治体区分別】

Q.今後、祭りの継続・活性化を望む場合、地域外からの支援としてほしいものがあればお選びください。(いくつでも)

MA

		n	一時的に参加して、地域の外から祭りの担い手とする	継続的に参加して、地域の外から祭りの担い手とする	外部への発信支援(動画づくり、SNS)	祭りの担い手組織における若手人材の育成	住民に説明会開催、交流会開催(チラシ、新し	地域内で参加して、交流を促す(住民・新しい	町会(睦みのつみ)・連(れん)等)を	超えて、祭りの将来像を考(え)る場がある	場がある(成功・改善事例やノウハウを	他の地域の祭り運営方法/事例を知る	他の地域の祭り運営側・担い手との意	ドファンディング等)	資金調達のやり方に関する支援(クラウ	その他:	特にな
全体		1000	24.4	25.6	22.6	30.6	30.3	19.2	14.5	15.9	14.6	0.3	25.1				
自治体区分別	人口50万人以上の市・都市区	314	28.3	24.2	24.2	33.8	33.4	22.3	17.5	17.8	15.0	0.0	19.7				
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	27.6	32.1	27.6	31.3	34.3	20.1	11.9	17.2	14.9	0.0	17.2				
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	22.1	25.8	23.2	34.2	31.6	21.1	15.8	20.5	17.4	0.5	21.1				
	人口10万人未満の市	160	20.6	29.4	16.9	29.4	27.5	16.9	15.0	10.6	13.1	0.6	31.9				
	町、村	87	25.3	27.6	21.8	28.7	32.2	18.4	10.3	11.5	12.6	1.1	28.7				
	わからない	115	18.3	14.8	20.0	18.3	17.4	10.4	9.6	12.2	12.2	0.0	43.5				

・参加している祭りがこうあってほしい：理想の姿 将来像、について自由に書いてもらったところ、「現状維持」が強く出た。

- 現状維持：今のまま続けたい／今のまま続けてほしい。
- 若い人：若い人にもっと参加してほしい。
- ひとりでも多く：老若男女／町会をはじめ、一人でも多く参加してほしい。

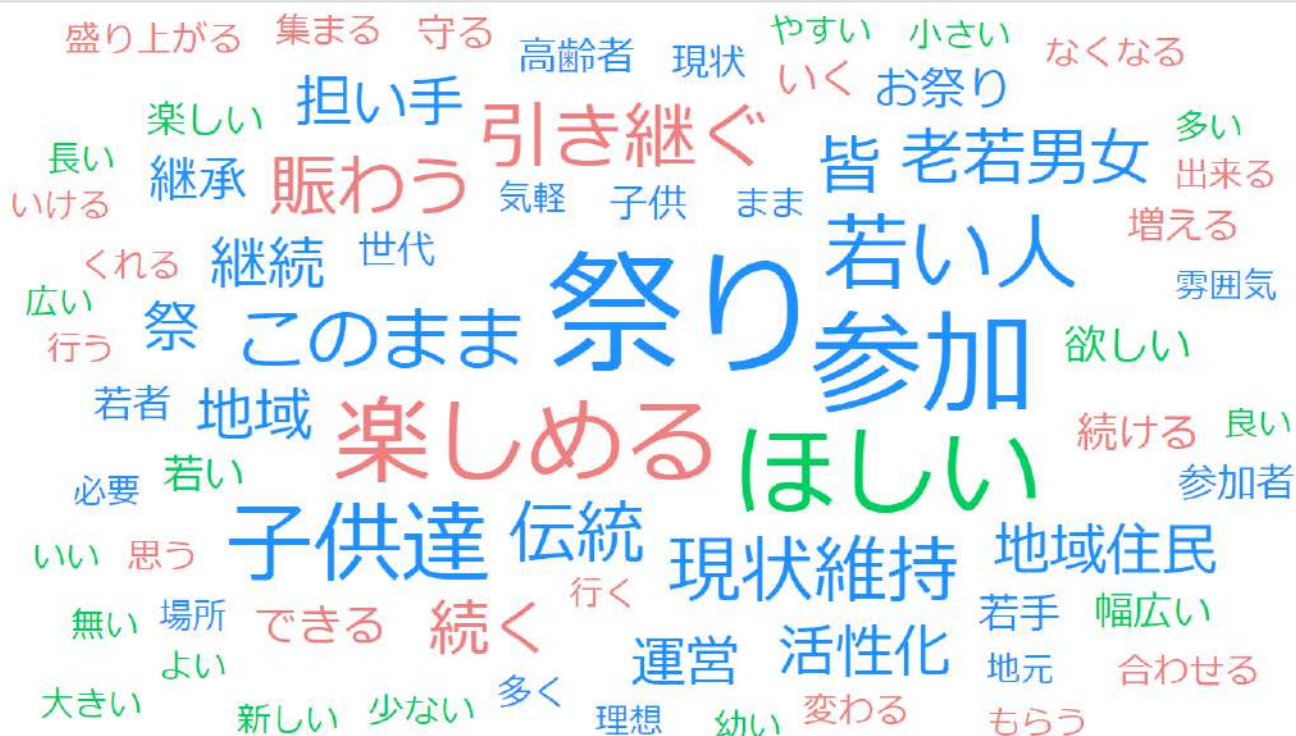
対象者：本調査全員 ただし「特になし」「なし」「ない」等の回答は省いて集計（n=735）

Q.ご自身が運営に参加している祭りの将来像について教えてください。将来、祭りがこうあってほしいと思う理想の姿は、どんな姿でしょうか。（ご自由にお書きください）※理想なので、現状とは異なっていてもかまいません。

対象者：本調査全員 ただし「特になし」「なし」「ない」等の回答は省いて集計（n=735）

ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で表示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



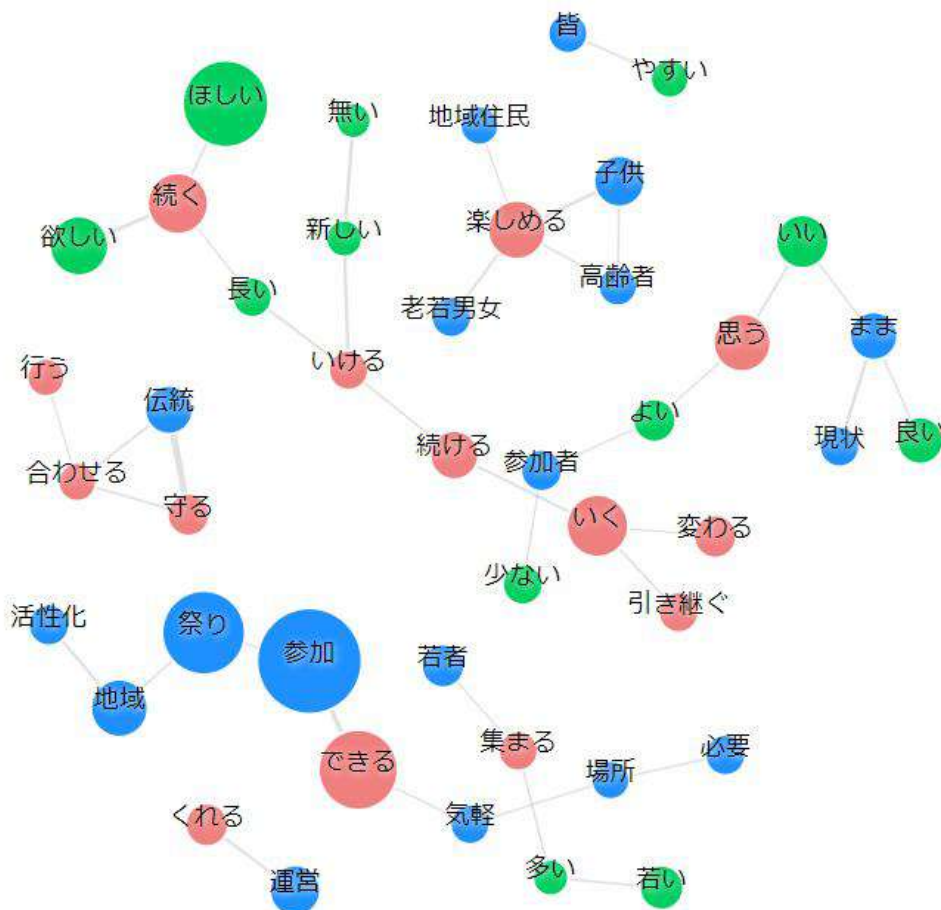
名詞	スコア	出現頻度
参加	99.83	140
祭り	129.10	97
地域	31.74	46
継続	30.61	35
子供	7.20	33
運営	27.11	33
伝統	44.38	28
ママ	3.70	27
世代	8.55	20
若者	8.27	18
子供達	70.89	17
若い人	65.40	16
参加者	6.48	15
活性化	30.38	14
老若男女	37.79	13

動詞	スコア	出現頻度
できる	4.77	72
いく	3.20	44
続く	12.58	42
楽しめる	28.00	38
思う	0.78	37
続ける	3.04	23
増える	1.54	16
出来る	0.63	15
変わる	1.08	14
くれる	0.24	14
守る	2.29	13
行く	0.13	12
引き継ぐ	18.07	10
いける	0.37	9
集まる	1.25	9

形容詞	スコア	出現頻度
ほしい	31.27	82
欲しい	4.50	39
いい	0.58	30
楽しい	2.97	28
良い	0.66	20
若い	3.63	16
よい	0.52	14
少ない	1.04	10
長い	0.73	9
やすい	0.32	7
小さい	0.56	6
新しい	0.09	4
幅広い	3.00	3
多い	0.03	3
無い	0.02	2

共起キーワード

文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度が強いほど太い線で描画されます。



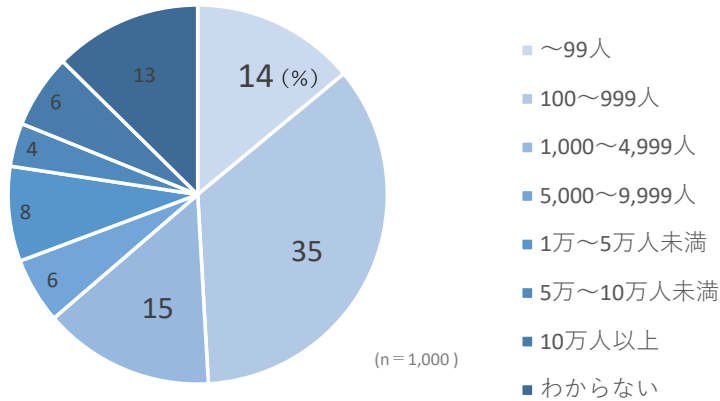
・全体では、祭りの観衆・全体トップは100～999人(35%)、次点は「1,000～4,999人(15%)」「～99人(14%)」
1万人以上は約2割(18%)

自治体規模別：町・村では、「～99人」「～999人」で61%。

Q.あなたが参加している祭りの観衆（見に来る人）は、どのくらいでしょうか。

※参加している祭りが複数ある方は、最も関わりが深い（運営側・参加している）祭りでお答えください。

※わからない方も、だいたいでもかまいませんのでなるべくお選びください。



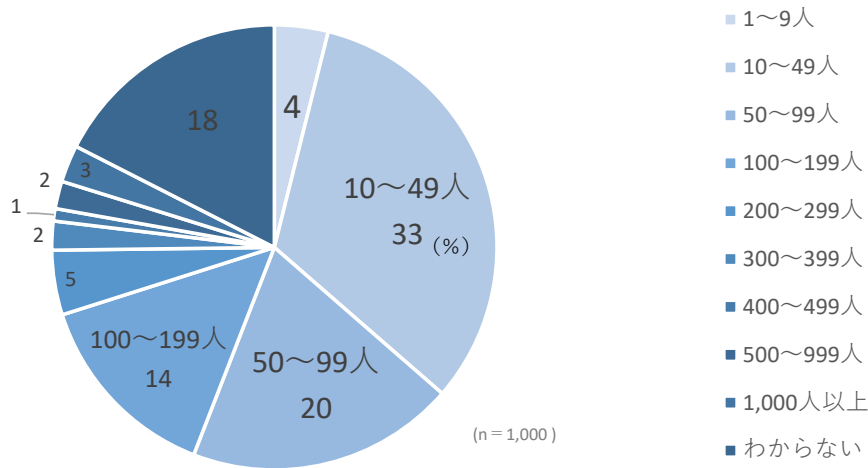
	n	%
全体	1000	100.0
～99人	140	14.0
100～999人	351	35.1
1,000～4,999人	146	14.6
5,000～9,999人	56	5.6
1万～5万人未満	81	8.1
5万～10万人未満	37	3.7
10万人以上	63	6.3
わからない	126	12.6

・祭りの担い手組織(自分のグループ)規模
全体でのトップは「10～49人(33%)」、次点は「50～99人(20%)」。～99人までが57%であった。

自治体規模別では、**町・村では、「10～49人」が(43%)**となった。

Q.あなたが参加している祭りの、【担い手組織(あなたが所属しているグループなど)】の規模は、どのくらいになりますか。

(例：〇〇睦(むつみ)、〇〇連(れん)、〇〇町会など) ※参加している祭りが複数ある方は、最も関わりが深い祭りでお答えください。



	n	%
全体	1000	100.0
1～9人	39	3.9
10～49人	325	32.5
50～99人	195	19.5
100～199人	142	14.2
200～299人	47	4.7
300～399人	21	2.1
400～499人	9	0.9
500～999人	20	2.0
1,000人以上	27	2.7
わからない	175	17.5

【自治体規模別】

Q.あなたが参加している祭りの、【担い手組織（あなたが所属しているグループなど）】の規模は、どのくらいになりますか。

（例：〇〇睦（むつみ）、〇〇連（れん）、〇〇町会など）※参加している祭りが複数ある方は、最も関わりが深い祭りでお答えください。

SA

		n	1 人	1 人 以 上	5 人	1 0 人	2 0 人	3 0 人	4 0 人	5 0 人	1 0 0 人 以 上	わ か ら な い
全体		1000	3.9	32.5	19.5	14.2	4.7	2.1	0.9	2.0	2.7	17.5
自治体区分別	人口50万人以上の市・都市区	314	6.1	30.3	16.2	18.2	3.8	2.5	1.0	1.6	3.8	16.6
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	6.0	30.6	28.4	12.7	7.5	1.5	0.0	2.2	0.0	11.2
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	1.6	33.2	17.4	14.7	6.8	2.1	0.5	3.7	3.7	16.3
	人口10万人未満の市	160	2.5	36.3	24.4	11.3	3.8	1.3	1.3	2.5	3.1	13.8
	町、村	87	4.6	42.5	17.2	13.8	5.7	3.4	2.3	1.1	1.1	8.0
	わからない	115	0.9	27.0	16.5	8.7	0.9	1.7	0.9	0.0	1.7	41.7

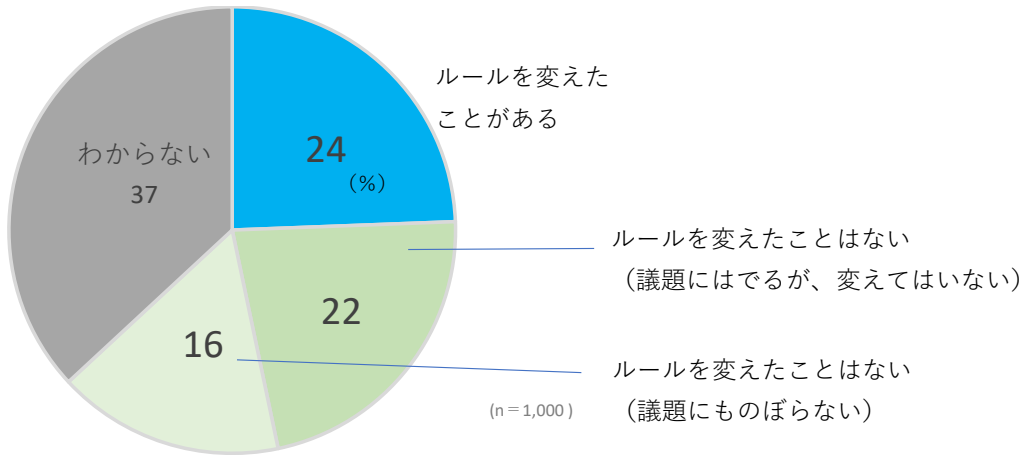
は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、
 は全体より5ポイント以上低いセル

・変更の有無については、「ルールを変えたことがある」は24%。「議題にはできるが、変えてはいない(22%)」となった。

・自治体規模別でみると、小規模の自治体で「ルールを変えたことがある」が高かった。**町・村は約4割(37%)、人口10万人未満の市では約3割(32%)**がルールを変えたことがある。

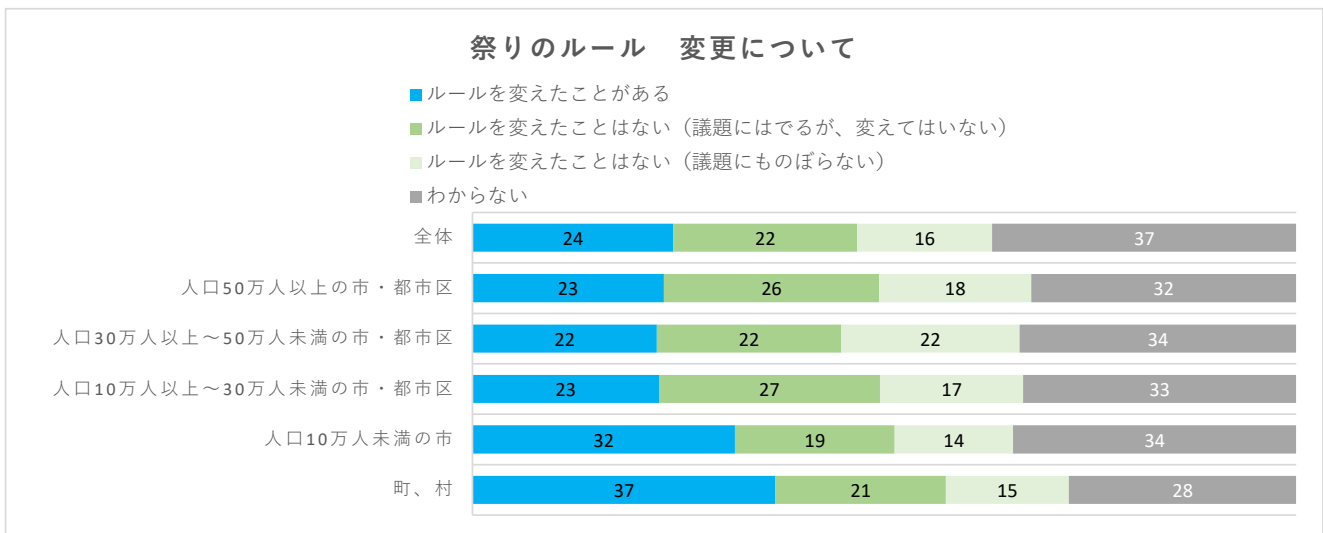
Q.祭りのルールの変更について教えてください。これまでに、ルールを変えたことはありますか。

例：日程を変更した／年齢制限の変更／女性の参加など



	n	%
全体	1000	100.0
ルールを変えたことがある	244	24.4
ルールを変えたことはない (議題にはできるが、変えてはいない)	223	22.3
ルールを変えたことはない (議題にもものぼらない)	164	16.4
わからない	369	36.9

【自治体規模別】



Q.祭りのルールの変更について教えてください。これまでに、ルールを変えたことはありますか。

例：日程を変更した／年齢制限の変更／女性の参加など

SA

	全体	人口50万人以上の市・都市区	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	人口10万人未満の市	町、村	わからない
n	1000	314	134	190	160	87	115
ルールを変えたことがある	24.4	23.2	22.4	22.6	31.9	36.8	13.0
ルールを変えたことはない (議題にはできるが、変えてはいない)	22.3	26.1	22.4	26.8	19.4	20.7	9.6
ルールを変えたことはない (議題にもものぼらない)	16.4	18.5	21.6	17.4	14.4	14.9	7.0
わからない	36.9	32.2	33.6	33.2	34.4	27.6	70.4

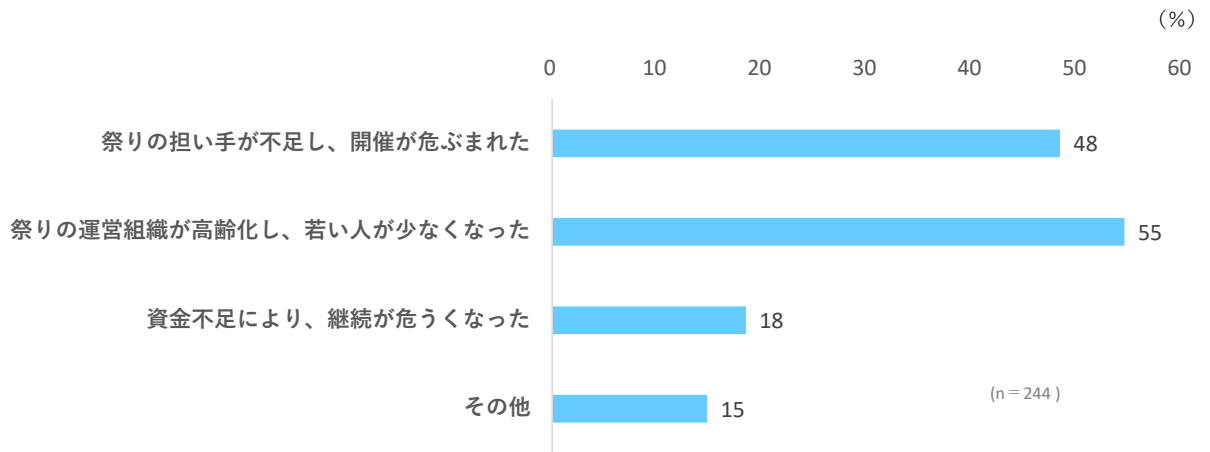
・ルール変更をした方に、きっかけをきいたところ、
「祭りの運営組織が高齢化し、若い人が少なくなった(55%)」「祭りの担い手が不足し、開催が危ぶまれた(48%)」が2大要因。

・自治体規模別では、町・村では「祭りの担い手が不足し、開催が危ぶまれた(56%)」がトップ。
 そもそも開催ができない、という祭り存続の危機がうかがえる。

・「組織が高齢化」の項目は人口10万人～30万未満都市／人口10万人未満の市で多い傾向にある。
 ⇒町・村での祭りの開催(存続)が危機、その次の規模の自治体で、「知識の伝承／若い人の不足」がおきているか。

Q..祭りのルールの変えたきっかけについて、あてはまるものがあれば【すべて】教えてください。(いくつでも)

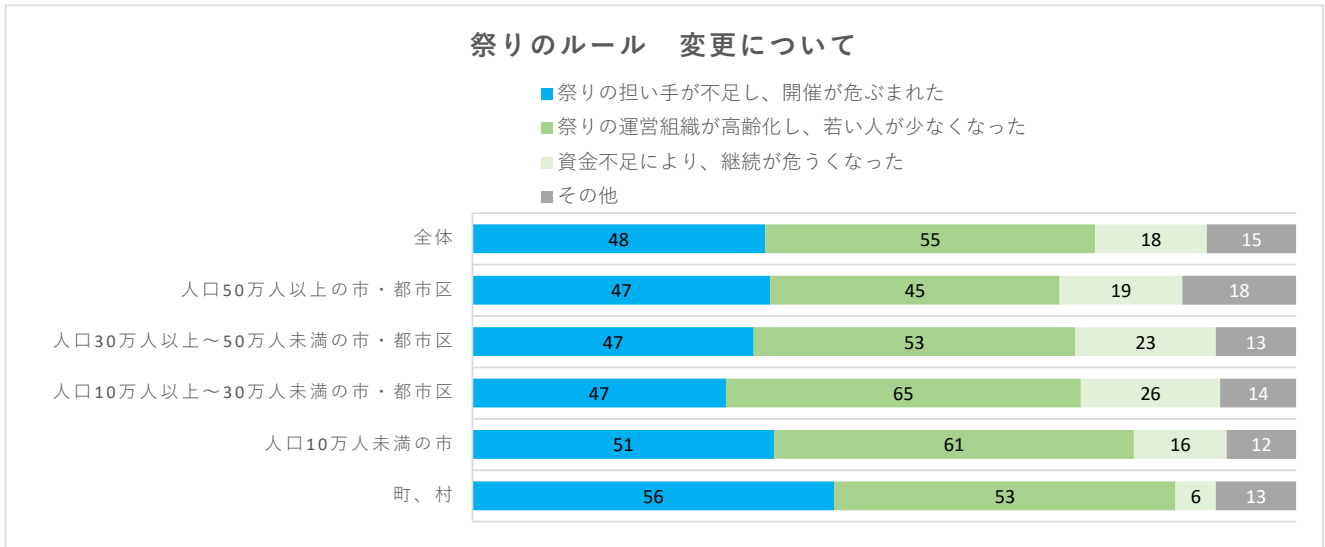
例：日程を変更した／年齢制限の変更／女性の参加など



MA

	n	%
全体	244	100.0
祭りの担い手が不足し、開催が危ぶまれた	118	48.4
祭りの運営組織が高齢化し、若い人が少なくなった	133	54.5
資金不足により、継続が危うくなった	45	18.4
その他	36	14.8

参考：【自治体規模別】



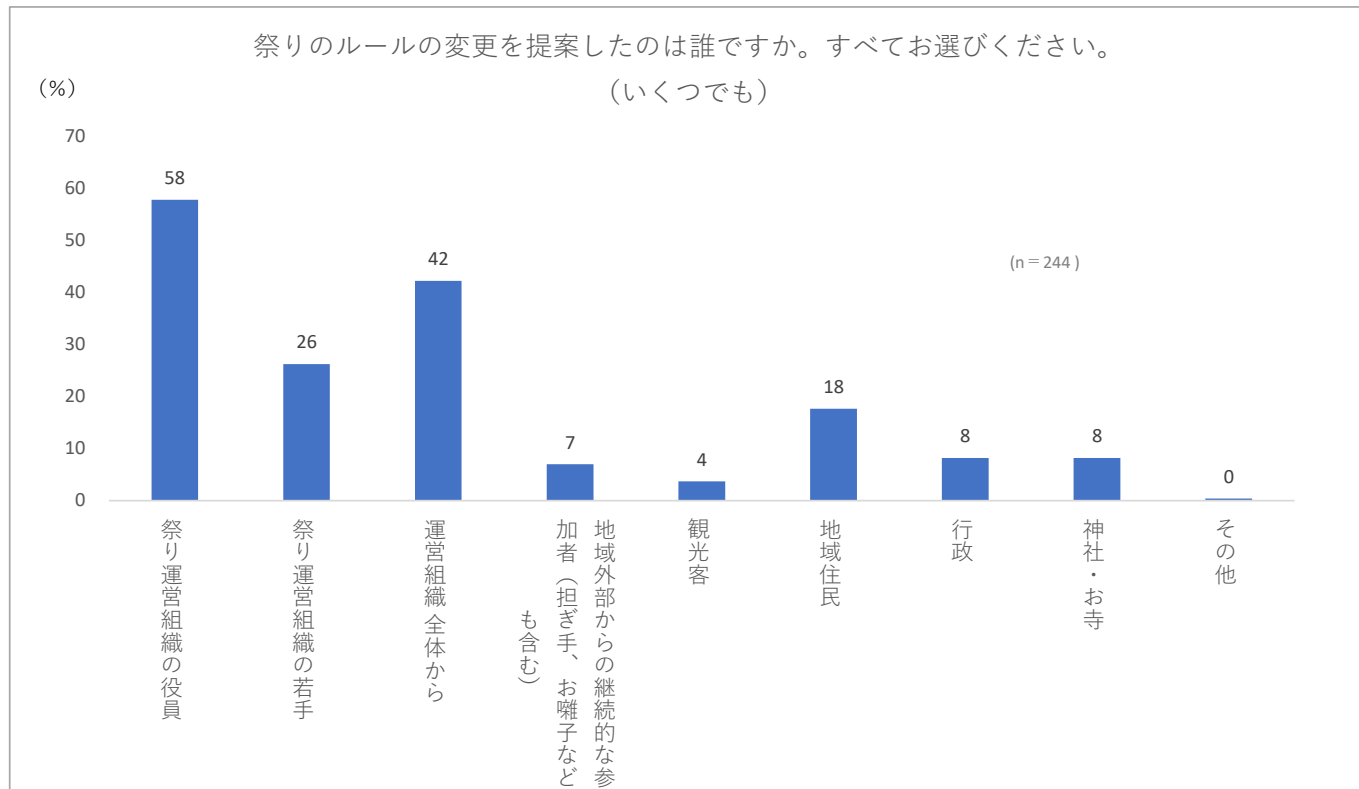
SA

	全体	人口50万人以上の市・都市区	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	人口10万人未満の市	町、村	わからない
n	244	73	30	43	51	32	15
祭りの担い手が不足し、開催が危ぶまれた	48.4	46.6	46.7	46.5	51.0	56.3	40.0
祭りの運営組織が高齢化し、若い人が少なくなった	54.5	45.2	53.3	65.1	60.8	53.1	53.3
資金不足により、継続が危うくなった	18.4	19.2	23.3	25.6	15.7	6.3	20.0
その他	14.8	17.8	13.3	14.0	11.8	12.5	20.0

祭りのルール、変更提案者トップは「祭り運営組織の役員」から(58%)
 追って運営組織全体から(42%)
 祭り運営組織の若手も提案している(26%)

Q.祭りのルールの変更を提案したのは誰ですか。すべてお選びください。(いくつでも)

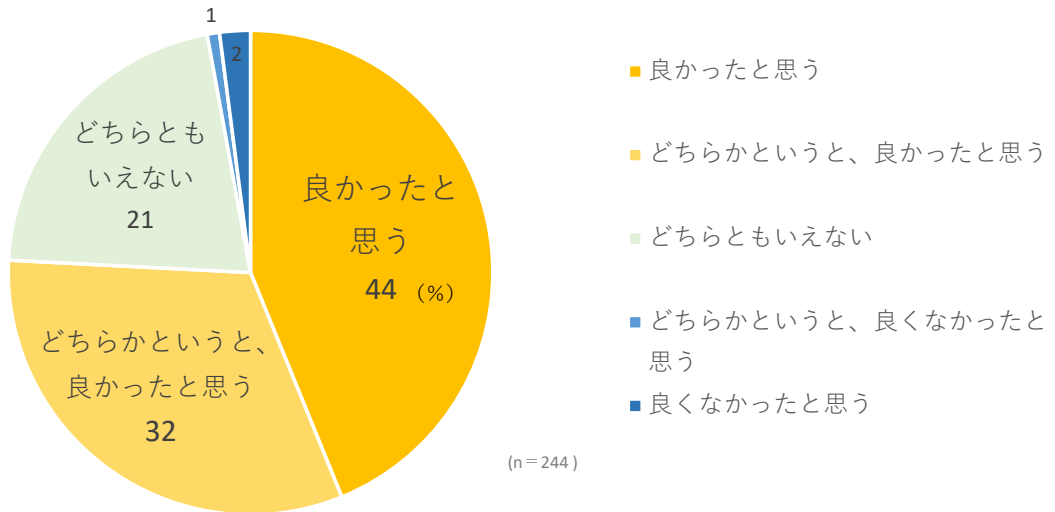
MA



	n	%
全体	244	100.0
祭り運営組織の役員	141	57.8
祭り運営組織の若手	64	26.2
運営組織全体から	103	42.2
地域外部からの継続的な参	17	7.0
観光客	9	3.7
地域住民	43	17.6
行政	20	8.2
神社・お寺	20	8.2
その他	1	0.4

・ルール変更をしてみて、「良かったと思う」「どちらかという、良かったと思う」で76%だった。

Q.祭りのルールの変更をしてみて、実際にいかがですか。ご自身にあてはまるものをお選びください。



SA	n	%
全体	244	100.0
良かったと思う	107	43.9
どちらかという、良かったと思う	78	32.0
どちらともいえない	52	21.3
どちらかという、良くなかったと思う	2	0.8
良くなかったと思う	5	2.0
TOP2	185	75.8
BTTM2	7	2.9

参加している祭りのルール変更により、**運営者の負担が減った、スムーズになった、継続できた、意見を言えるようになった、参加する人が増えた、活気がでた、**など好意的。

実際に行ったルール変更としては

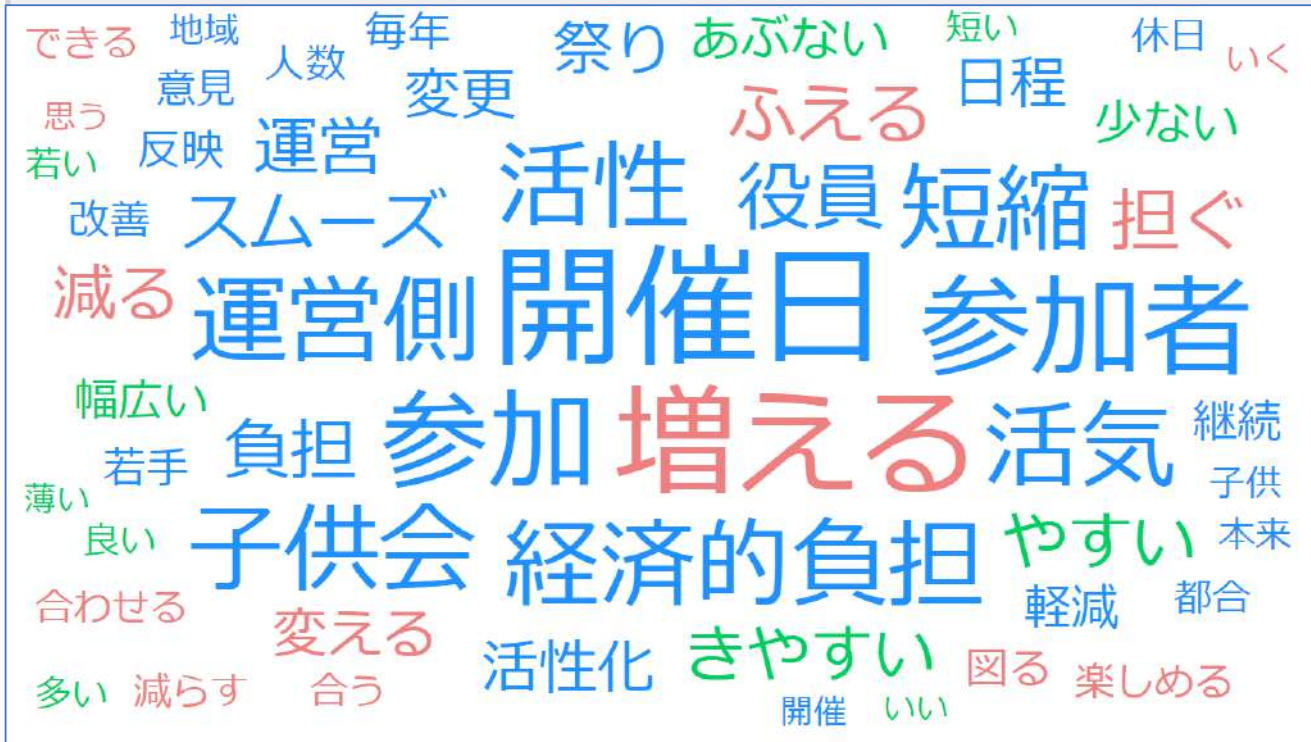
- ・運営負担の軽減：日程の変更（固定日から日曜など）、日数減（3日間を2日間へ）、毎年⇒隔年開催、開催時間の短縮
- ・担ぎ手の拡大：中学生まで参加可／女性参加／祭りサポーターの募集、外部からの参加を許可
- ・資金面：寄付金一口分を少額にし、個人寄付をしやすく
- ・若手の意見の採用 など。

Q.祭りのルールの変更してみて、「前質問の回答表示」とのことですが、そう思う理由を教えてください。どんな点でそう思いますか。（ご自由にお書きください）

（対象者：祭りのルール変更経験ありの方 ただし「特になし」「なし」「ない」等の回答は省いて集計（n=222）

ワードクラウド

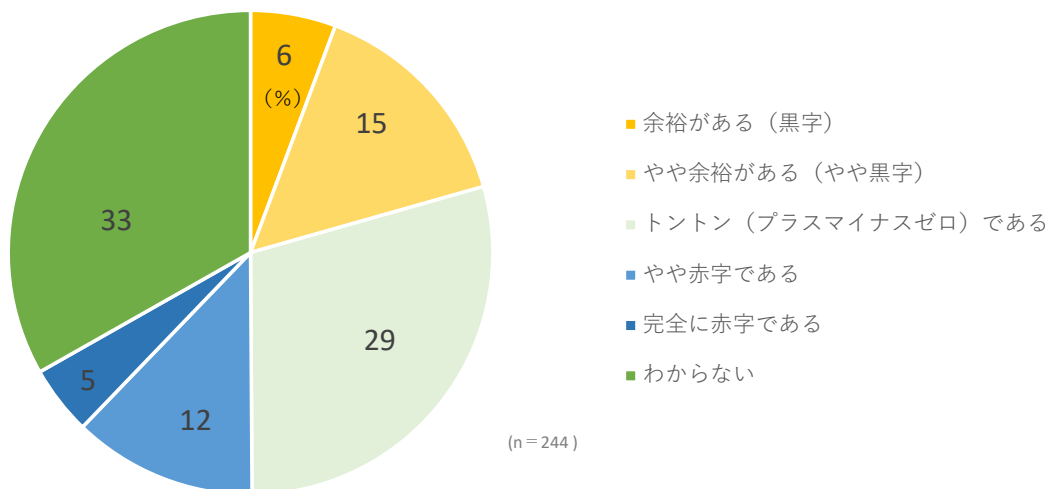
スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



※ユーザーローカル テキストマイニングツール（<https://textmining.userlocal.jp/>）による分析

- ・ 祭りの運営資金については、「わからない(33%)」がトップ、「トントン(プラスマイナスゼロ)である」が3割(29%)。
- ・ 「余裕がある(黒字)」は21%、(余裕がある+やや余裕がある)、「赤字である」は17%(やや赤字である+完全に赤字である)であった。

Q.祭りの運営資金について、あてはまるものをお選びください。

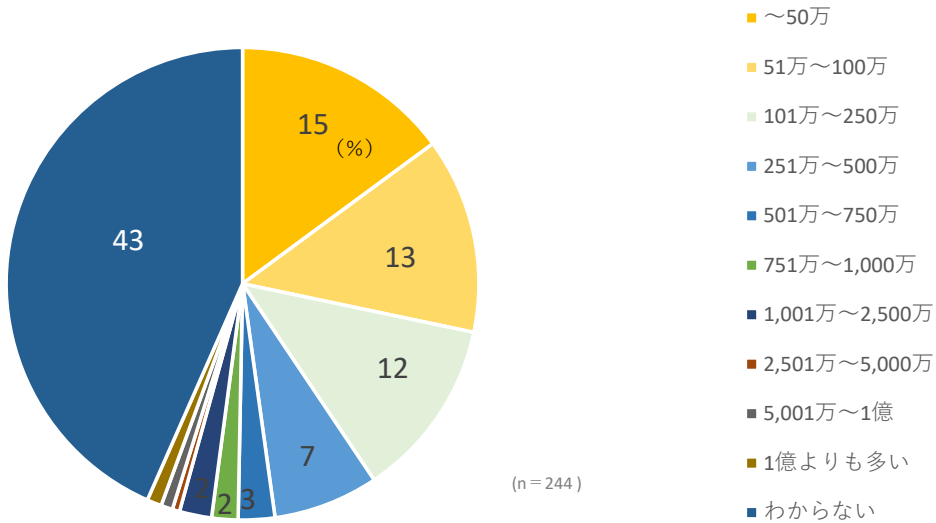


	n	%
全体	1000	100.0
余裕がある (黒字)	57	5.7
やや余裕がある (やや黒字)	149	14.9
トントン (プラスマイナスゼロ) である	293	29.3
やや赤字である	123	12.3
完全に赤字である	46	4.6
わからない	332	33.2
TOP2	206	20.6
BTTM2	169	16.9

・自身が参加している祭りの「担い手組織の祭りの予算」については、「**わからない(43%)**」がトップ。
 ・ついで「～50万(15%)」「51万～100万(13%)」だった。

Q.あなたが参加している祭りの、【担い手組織（あなたが所属しているグループなど）】の祭りの予算は、どのくらいになりますか。

(例：〇〇睦（むつみ）、〇〇連（れん）、〇〇町会など）※参加している祭りが複数ある方は、最も関わりが深い祭りでお答えください。

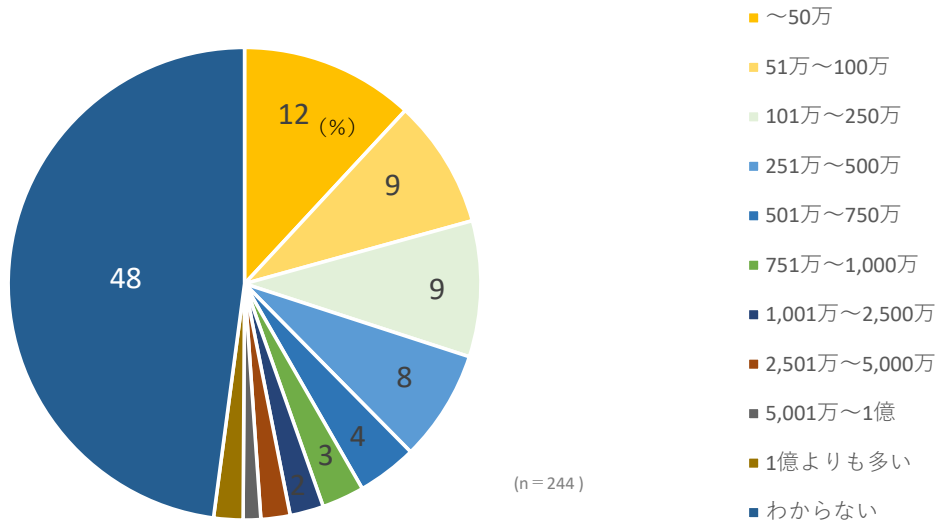


	n	%
全体	1000	100.0
～50万	149	14.9
51万～100万	134	13.4
101万～250万	123	12.3
251万～500万	72	7.2
501万～750万	25	2.5
751万～1,000万	18	1.8
1,001万～2,500万	22	2.2
2,501万～5,000万	5	0.5
5,001万～1億	8	0.8
1億よりも多い	10	1.0
わからない	434	43.4

・自身が参加している祭りの「全体での予算」については、「**わからない(48%)**」と、半数は把握していない。

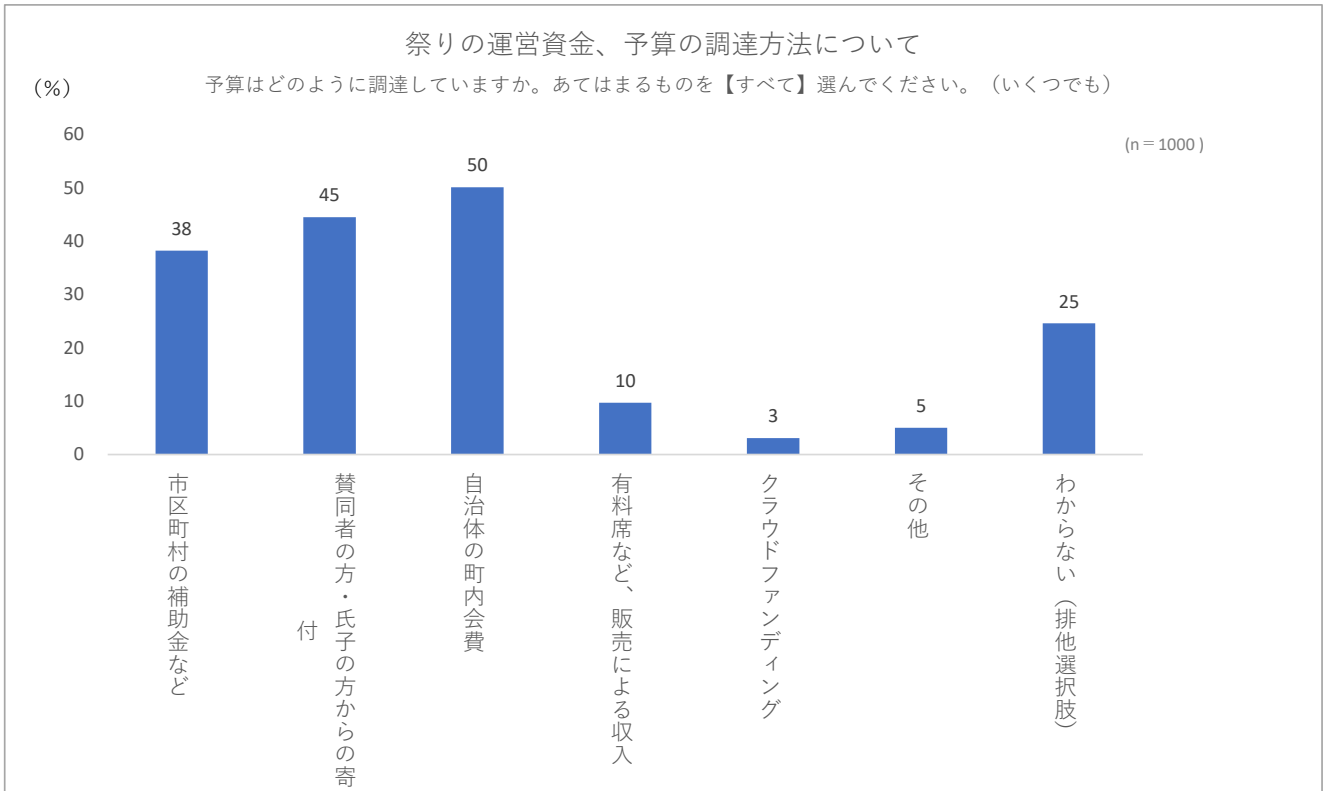
Q.あなたが参加している祭りの【全体での予算】としては、どのくらいでしょうか。

※参加している祭りが複数ある方は、最も関わりが深い祭りでお答えください。



	n	%
全体	1000	100.0
~50万	119	11.9
51万~100万	88	8.8
101万~250万	93	9.3
251万~500万	76	7.6
501万~750万	41	4.1
751万~1,000万	29	2.9
1,001万~2,500万	23	2.3
2,501万~5,000万	20	2.0
5,001万~1億	12	1.2
1億よりも多い	20	2.0
わからない	479	47.9

- ・祭り運営資金・予算の調達方法
- ・全体では「自治体の町内会費(50%)」がトップ、
 ついで「賛同者の方・氏子の方からの寄付(45%)」、「市町村の補助金など(38%)」であった。



Q.祭りの運営資金、予算の調達方法について、教えてください。
 予算はどのように調達していますか。あてはまるものを【すべて】選んでください。(いくつでも)

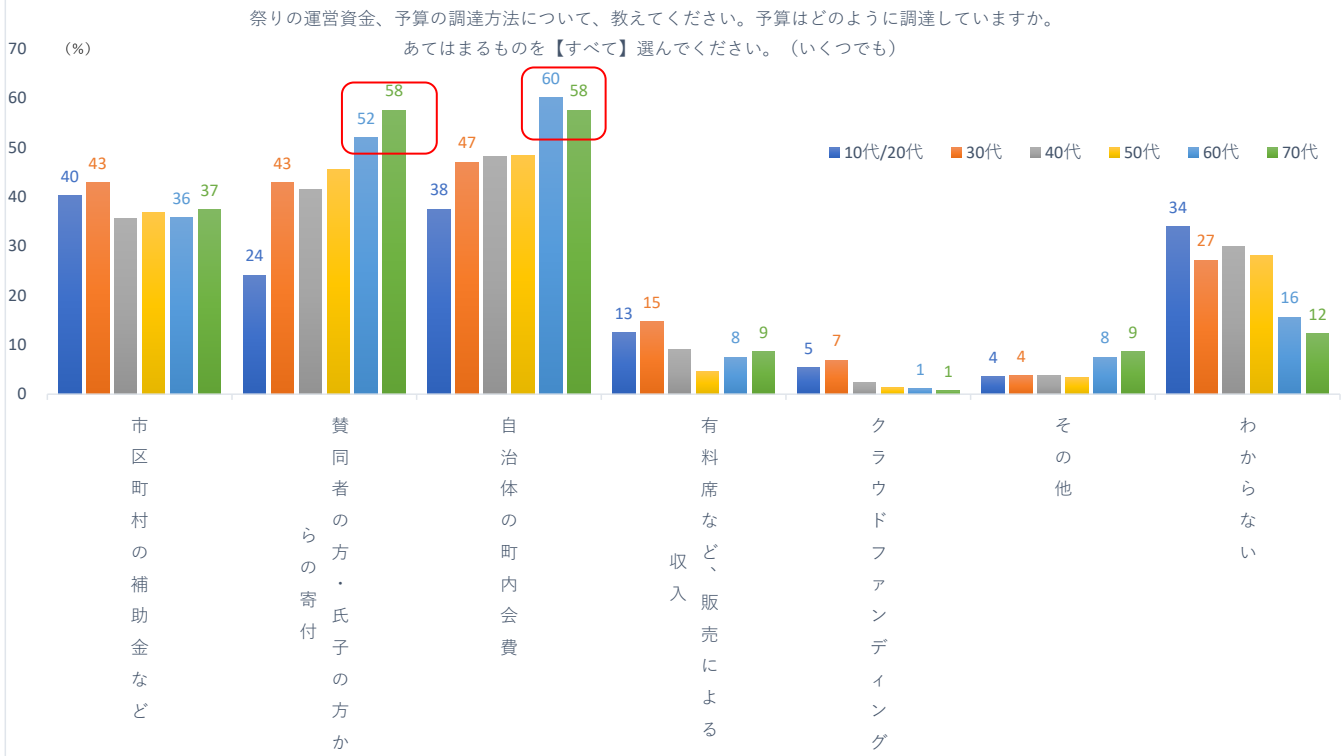
MA

	n	%
全体	1000	100.0
市区町村の補助金など	382	38.2
賛同者の方・氏子の方からの寄付	445	44.5
自治体の町内会費	501	50.1
有料席など、販売による収入	97	9.7
クラウドファンディング	31	3.1
その他	50	5.0
わからない(排他選択肢)	246	24.6

年代別では、10代～50代の3割は「わからない」。

60代～70代で6割が「自治体の町内会費」「賛同者・氏子の寄付」とわかれ、会計詳細は60代以上で行っている／気にしていることが推測できよう。

なお自治体の規模別でみると「町・村」では、「自治体の町内会費（61%）」「賛同者の方、氏子からの寄付（53%）」が高く、頼っている傾向がみられる。



Q.祭りの運営資金、予算の調達方法について、教えてください。予算はどのように調達していますか。あてはまるものを【すべて】選んでください。（いくつでも）

MA

		n	市区町村の補助金など	賛同者の方・氏子の方からの寄付	自治体の町内会費	有料席など、販売による収入	クラウドファンディング	その他	わからない
全体		1000	38.2	44.5	50.1	9.7	3.1	5.0	24.6
年代 (10代/20代)	10代/20代	112	40.2	24.1	37.5	12.5	5.4	3.6	33.9
	30代	217	42.9	42.9	47.0	14.7	6.9	3.7	27.2
	40代	210	35.7	41.4	48.1	9.0	2.4	3.8	30.0
	50代	149	36.9	45.6	48.3	4.7	1.3	3.4	28.2
	60代	173	35.8	52.0	60.1	7.5	1.2	7.5	15.6
	70代	139	37.4	57.6	57.6	8.6	0.7	8.6	12.2

■【自治体規模別】

町・村において 自治体の町内会費（61%） 賛同者の方、氏子からの寄付（53%）に頼っている傾向がみられる。

⇒人口が減ると、祭り予算も減っていくことが容易に読み取れる。

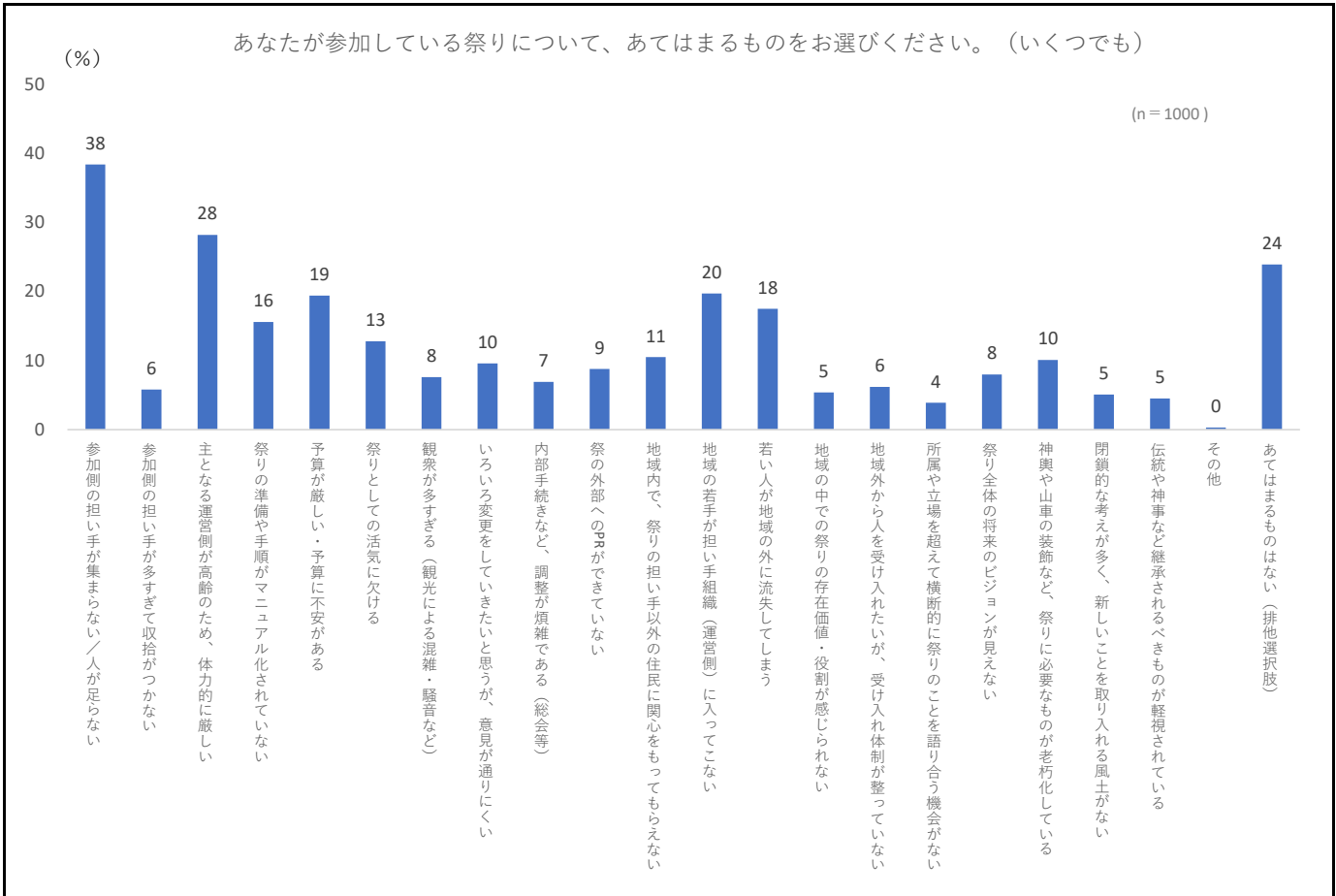
【自治体区分別】

Q祭りの運営資金、予算の調達方法について、教えてください。予算はどのように調達していますか。あてはまるものを【すべて】選んでください。（いくつでも）

MA

		n	市区町村の補助金など	賛同者の方・氏子の方からの寄付	自治体の町内会費	有料席など、販売による収入	クラウドファンディング	その他	わからない
全体		1000	38.2	44.5	50.1	9.7	3.1	5.0	24.6
自治体区分別	人口50万人以上の市・都市区	314	42.4	44.9	52.5	10.2	4.8	4.8	20.7
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	38.1	45.5	54.5	11.2	3.0	5.2	20.1
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	36.8	45.8	49.5	11.1	2.6	5.3	23.2
	人口10万人未満の市	160	36.3	51.3	50.6	10.6	2.5	7.5	21.3
	町、村	87	37.9	52.9	60.9	5.7	2.3	4.6	16.1
	わからない	115	32.2	24.3	30.4	6.1	0.9	1.7	53.9

・全体では参加側の担い手の人手不足、運営サイドの高齢化・体力面の問題、若手が運営側に入ってこない、予算、若手流出。
 1位:参加側の担い手が集まらない/人が足りない(38%) 2位:主となる運営側が高齢のため、体力的に厳しい(28%)
 3位:地域の若手が担い手組織に入ってこない(20%) 4位:予算が厳しい(19%) 5位:若い人が地域の外に流出してしまう(18%)



Q.あなたが参加している祭りについて、あてはまるものをお選びください。(いくつでも)

MA

	n	%
全体	1000	100.0
参加側の担い手が集まらない/人が足りない	384	38.4
参加側の担い手が多すぎて收拾がつかない	58	5.8
主となる運営側が高齢のため、体力的に厳しい	282	28.2
祭りの準備や手順がマニュアル化されていない	156	15.6
予算が厳しい・予算に不安がある	194	19.4
祭りとしての活気に欠ける	128	12.8
観衆が多すぎる(観光による混雑・騒音など)	76	7.6
いろいろ変更をしていきたいと思うが、意見が通りにくい	96	9.6
内部手続きなど、調整が煩雑である(総会等)	69	6.9
祭の外部へのPRができていない	88	8.8
地域内で、祭りの担い手以外の住民に関心をもってもらえない	105	10.5
地域の若手が担い手組織(運営側)に入っていない	197	19.7
若い人が地域の外に流出してしまう	175	17.5
地域の中で祭りの存在価値・役割が感じられない	54	5.4
地域外から人を受け入れたいが、受け入れ体制が整っていない	62	6.2
所属や立場を超えて横断的に祭りのことを語り合う機会がない	39	3.9
祭り全体の将来のビジョンが見えない	80	8.0
神輿や山車の装飾など、祭りに必要なものが老朽化している	101	10.1
閉鎖的な考えが多く、新しいことを取り入れる風土がない	51	5.1
伝統や神事など継承されるべきものが軽視されている	45	4.5
その他	3	0.3
あてはまるものはない(排他選択肢)	239	23.9

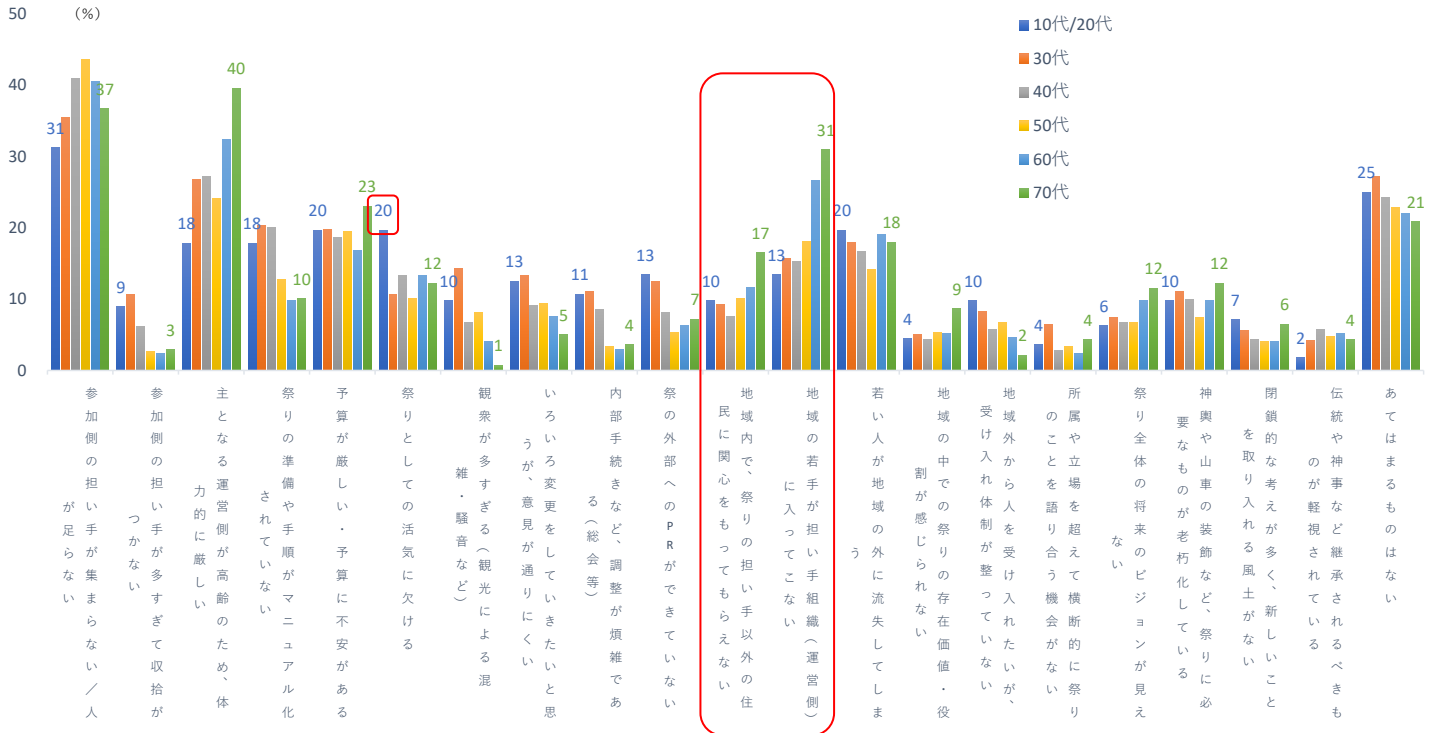
祭りの課題を年代別でみたところ

【10代・20代】では、「祭りとしての活気に欠ける（20%）」が突出。

【60代・70代】では、「地域の担い手組織（運営側）に入っていない（約3割）」

70代で「地域内で、祭りの担い手以外の住民に関心をもってもらえない」があった。

あなたが参加している祭りについて、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

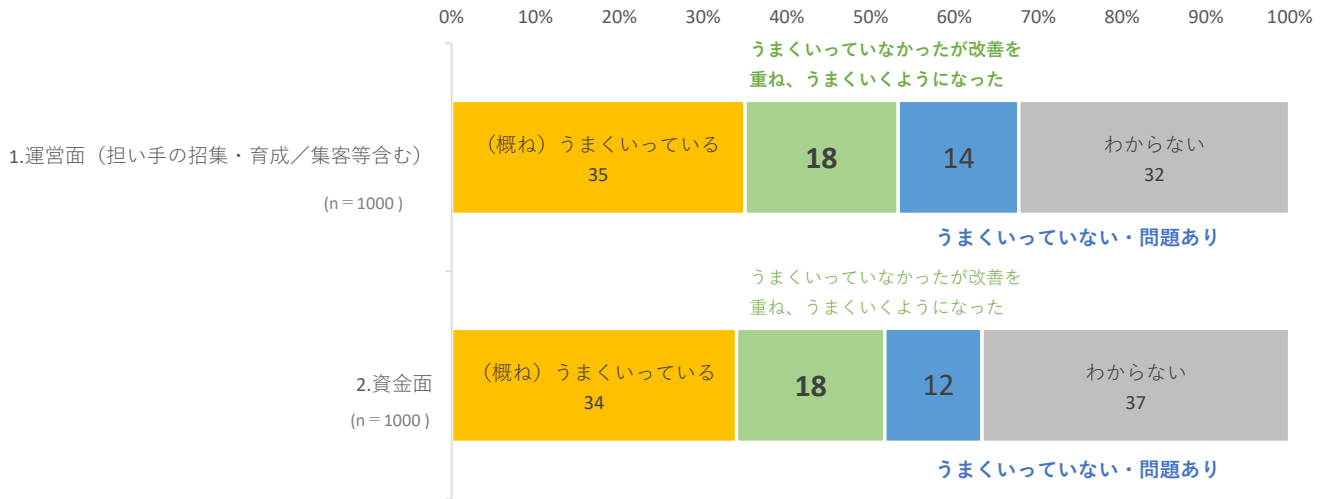


Q.あなたが参加している祭りについて、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

MA		祭りが足りない／人が足りない	参加側の担い手が多すぎて収拾がつかない	主となる運営側が高齢のため、体的に厳しい	祭りの準備や手順がマニュアル化されていない	予算が厳しい・予算に不安がある	祭りとしての活気に欠ける	雑音・騒音など	観衆が多すぎる（観光による混雑）	いろいろな変更をしていきたいと思うが、意見が通りにくい	内部手続きなど、調整が煩雑である（総会等）	祭りの外部へのPRができていない	地域内で、祭りの担い手以外の住民に関心をもってもらえない	地域の若手が担い手組織（運営側）に入っていない	若い人が地域の外に流失してしまっている	割が感じられない	地域外から人を受け入れたいが、受け入れ体制が整っていない	所属や立場を超えて横断的に祭りのことを語り合う機会がない	祭り全体の将来のビジョンが見えない	神輿や山車の装飾など、祭りに必要なものが老朽化している	閉鎖的な考えが多く、新しいことを取り入れる風土がない	伝統や神事など継承されるべきものが軽視されている	あてはまるものはない
	n																						
全体	1000	38.4	5.8	28.2	15.6	19.4	12.8	7.6	9.6	6.9	8.8	10.5	19.7	17.5	5.4	6.2	3.9	8.0	10.1	5.1	4.5	23.9	
年代	10代/20代	112	31.3	8.9	17.9	19.6	19.6	9.8	12.5	10.7	13.4	9.8	13.4	19.6	4.5	9.8	3.6	6.3	9.8	7.1	1.8	25.0	
	30代	217	35.5	10.6	26.7	20.3	19.8	10.6	14.3	13.4	11.1	12.4	9.2	15.7	18.0	5.1	8.3	6.5	7.4	11.1	5.5	4.1	27.2
	40代	210	41.0	6.2	27.1	20.0	18.6	13.3	6.7	9.0	8.6	8.1	7.6	15.2	16.7	4.3	5.7	2.9	6.7	10.0	4.3	5.7	24.3
	50代	149	43.6	2.7	24.2	12.8	19.5	10.1	8.1	9.4	3.4	5.4	10.1	18.1	14.1	5.4	6.7	3.4	6.7	7.4	4.0	4.7	22.8
	60代	173	40.5	2.3	32.4	9.8	16.8	13.3	4.0	7.5	2.9	6.4	11.6	26.6	19.1	5.2	4.6	2.3	9.8	9.8	4.0	5.2	22.0
70代	139	36.7	2.9	39.6	10.1	23.0	12.2	0.7	5.0	3.6	7.2	16.5	30.9	18.0	8.6	2.2	4.3	11.5	12.2	6.5	4.3	20.9	

- ・ 祭りの課題 運営面・資金面とも「問題あり」は1割強。2割は改善してうまくいくようになり、3割がうまくいっている。残り3(～4)割は「わからない」であった。
⇒半数はうまくいっている。

Q.あなたが参加している祭りについて、あてはまるものをお選びください。

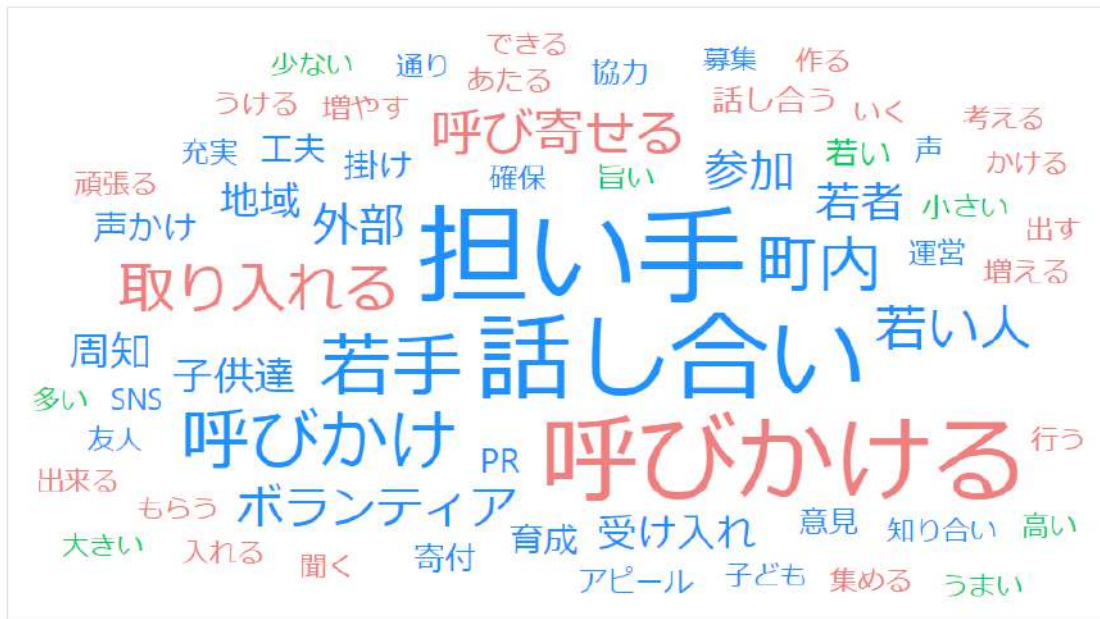


	n	い (概ね) うまくいって	くたう (概ね) うまくいって	問う (概ね) うまくいって	わ (概ね) うまくいって
1.運営面 (担い手の招集・育成/集客等含む)	1000	35.0	18.3	14.4	32.3
2.資金面	1000	34.0	17.7	11.6	36.7

【運営面】 n=137

ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



Q.うまくいっていなかったが、改善を重ねうまいくようになった祭りに参加している方にお聞きます。どんなふうに変更をしたか、工夫や取り組みなど教えてください。
 (ご自由にお書きください) 運営面 (担い手の招集・育成/集客等含む)

(自由回答 詳細)

- ・ 当番制
- ・ 大学生のボランティアの招集
- ・ 若手を入れる
- ・ 若手同士の繋がりを高める会
- ・ 若者を役員に入れた
- ・ 若い人達の意見を尊重するようになってきた
- ・ 参加後の食事会で参加人数を増やす
- ・ 祭りのサポーターを募集して若手に手伝ってもらったので
- ・ 企業の人を助っ人にする
- ・ 地元企業や商工会議所との連携。
- ・ 外国人に目を向けてみた
- ・ 外部からの参加を許容した
- ・ 家庭にあった参加の方法を考えた。
- ・ 開催日の変更、各町内に対する協力員の参加要請
- ・ とうやにあたると金銭的負担が大きいので補助金を出す
- ・ さまざまな世代の意見を聞いた
- ・ 主体を厄年（42歳）の厄落としとしていたが、それは維持しつつ60歳の還暦メンバーも、希望があれば受け入れ（参加可能）るようにした。
- ・ SNSを通じて若い人に周知
- ・ ディスカッションなどを行い話し合う環境を作った
- ・ なるべく小さい子どもにうける内容の出し物をする事で小さい子どもを呼び寄せた
- ・ ホームページを作った
- ・ より綿密な計画を立てるようになった
- ・ たくさんの人に声をかけた。

【資金面】 n=134

ワードクラウド

スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示しています。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



Q.うまくいってなかったが、改善を重ねうまくなった祭りに参加している方にお聞きします。

どんなふう改善をしたか、工夫や取り組みなど教えてください。（ご自由にお書きください） 資金面

【自由回答 詳細】

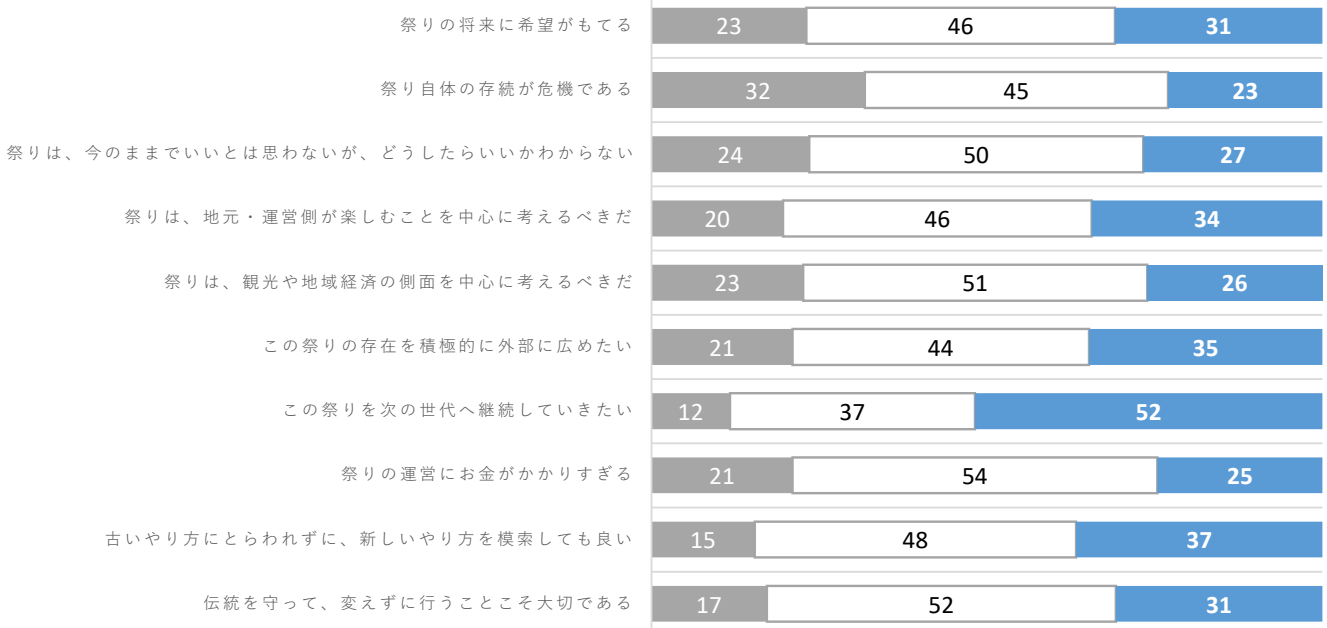
- ・ 様々な方面から寄付金が集まるようになった
- ・ 木遣り奉納したお礼金を積み立てて次年度以降の資金にしている
- ・ 奉賛を集う
- ・ 募金募集する
- ・ 補助金の活用
- ・ 負担金を上げた。
- ・ 提灯をかってもらう
- ・ 町内会費で賄う
- ・ 地域内の企業様からなんとか資金調達している
- ・ 節約
- ・ 世界遺産になった
- ・ 出金を削減
- ・ 資金については困ることはなかった
- ・ 市への補助金申請
- ・ 子ども会費で助成金を出してもらう
- ・ 高額とならないよう、身の丈にあった事業に絞り込んだ
- ・ 御朱印
- ・ 寄付金の集め方を変える
- ・ 寄付していただいた方を大きく表記
- ・ 企業に協賛をお願いする。協賛する企業へのメリットを工夫
- ・ 会員全員で町内に寄付をお願いに行く。
- ・ できる限り外部委託じゃなくて自分たちで作るようにした。
- ・ しめ縄も町内全体に配布したが、回覧板で希望者をきいて配布する。無駄を省く。
- ・ クラウドファンディング
- ・ インターネットを活用した資金集め

- ・祭りへの自身の意識を測るため、それぞれの質問を5段階選択制とした。
(非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらでもない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)
- ・全体での「**あてはまる**」(非常によく+少しあてはまるの合計)が高かったものは、「**この祭りを次の世代へ継続していきたい(52%)**」。
- ・年代別では、10代~30代若年層で「祭りの存在を知ってもらいたい」「今のままでいいとは思わないが、どうしたらいいかわからない」が高い。また、年配層で「次の世代へ継続したい」が高い。
- ・「**祭りの存在が危機である(23%)**」は全体では2割となっているが、「**町・村**」では(37%)と約4割が危機と回答している。
- ・自治体規模別に見ると、人口が多い都市で「祭りの将来に希望がもてる」が高い。

祭りへの意識

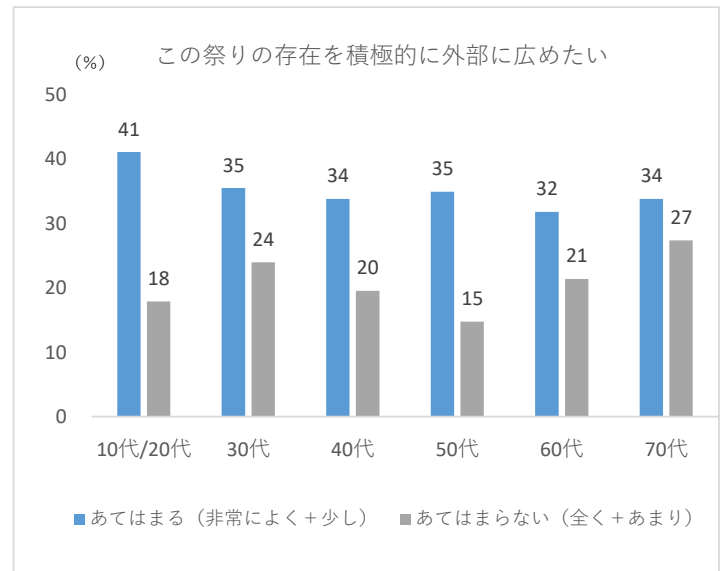
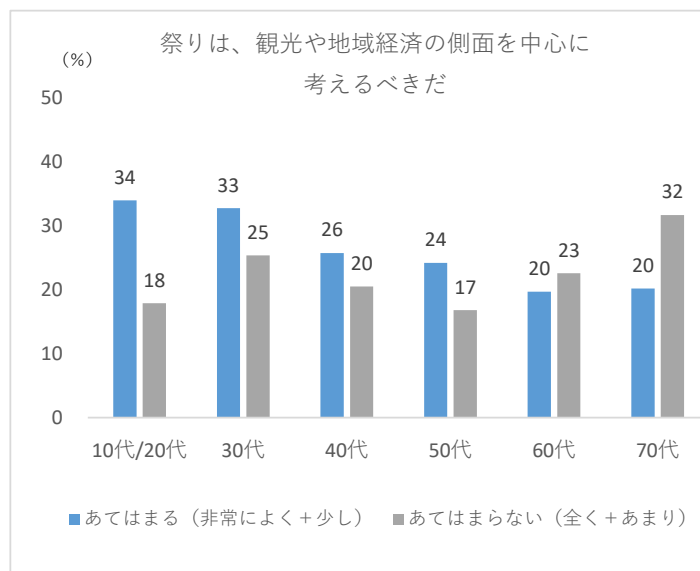
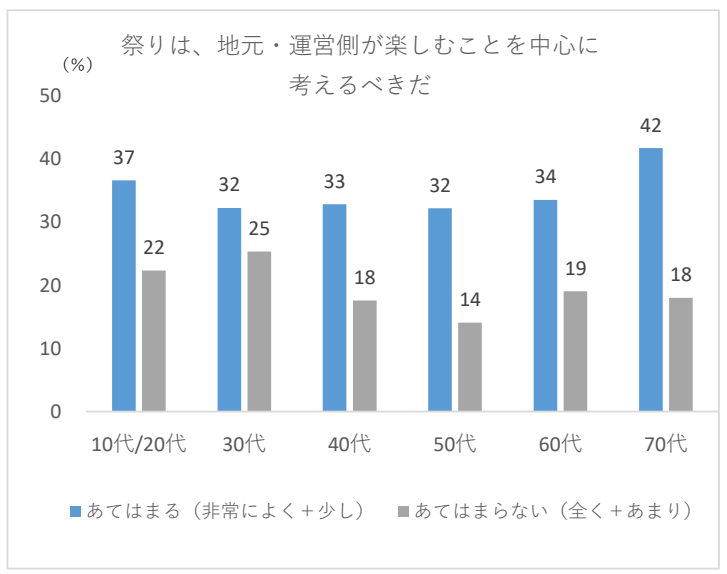
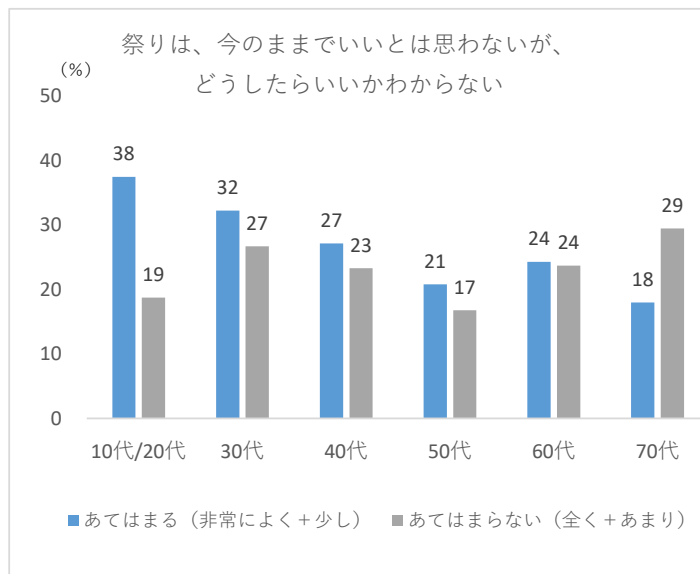
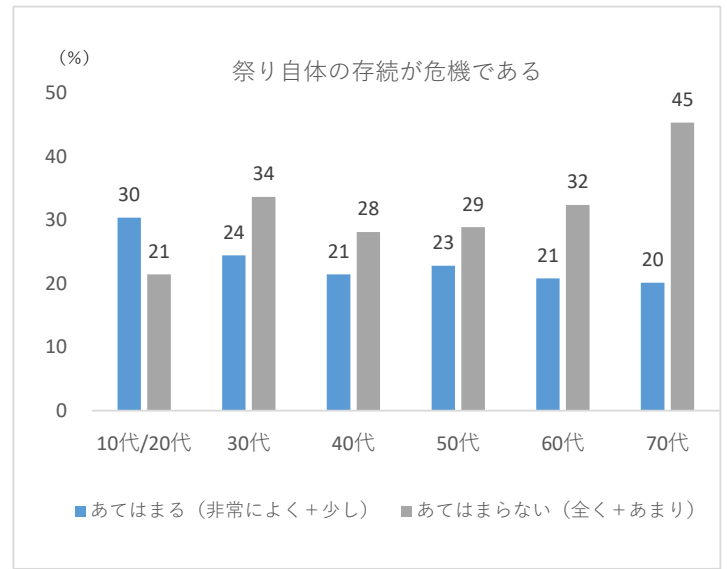
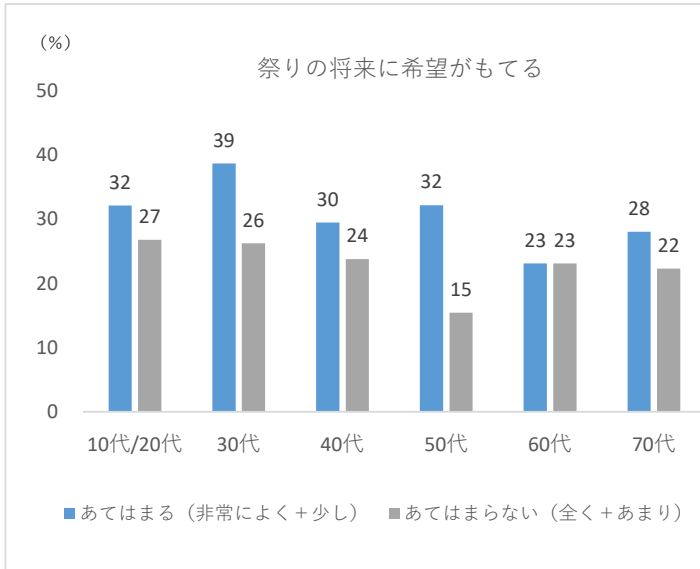
(n=1000)

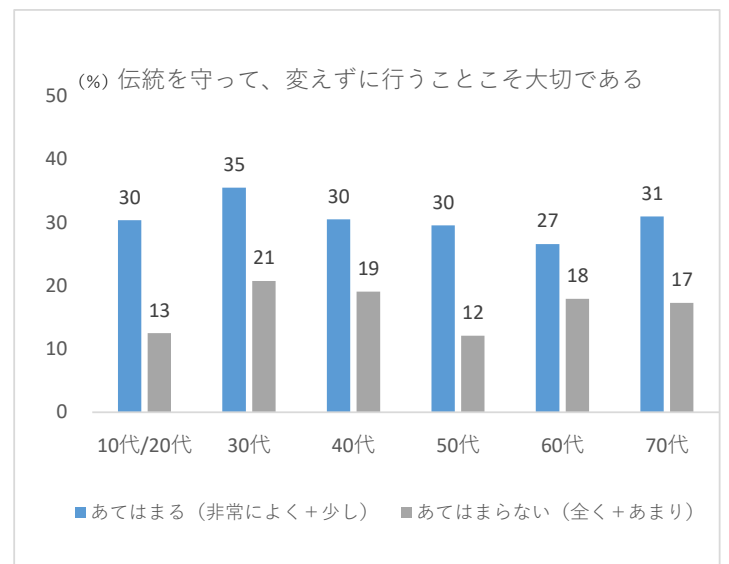
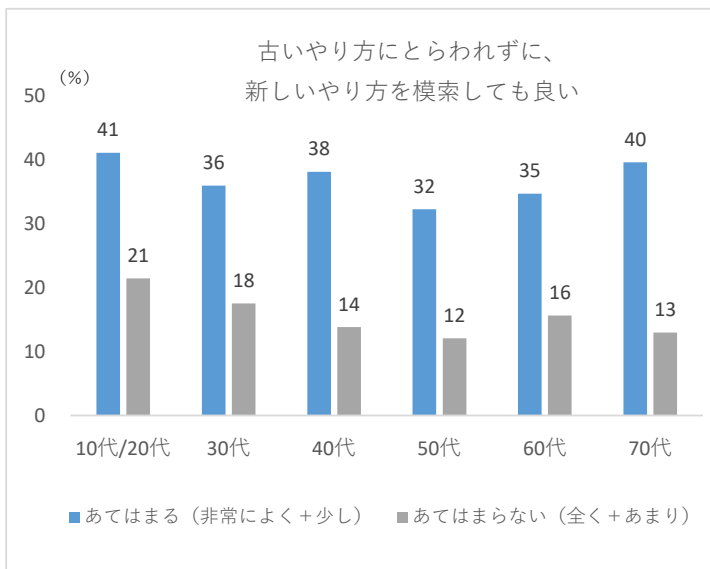
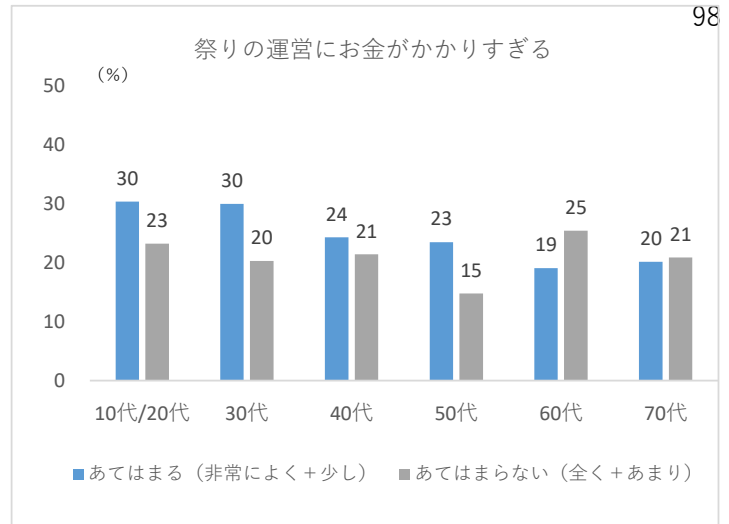
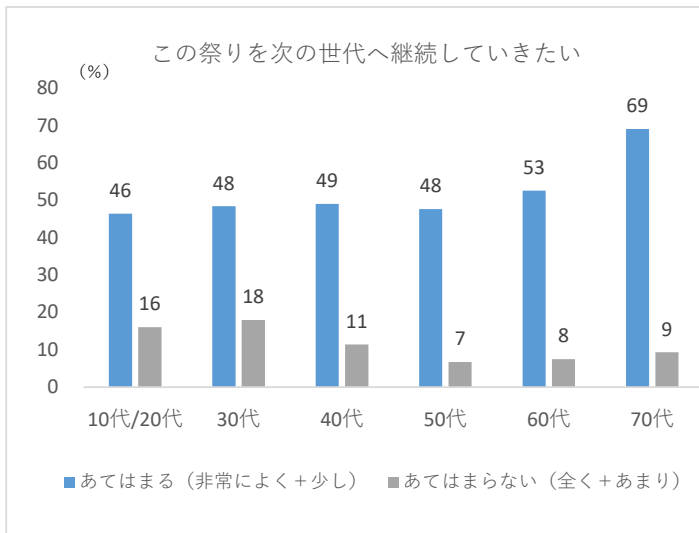
■あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない) □どちらともいえない ■あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる) (%)



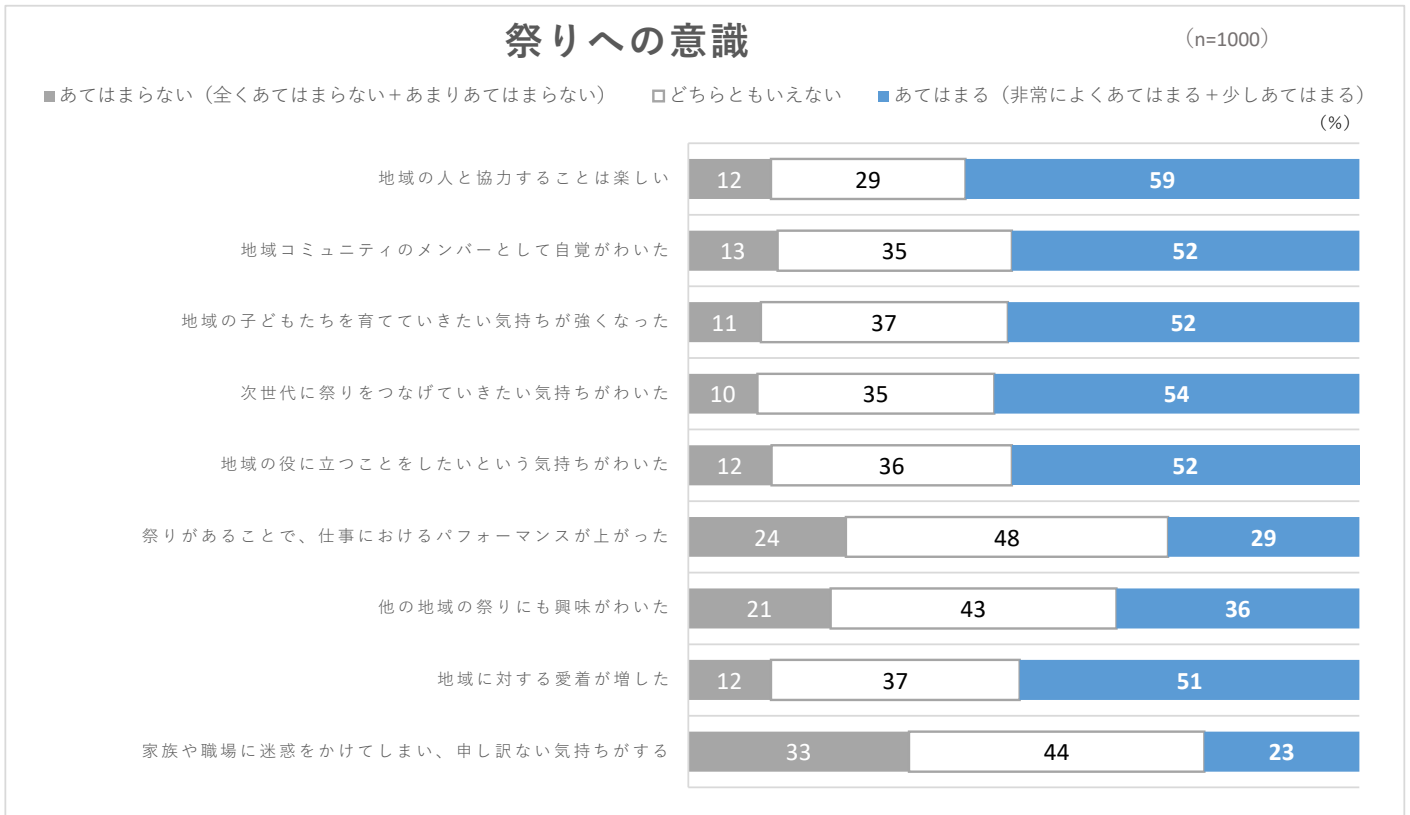
	n	あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない)	どちらともいえない	あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる)
祭りの将来に希望がもてる	1000	23.1	46.0	30.9
祭り自体の存続が危機である	1000	31.8	45.2	23.0
祭りは、今のままでいいとは思わないが、どうしたらいいかわからない	1000	23.5	49.8	26.7
祭りは、地元・運営側が楽しむことを中心に考えるべきだ	1000	19.6	46.0	34.4
祭りは、観光や地域経済の側面を中心に考えるべきだ	1000	22.6	51.3	26.1
この祭りの存在を積極的に外部に広めたい	1000	21.0	44.2	34.8
この祭りを次の世代へ継続していきたい	1000	11.7	36.5	51.8
祭りの運営にお金がかかりすぎる	1000	21.0	54.4	24.6
古いやり方にとらわれずに、新しいやり方を模索しても良い	1000	15.4	47.9	36.7
伝統を守って、変えずに行うことこそ大切である	1000	17.2	52.0	30.8

Q.参加している（運営側・担い手側になっている）祭りについて、あなたにあてはまるものをお選びください。





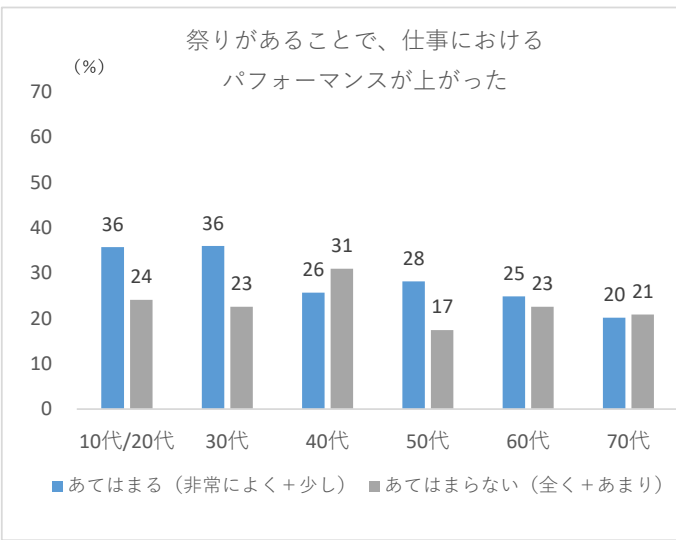
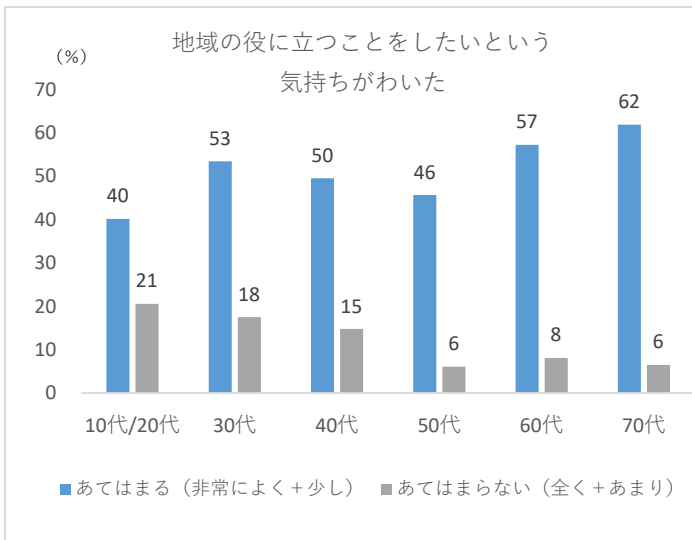
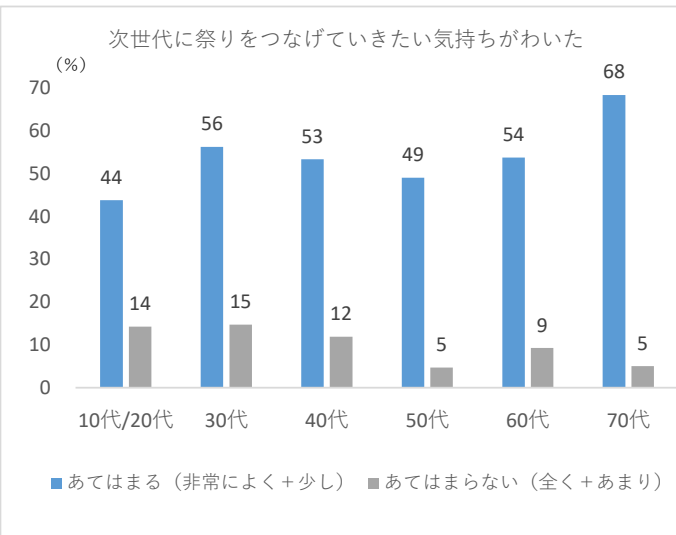
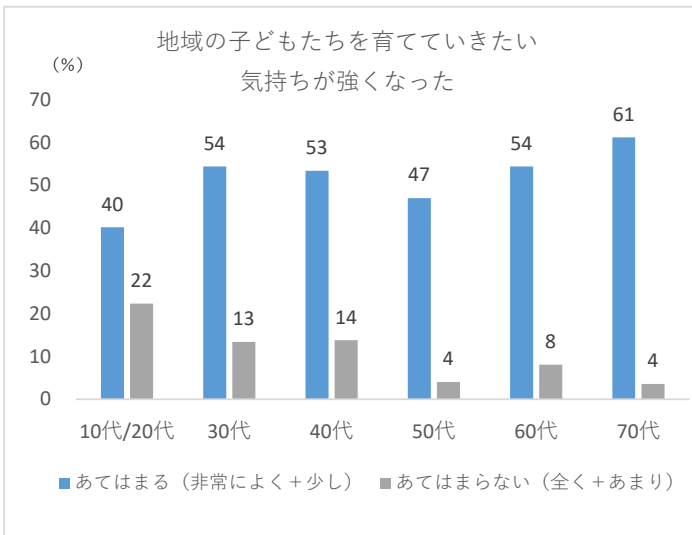
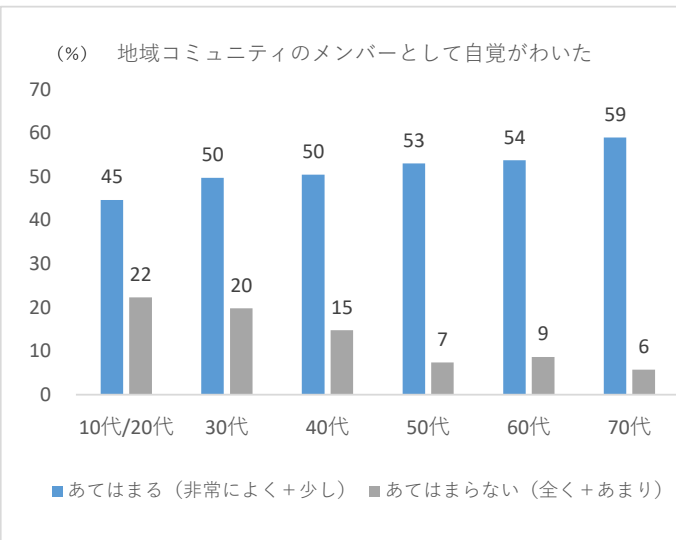
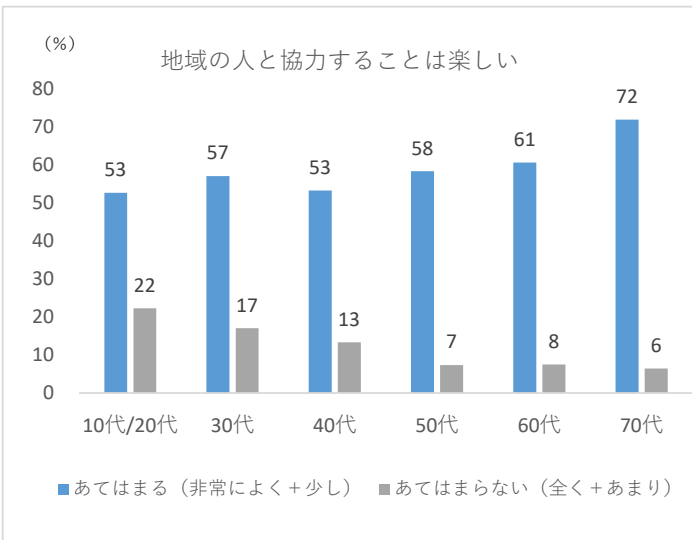
- ・それぞれの質問を5段階選択制とした。(非常によくあてはまる、少しあてはまる、どちらでもない、あまりあてはまらない、全くあてはまらない)
- ・全体での「あてはまる」(非常によく+少しあてはまるの合計)が高かったものは、**地域への愛情、愛着、関与であった。**
- 「地域の人と協力することは楽しい(59%)」
- 「次世代に祭りをつなげていきたい気持ちがわいた(54%)」
- 「地域の子どもたちを育てていきたい気持ちが強くなった(52%)」
- 「地域コミュニティのメンバーとして自覚がわいた(52%)」
- 「地域の役に立つことをしたいという気持ちがわいた(52%)」
- 「地域に対する愛着が増した(51%)」

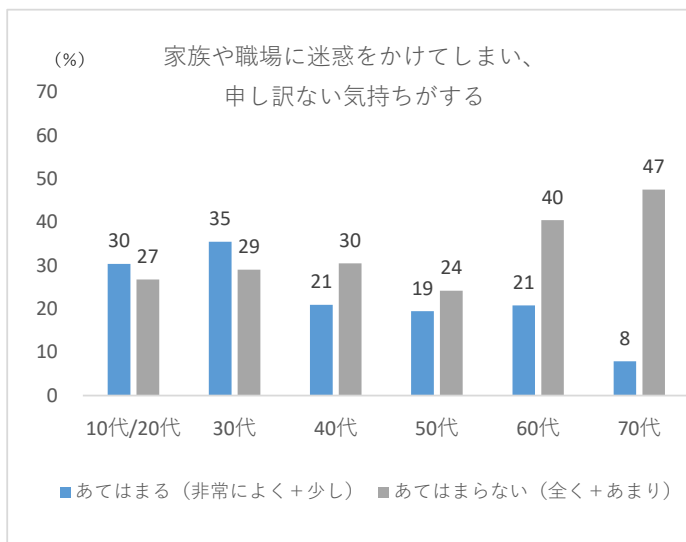
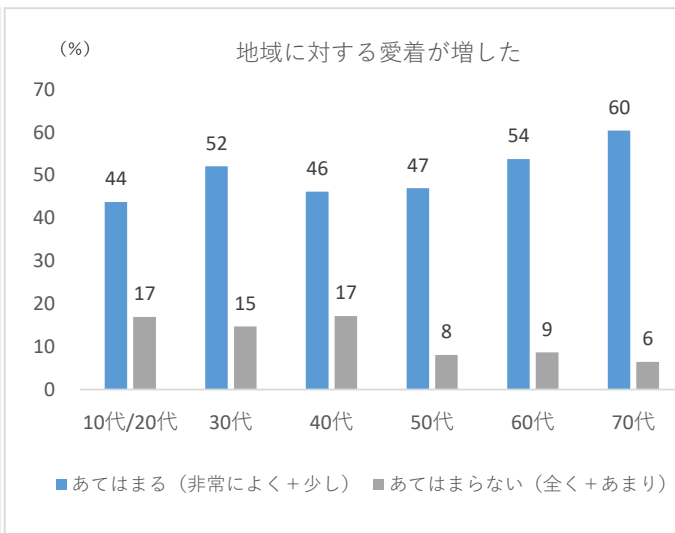
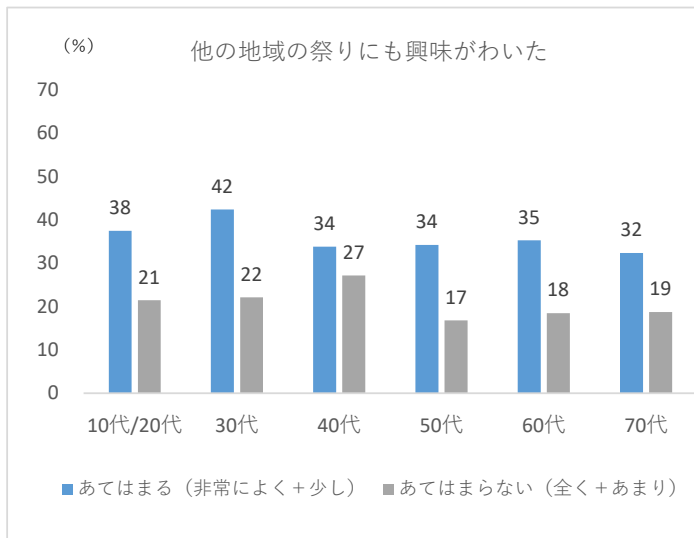


Q. 祭りに (本格的に) たずさわる前と後で、ご自身の変化があれば教えてください。 ※長きに渡ってたずさわっている方は、ご自身の気持ちにあてはまるものを選んでください。

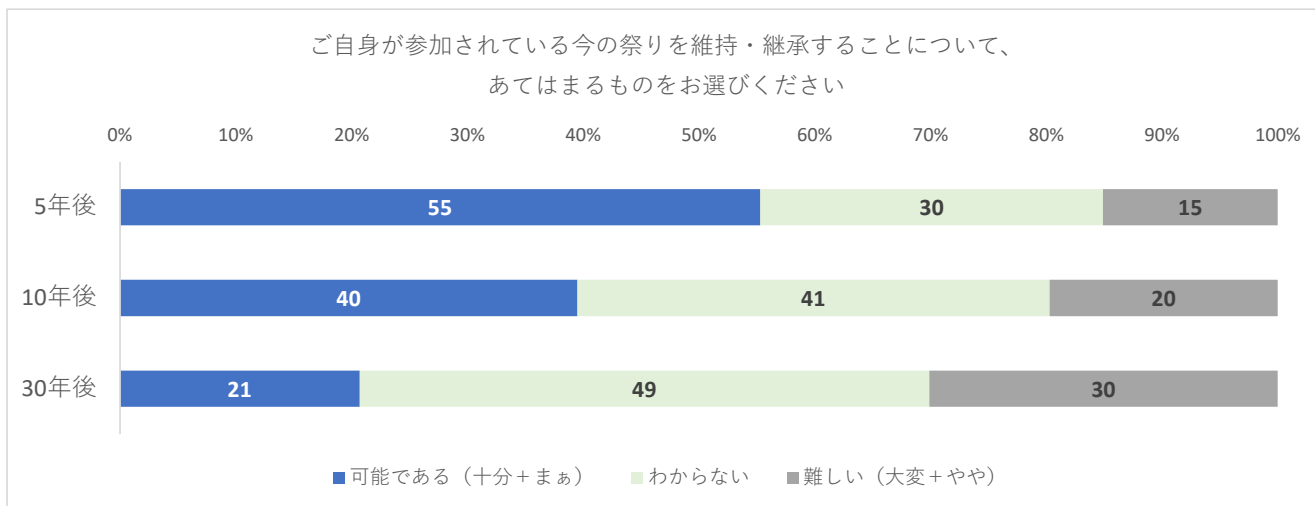
	n	BTTM2		TOP2	
		あてはまらない (全くあてはまらない+あまりあてはまらない)	どちらともいえない	あてはまる (非常によくあてはまる+少しあてはまる)	あてはまる (非常によくあてはまる)
地域の人と協力することは楽しい	1000	12.3	29.0	58.7	
地域コミュニティのメンバーとして自覚がわいた	1000	13.3	34.9	51.8	
地域の子どもたちを育てていきたい気持ちが強くなった	1000	10.8	36.8	52.4	
次世代に祭りをつなげていきたい気持ちがわいた	1000	10.3	35.3	54.4	
地域の役に立つことをしたいという気持ちがわいた	1000	12.4	35.8	51.8	
祭りがあることで、仕事におけるパフォーマンスが上がった	1000	23.5	48.0	28.5	
他の地域の祭りにも興味がわいた	1000	21.2	42.6	36.2	
地域に対する愛着が増した	1000	12.3	37.1	50.6	
家族や職場に迷惑をかけてしまい、申し訳ない気持ちがする	1000	32.9	44.0	23.1	

Q.祭りに（本格的に）たずさわる前と後で、ご自身の変化があれば教えてください。※長きに渡ってたずさわっている方は、ご自身の気持ちにあてはまるものを選んでください。





- ・ 祭りの継続については、5年後、10年後、30年後と「維持・継承が可能である」が55%、40%、21%と減っていく。
- ・ 30年後は、「町・村」/「人口10万人未満の市」で4割が継続は難しいとしている。



Q.ご自身が参加されている今の祭りを維持・継承することについて、あてはまるものをお選びください

	n	大変 難しい	やや 難しい	わ か ら な い	ま あ 可 能 で あ る	十 分 可 能 で あ る	ま あ 可 能 で あ る (十分+)	難 し い (大 変 + や や)
5年後	1000	4.9	10.2	29.6	35.8	19.5	55.3	15.1
10年後	1000	8.6	11.1	40.8	26.4	13.1	39.5	19.7
30年後	1000	16.0	14.1	49.2	12.6	8.1	20.7	30.1

【自治体規模別】

Q.ご自身が参加されている今の祭りを維持・継承することについて、あてはまるものをお選びください

SA

5年後

		n	大変難しい	やや難しい	わからない	まあ可能である	十分可能である	+ 可能である (十分)	難しい (大変 + や)
全体		1000	4.9	10.2	29.6	35.8	19.5	55.3	15.1
自治体区分別	人口50万人以上の市・都市区	314	3.8	10.8	27.7	35.0	22.6	57.6	14.6
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	6.0	7.5	26.9	41.0	18.7	59.7	13.4
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	7.4	10.5	28.4	32.1	21.6	53.7	17.9
	人口10万人未満の市	160	4.4	12.5	31.3	37.5	14.4	51.9	16.9
	町、村	87	3.4	9.2	26.4	42.5	18.4	60.9	12.6
	わからない	115	4.3	8.7	40.0	30.4	16.5	47.0	13.0

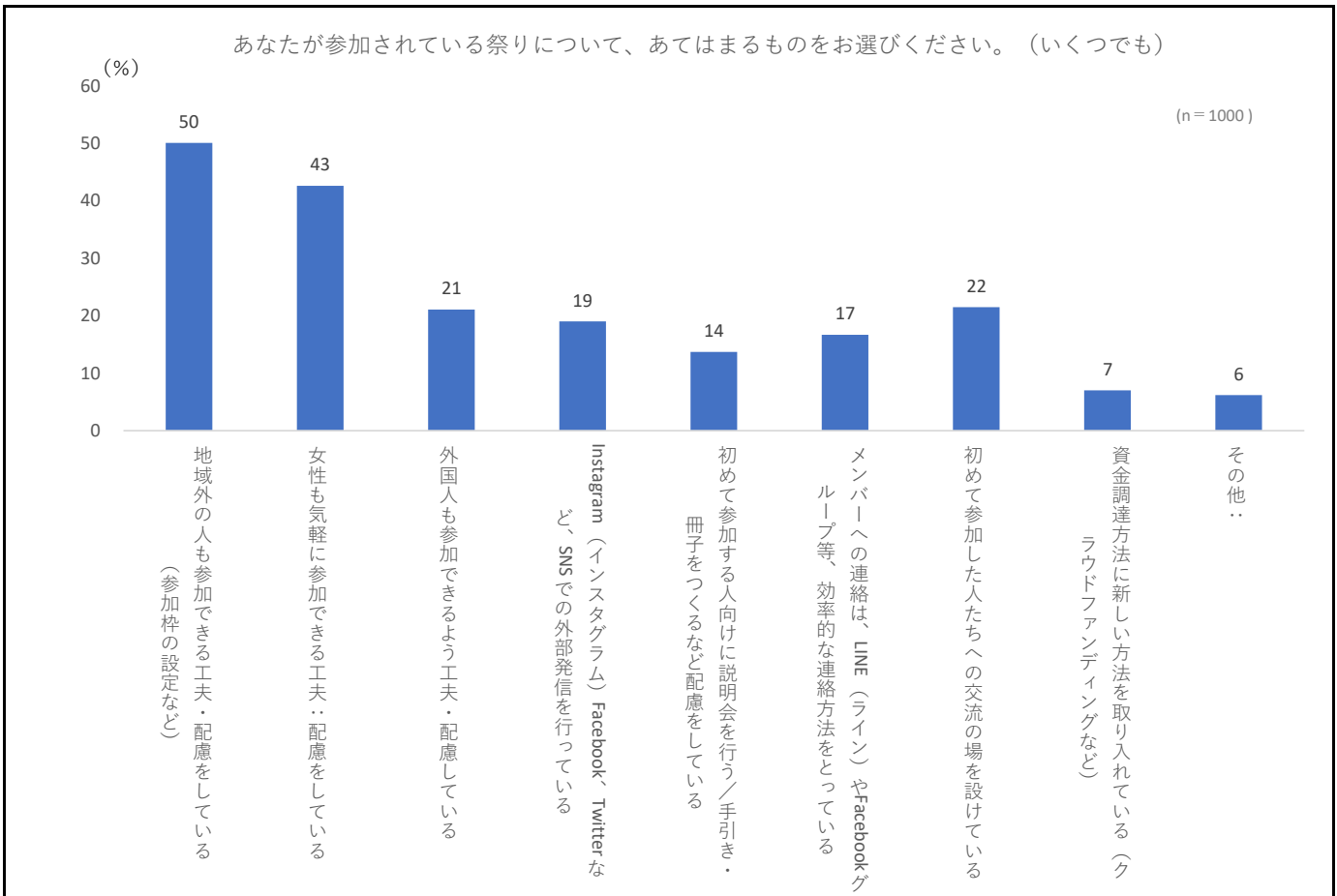
10年後

		n	大変難しい	やや難しい	わからない	まあ可能である	十分可能である	+ 可能である (十分)	難しい (大変 + や)
全体		1000	8.6	11.1	40.8	26.4	13.1	39.5	19.7
自治体区分別	人口50万人以上の市・都市区	314	7.3	11.8	37.3	28.7	15.0	43.6	19.1
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	6.7	9.7	40.3	26.9	16.4	43.3	16.4
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	12.1	7.4	43.7	23.2	13.7	36.8	19.5
	人口10万人未満の市	160	8.8	18.8	38.8	25.6	8.1	33.8	27.5
	町、村	87	11.5	8.0	39.1	28.7	12.6	41.4	19.5
	わからない	115	6.1	8.7	50.4	24.3	10.4	34.8	14.8

30年後

		n	大変難しい	やや難しい	わからない	まあ可能である	十分可能である	+ 可能である (十分)	難しい (大変 + や)
全体		1000	16.0	14.1	49.2	12.6	8.1	20.7	30.1
自治体区分別	人口50万人以上の市・都市区	314	15.3	14.6	44.9	14.6	10.5	25.2	29.9
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	10.4	16.4	56.0	9.0	8.2	17.2	26.9
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	16.8	8.4	55.3	12.1	7.4	19.5	25.3
	人口10万人未満の市	160	20.6	18.1	46.9	9.4	5.0	14.4	38.8
	町、村	87	21.8	20.7	34.5	14.9	8.0	23.0	42.5
	わからない	115	12.2	8.7	57.4	14.8	7.0	21.7	20.9

・祭りの配慮 全体では、地域外と女性への配慮が高い。
 1位:地域外の人参加できる工夫・配慮をしている(参加枠の設定など)50%
 2位:女性も気軽に参加できる工夫・配慮をしている 43%
 追って 初めて参加した人たちの交流の場を設けている(22%) 外国人の方も参加できるよう工夫・配慮をしている(21%)



Q.あなたが参加されている祭りについて、あてはまるものをすべて、お選びください。(いくつでも)

MA

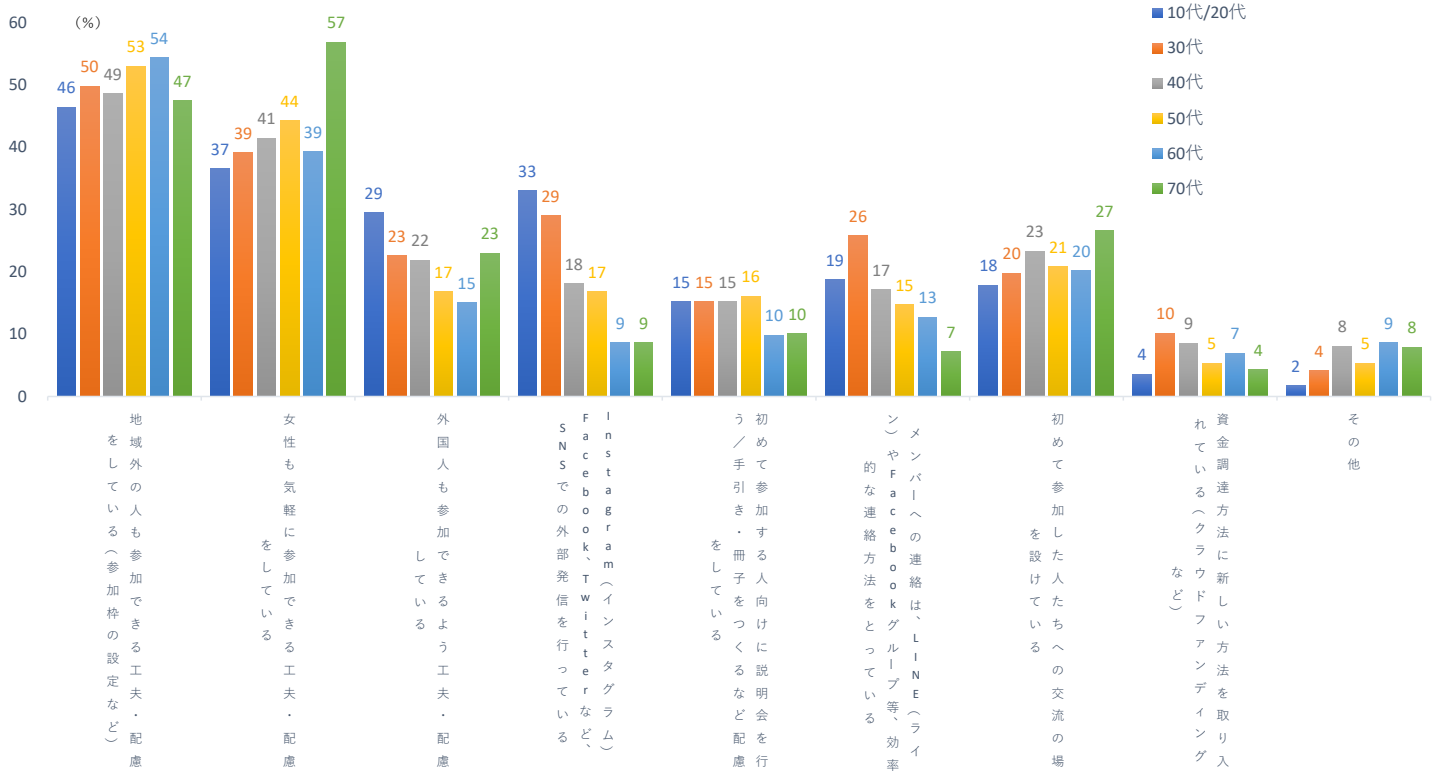
	n	%
全体	1000	100.0
地域外の人参加できる工夫・配慮をしている (参加枠の設定など)	501	50.1
女性も気軽に参加できる工夫・配慮をしている	426	42.6
外国人も参加できるよう工夫・配慮している	211	21.1
Instagram (インスタグラム) Facebook、Twitterなど、SNSでの外部発信を行っている	190	19.0
初めて参加する人向けに説明会を行う/手引き・冊子をつくるなど配慮をしている	137	13.7
メンバーへの連絡は、LINE (ライン) やFacebookグループ等、効率的な連絡方法をとっている	167	16.7
初めて参加した人たちへの交流の場を設けている	215	21.5
資金調達方法に新しい方法を取り入れている (クラウドファンディングなど)	70	7.0
その他:	62	6.2

祭りの工夫・配慮を年代別でみたところ

【10代・20代】【30代】の若年層にて、「Instagram（インスタグラム）Facebook、Twitterなど、SNSでの外部発信を行っている」が3割。

【10代・20代】は「外国人も参加できるよう工夫・配慮をしている」が3割であった。

あなたが参加されている祭りについて、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）



Q.あなたが参加されている祭りについて、あてはまるものをすべて、お選びください。（いくつでも）

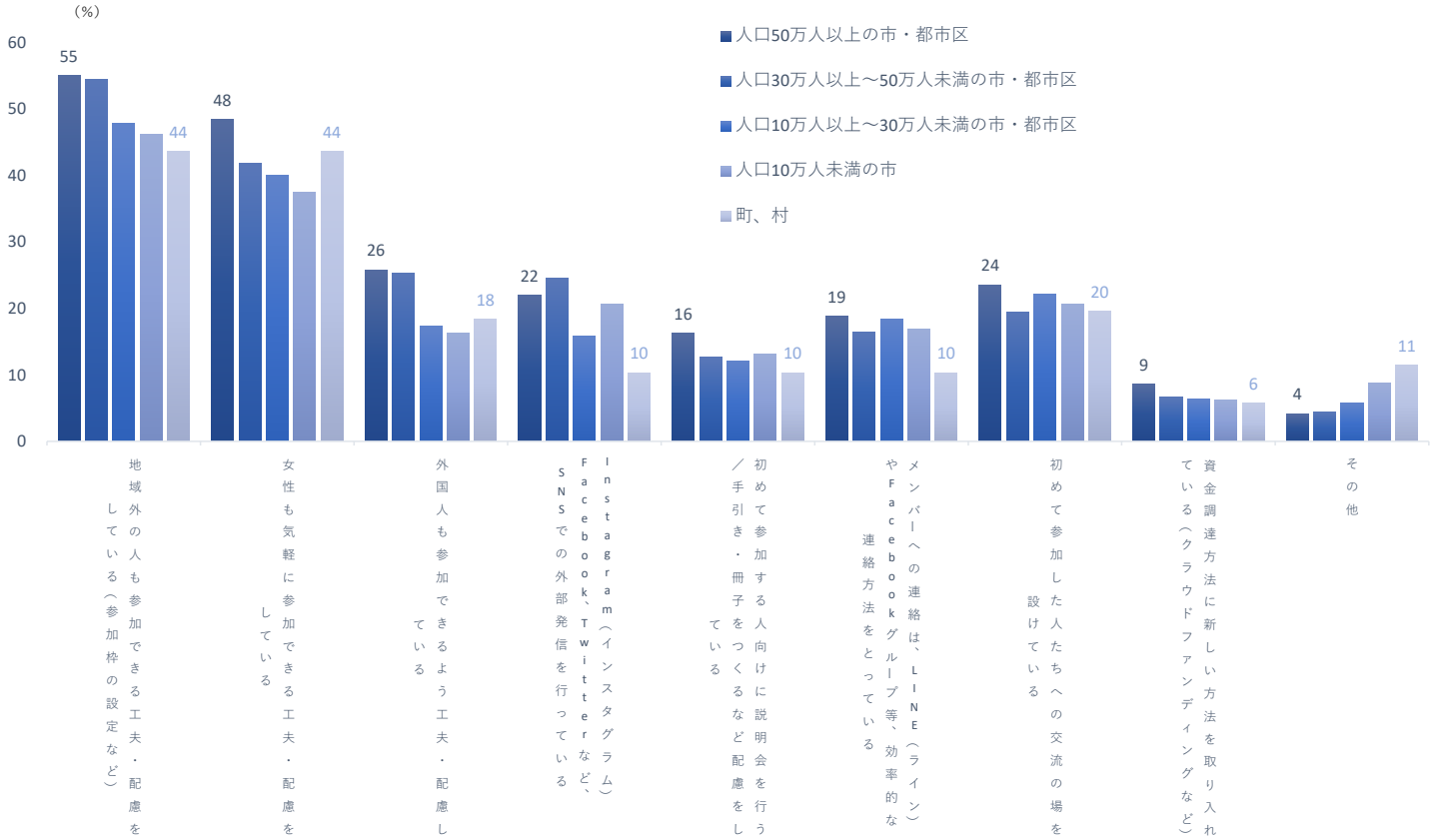
MA

		n	地域外の人も参加できる工夫・配慮をしている	女性も気軽に参加できる工夫・配慮をしている	外国人も参加できるよう工夫・配慮をしている	外部発信を行っている	Twitterなど、SNSでの	Instagram（インスタグラム）Facebook、Twitterなど、SNSでの外部発信を行っている	初めて参加する人向けに説明会を行う／手引き・冊子をつくるなど配慮をしている	メンバーへの連絡は、LINE（ライン）やFacebookグループ等、効率的な連絡方法をとっている	初めて参加した人たちへの交流の場を設けている	資金調達方法に新しい方法を取り入れている（クラウドファンディングなど）	その他
全体		1000	50.1	42.6	21.1	19.0	13.7	16.7	21.5	7.0	6.2		
年代	10代/20代	112	46.4	36.6	29.5	33.0	15.2	18.8	17.9	3.6	1.8		
	30代	217	49.8	39.2	22.6	29.0	15.2	25.8	19.8	10.1	4.1		
	40代	210	48.6	41.4	21.9	18.1	15.2	17.1	23.3	8.6	8.1		
	50代	149	53.0	44.3	16.8	16.8	16.1	14.8	20.8	5.4	5.4		
	60代	173	54.3	39.3	15.0	8.7	9.8	12.7	20.2	6.9	8.7		
70代	139	47.5	56.8	23.0	8.6	10.1	7.2	26.6	4.3	7.9			

■【自治体規模別】

- ・自治体の規模が大きい方が、「地域外」「外国人」の方の参加できる工夫・配慮の数値が高い。
- ・「SNSでの外部発信」は、「町・村」では10%にすぎない。

あなたが参加されている祭りについて、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）



【自治体区分別】

Q.あなたが参加している祭りについて、あてはまるものをお選びください。（いくつでも）

MA

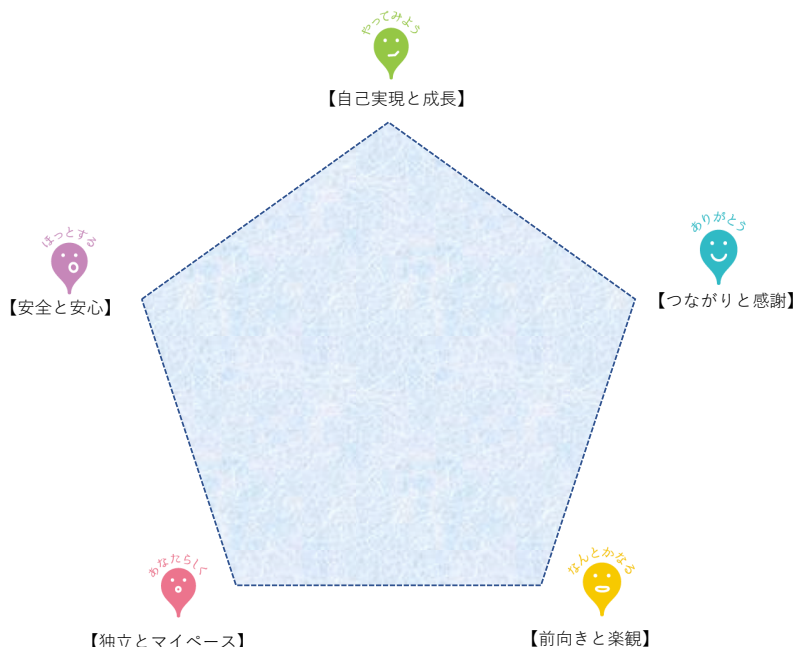
		n	地域外の人にも参加できる工夫・配慮を している（参加枠の設定など）	女性も気軽に参加できる工夫・配慮を している	外国人も参加できるよう工夫・配慮を している	SNSでの外部 発信を行っている	初めて参加する人向けに説明会を行う て／手引き・冊子をつくるなど配慮を している	効率的な連絡方法をとっている	メンバーへの連絡は、LINE（ライン） やFacebookグループ等、イ 効率的な連絡方法をとっている	初めて参加した人たちへの交流の場を 設けている	資金調達方法に新しい方法を取り入れ ている（クラウドファンディングな ど）	その他：
全体		1000	50.1	42.6	21.1	19.0	13.7	16.7	21.5	7.0	6.2	
自治体区 分別	人口50万人以上の市・都市区	314	55.1	48.4	25.8	22.0	16.2	18.8	23.6	8.6	4.1	
	人口30万人以上～50万人未満の市・都市区	134	54.5	41.8	25.4	24.6	12.7	16.4	19.4	6.7	4.5	
	人口10万人以上～30万人未満の市・都市区	190	47.9	40.0	17.4	15.8	12.1	18.4	22.1	6.3	5.8	
	人口10万人未満の市	160	46.3	37.5	16.3	20.6	13.1	16.9	20.6	6.3	8.8	
	町、村	87	43.7	43.7	18.4	10.3	10.3	10.3	19.5	5.7	11.5	
	わからない	115	45.2	38.3	18.3	13.9	13.9	13.0	20.0	6.1	7.0	

地域の幸福度は、「しあわせ風土スコア」を用いた。
幸福研究の第一人者、慶應義塾大学大学院 前野隆司教授の幸福4因子をベースにしたオリジナル指標である。

前野教授の研究によると、人がしあわせを感じる要因は大きく4つで構成される。「やってみよう(自己実現と成長)」、「ありがとう(つながりと感謝)」、「なんとかなる(前向きと楽観)」、「あなたらしく(独立とマイペース)」。この4つにしあわせな生活のベースとなる雇用、経済、防犯、防災などに関連する「ほっとする(安全と安心)」を加えた5つをしあわせ5指標と定義した。

「風」の質問は、個人が、やってみよう、ありがとう、なんとかなる、あなたらしく、ほっとする、この5つの気持ちを現在の程度感じているかを10の質問にしたもの。
「土」の質問では、地域に、この気持ちを後押しする価値観や土壌がどの程度根ざしているか。こちらも10の質問にしている。

※今回祭りの実態調査では、設問数の関係で「土スコア」のみ調査項目として反映。



「風」

個人の気持ち
現在どれほど感じているか

【風】10の質問

やってみよう指標

- 得意としていることがある
- 何か、目的・目標を持ってやっていることがある

ありがとう指標

- 人を喜ばせることが好きだ
- いろいろなことに感謝するほうだ

なんとかなる指標

- いまかかえている問題はだいたいなんとかなると思う
- 失敗やいやなことに対し、あまりよくよくない

あなたらしく指標

- 自分と他人をあまり比べないほうだ
- 他人の目を気にせずに、自分がやるべきだと思うことはやる

ほっとする指標

- 現在の暮らしや、自分の将来への不安は少ないほうだ
- 自分は安全な生活を送っていると思う

「土」

地域の価値観・土壌
5つの気持ちを後押しする価値観・土壌がどれほど根づいているか

【土】10の質問

やってみよう指標

- 自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域性、風土
- 目標を持って頑張る人を応援する地域性、風土

ありがとう指標

- 助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域性、風土
- 人間関係が豊かで、挨拶や笑顔あふれる地域性、風土

なんとかなる指標

- 挑戦することを応援し、失敗を許容する地域性、風土
- 楽観的、前向きな地域性、風土

あなたらしく指標

- 人と違うこと、個性を大切にする地域性、風土
- よそもの、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域性、風土

ほっとする指標

- 食べものや、住まいには困らない地域性、風土
- 身の危険を感じず、安全に暮らせる地域性、風土

「しあわせ風土スコア」算出方法

10の質問の5段階評価（非常によく当てはまる／少し当てはまる／どちらともいえない／あまり当てはまらない／全く当てはまらない）のトップ2ボックス（非常によく当てはまる＋少し当てはまる）の合計パーセントを足したものを「しあわせ風土スコア」（「風」「土」それぞれのスコアを加算）と定義

*1 比較参考 調査名：『地域しあわせ風土に関する調査』

調査期間：2014年2月28日～3月10日 調査方法：インターネット

対象：47都道府県、現在の地域に3年以上お住まいの社会人 20-64歳の男女

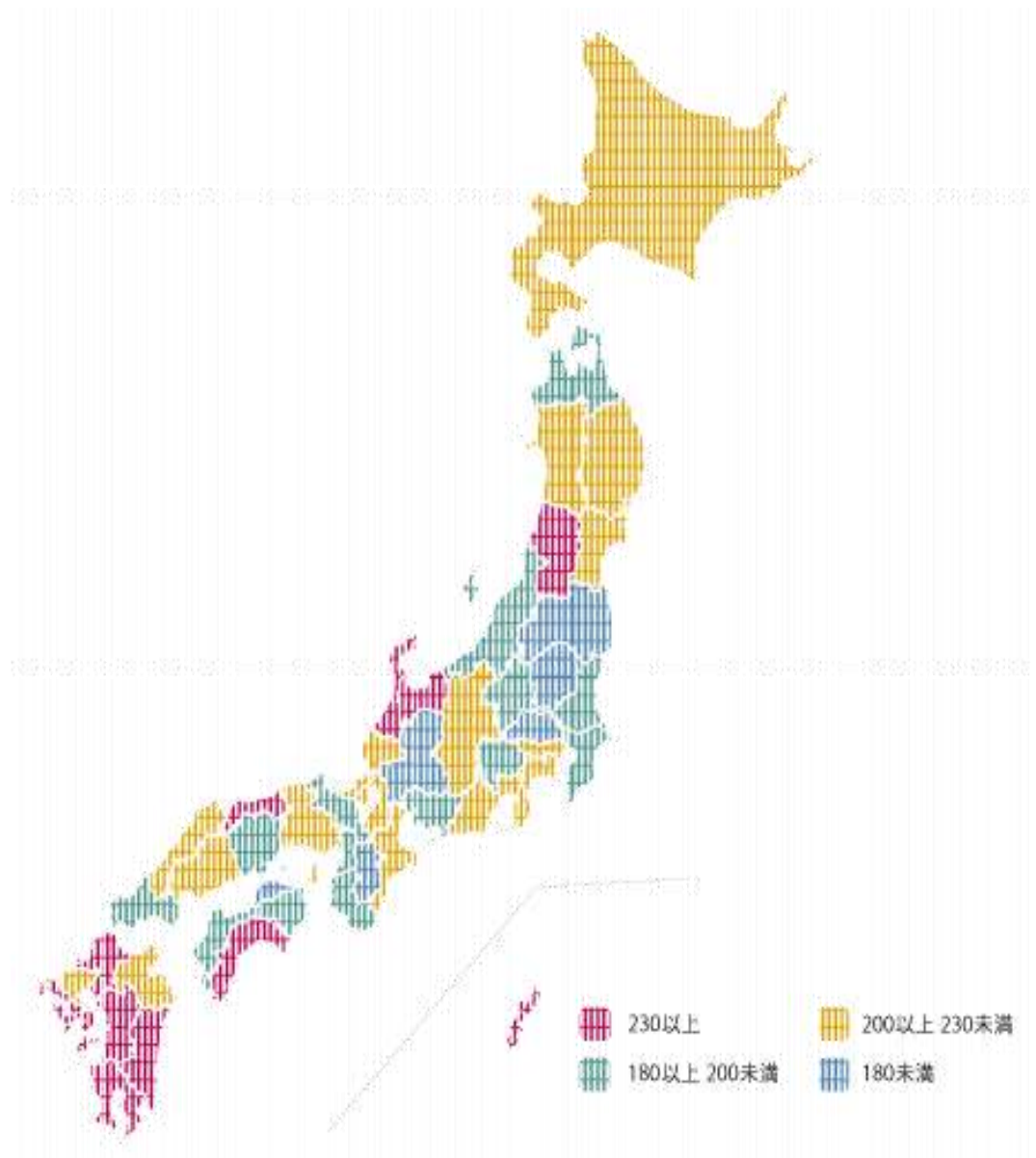
サンプル数：15,000（各都道府県各300名、男女各150名、20-34歳・35-49歳・50-64歳各年代100名）※北海道のみ道東、道央、道南、道北で各300

祭りの作り手側(n=1000)における土スコア:10の質問の合計値は360.8。
 参考比較としての「しあわせ風土調査」、土スコア47都道府県トップの沖縄県のスコアを大きく上回った。

← 祭り 作り手 360.8

- 1 沖縄県 337.3
- 2 宮崎県 273.0
- 3 鹿児島県 257.7
- 4 高知県 256.7
- 5 福岡県 252.7
- 6 熊本県 246.7
- 7 山形県 237.3
- 8 富山県 234.7
- 9 鳥取県 234.0
- 10 石川県 233.3
- 11 長崎県 230.7
- 12 兵庫県 228.7
- 13 長野県 227.3
- 14 岩手県 227.3
- 15 福井県 226.7
- 16 宮城県 225.3
- 17 島根県 225.0
- 18 佐賀県 223.7
- 19 東京都 223.0
- 20 滋賀県 222.3
- 21 静岡県 217.0
- 22 大分県 212.7
- 23 秋田県 210.0
- 24 三重県 210.0
- 25 北海道 205.9
- 26 広島県 203.3
- 27 神奈川県 200.7
- 28 和歌山県 196.7
- 29 山梨県 196.3
- 30 京都府 194.0
- 31 千葉県 191.3
- 32 岡山県 191.3
- 33 山口県 191.0
- 34 新潟県 190.3
- 35 大阪府 189.3
- 36 茨城県 189.0
- 37 徳島県 187.3
- 38 青森県 186.3
- 39 愛知県 182.3
- 40 群馬県 181.7
- 41 愛媛県 180.7
- 42 奈良県 175.3
- 43 香川県 174.7
- 44 埼玉県 174.3
- 45 栃木県 171.0
- 46 福島県 162.3
- 47 岐阜県 158.7

「土」



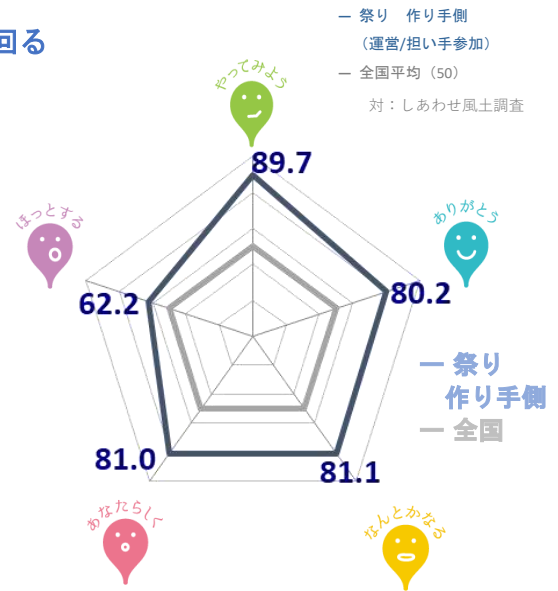
〔土〕の5指標比較

「祭りの作り手」の土指標は、全項目で全国平均を大きく上回る

個人が感じるしあわせな気持ちを後押しする地域性・土壌・価値観が、どれだけその地域に根差しているかを表すものが「土」スコア。祭りの作り手側の〔土〕スコアを、全国調査*1と比較したところ、**全ての項目で全国平均を大きく上回る結果となった。**

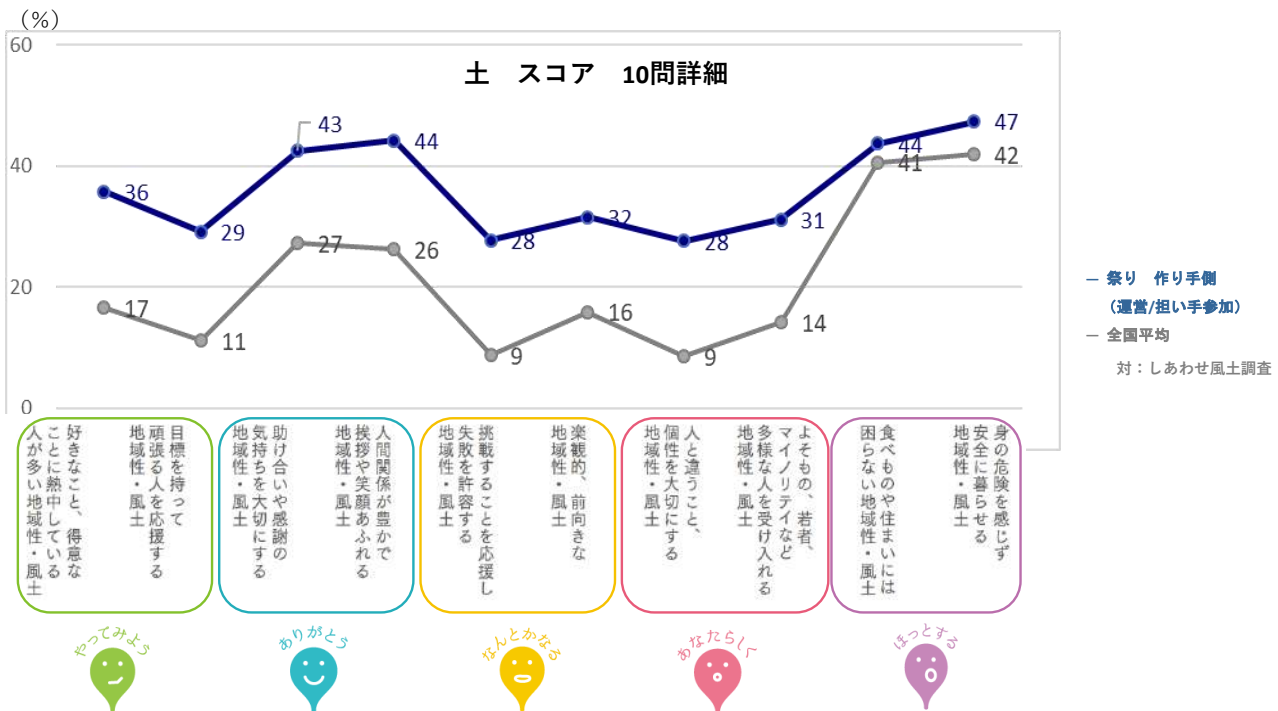
伝統的な祭りに作り手側として参加している方は、自分の住んでいる地域はしあわせな気持ちを後押しする土壌がある地域、と感じている。

「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」「あなたらしく」が突出し、中でも、全国でも低い指標「やってみよう」において、最も高い偏差値となった。



【10質問 詳細比較】

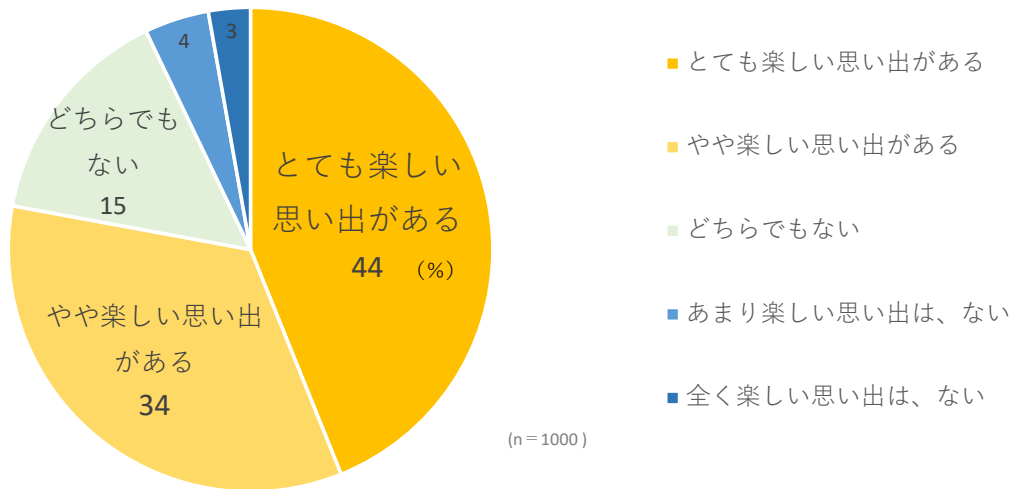
質問ごとに見てみると、偏差値でもっとも高い「やってみよう」指標の2質問は、「自分の好きなこと、得意なこと」に熱中している人が多い地域性、風土」「目標を持って頑張る人」を応援する地域性、風土」である。



	n	全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	少しあてはまる	非常によくあてはまる	T O P 2	B T T M 2
1.自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域性、風土	1000	5.6	12.4	46.2	27.1	8.7	35.8	18.0
2.目標を持って頑張る人を応援する地域性、風土	1000	5.1	12.1	53.7	20.9	8.2	29.1	17.2
3.助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域性、風土	1000	4.3	9.2	44.0	31.8	10.7	42.5	13.5
4.人間関係が豊かで、挨拶や笑顔あふれる地域性、風土	1000	4.3	7.4	44.1	33.5	10.7	44.2	11.7
5.挑戦することを応援し、失敗を許容する地域性、風土	1000	4.6	12.6	55.1	19.7	8.0	27.7	17.2
6.楽観的、前向きな地域性、風土	1000	4.5	10.1	53.8	23.6	8.0	31.6	14.6
7.人と違うこと、個性を大切にする地域性、風土	1000	5.1	12.7	54.6	19.3	8.3	27.6	17.8
8.よそもの、若者、マイリテイなど多様な人を受け入れる地域性、風土	1000	5.5	13.5	49.8	23.1	8.1	31.2	19.0
9.食べものや、住まいには困らない地域性、風土	1000	3.5	7.3	45.5	31.0	12.7	43.7	10.8
10.身の危険を感じず、安全に暮らせる地域性、風土	1000	4.3	7.6	40.7	35.7	11.7	47.4	11.9

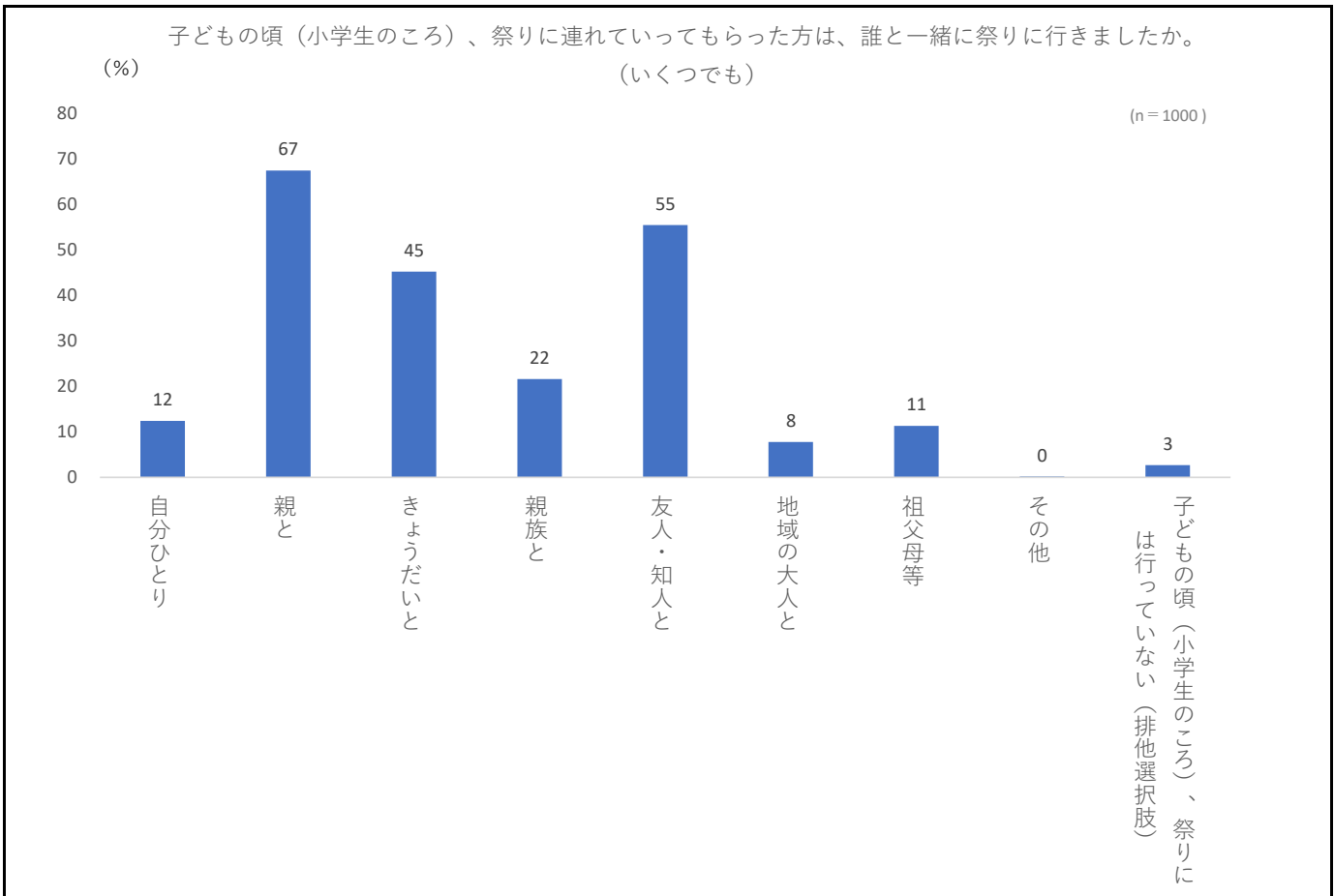
・子どもの頃の祭りについては、「とても楽しい思い出がある」「やや楽しい思い出がある」の合計は78%だった。
作り手側の8割は楽しい思い出がある。

Q.子どもの頃（小学生のころ）、あなたは祭りに行くことに対して、どのような思い出が残っていますか。あてはまるものをお選びください。
※どちらの思い出もある方は、どちらかというと、でお選びください。



SA	n	%
全体	1000	100.0
とても楽しい思い出がある	439	43.9
やや楽しい思い出がある	340	34.0
どちらでもない	150	15.0
あまり楽しい思い出は、ない	43	4.3
全く楽しい思い出は、ない	28	2.8
TOP2	779	77.9
BTTM2	71	7.1

・全体では、親(67%)、友人・知人(55%)、きょうだい(45%)と続く。



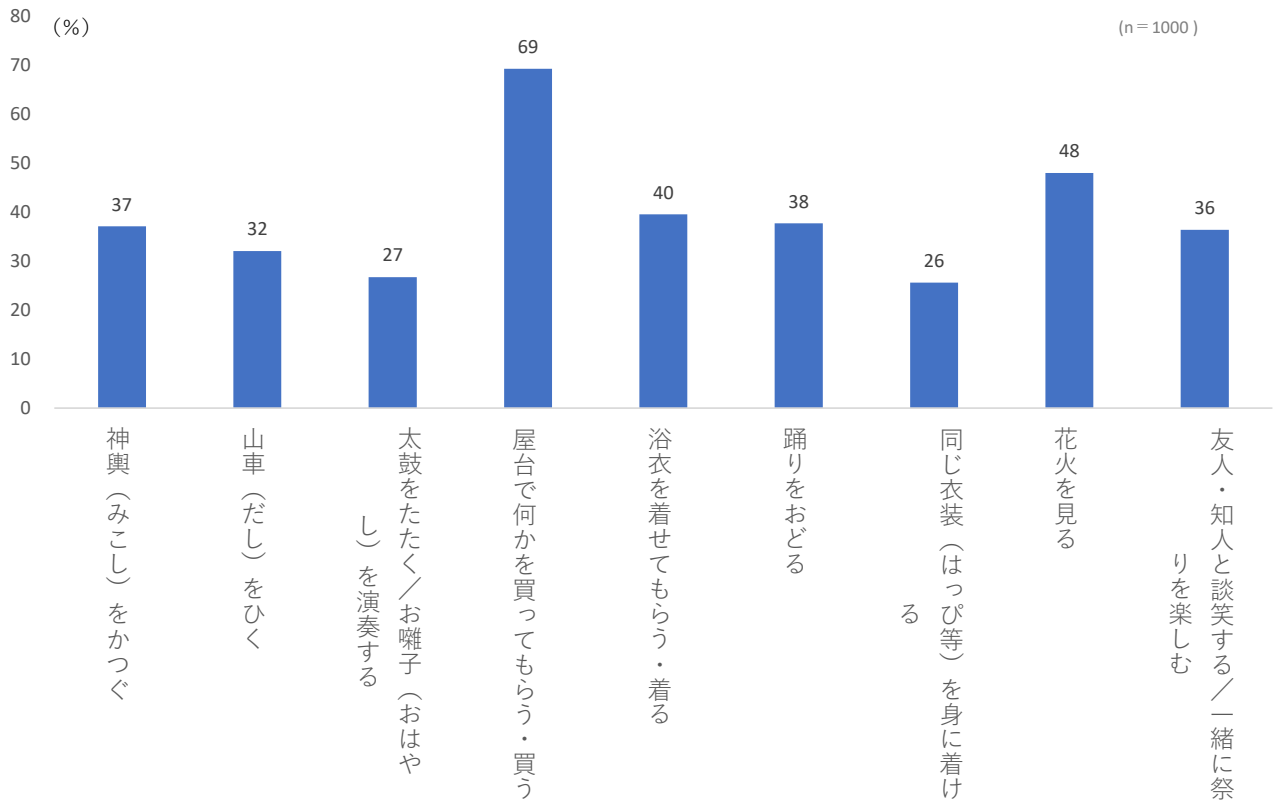
Q.子どもの頃（小学生のころ）、祭りに連れていってもらった方は、誰と一緒に祭りに行きましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	1000	100.0
自分ひとり	124	12.4
親と	674	67.4
きょうだいと	452	45.2
親族と	216	21.6
友人・知人と	554	55.4
地域の大人と	78	7.8
祖父母等	113	11.3
その他	2	0.2
子どもの頃（小学生のころ）、祭りには行っていない（排他選択肢）	27	2.7

・全体トップは「屋台で何かを買ってもらう・買う」(69%)、次に「花火を見る(48%)」、「浴衣を着せてもらう、着る(40%)」となった。
 ・神輿をかつぐ 経験のある方は37%、山車をひく 経験のある方は32%、太鼓をたたく／お囃子を演奏する(27%)となった。

子どもの頃（小学生のころ）、祭りで何をしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）



Q.子どもの頃（小学生のころ）、祭りで何をしましたか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

MA

	n	%
全体	973	100.0
神輿 (みこし) をかつぐ	361	37.1
山車 (だし) をひく	312	32.1
太鼓をたたく／お囃子 (おはやし) を演奏する	260	26.7
屋台で何かを買ってもらう・買う	674	69.3
浴衣を着せてもらう・着る	385	39.6
踊りをおどる	367	37.7
同じ衣装 (はっぴ等) を身に着ける	249	25.6
花火を見る	467	48.0
友人・知人と談笑する／一緒に祭りを楽しむ	354	36.4
その他 :	8	0.8

祭り存続の危機 - 「町・村」から進行中 -

- ・既に「町・村」では祭りの担い手が不足。そもそもの祭りの開催が危ぶまれ、「町・村」4割ではルール変更を行い、祭りの存続を模索している現状がある。
- ・自治体規模「町・村」での「祭り自体の存続が危機である」は4割。（全体では2割）
- ・「町・村」に限らず、ルールを変更した方の76%が「変更して良かった」としている。祭り存続のため、負担軽減等のルール変更は1つの案である。
- ・「町・村」の作り手は、「30年後」は「祭りの継続は難しい」が4割だった。自治体の規模を問わず、作り手全体（1000）でも、30年後「祭りの継続が可能である」は2割であった。今は大丈夫な自治体でも、存続のための対応は検討しておく必要があるだろう。

【困りごとの実態】とにかくまずは人

①運営側の高齢化が進んでいる

70代でも現状は運営側のコアメンバー。体力的に厳しさが増している。

②引継ぎができていない

若手メンバーが不足な上、引継ぎ内容は紙になっていない。その状態の中「①運営側の高齢化」が進行していく

③担い手の減少・不足

若い方がそもそもいない／いても参加側へ呼び込めない／参加してもらえない

④参加側の「不公平感」や「強制感」

⑤資金面

人口減から、祭りの予算である町会費・寄付金のみでは厳しくなることも。

補助金、クラウドファンディング・募金も有効か

⑥ゴミ・騒音・マナー

【参加側：担い手として来てもらうために】

■地域内の取り組み

①子ども時代に、祭りに行き楽しい思い出をもってもらおう

- ・作り手として入ってもらうためには、子どもの頃に祭りで楽しい思い出があることが非常に重要。

楽しかった思い出があるなじみの祭りであれば、ゆくゆくは地域の（もしくは新地域でも）

作り手として協力する可能性が高まる。

- ・学校や市区町村と一緒に祭りに取り組むことも有効と思われる。

できれば参加側の経験も全員にしてもらえると、なお良い。

- ・町会からの要請で入るのは60代、70代。

若い方は、親が祭り参加者だったり、祭りになじみのある友人経由と限られてしまう。

- ・若手の参加を促すには、学校で一斉に告知、SNSで祭りを広く発信・募集など

アナログでもデジタルでも、若い方が目にする方法での施策が必要。

マンションで説明会を開く、企業に人員をお願いに行く等、

回覧板での告知や、ポスター啓示以外に、新しい試みを。

【参加側：担い手として来てもらうために】

■地域内（つづき）

・単に告知や募集といっても「何をするのか」「どのくらい拘束されるのか」「抜けられなくなるのでは」と敬遠されてしまうこともある。どの年代を募集し、何を担当してほしいのか（考えてほしいのか）関わってほしい頻度を含めて（毎回参加でなくてもよいなど）伝える必要がある。毎回会合でなくても共有できるよう、連絡・シェア方法は若手組織・青年部だけでもSNSにするなど、やり方は検討できるかもしれない。

- ・祭りに由来や起源があれば、ぜひ伝える方向を。
歴史や背景を伝えることが、地域や住む方の誇りを高める要素にもなりうる。

■地域外

以下のような、近隣や遠方から支援をしてもらう方法も有効か

- ・祭りサポータークラブの立ち上げ（エリアにこだわらない応援）
- ・近隣区域との持ち回り。助け合いで連携、相互補助
- ・担い手連携（例えば踊ってほしい大学生に来てもらうような試み）
- ・大学生のゼミ／専門学校と授業やテーマの一環として連携
- ・クラウドファンディングで資金調達

【作り手となることで、得られるメリットを伝える】

作り手側は、

- 「地域の人と協力することは楽しい」「地域に対する愛着が増した」
- 「自分が地域をよくしたい」「地域の役に立つことをしたい」など良き面が多数である。

作り手側として関わることで、人として得られる側面を伝えることも重要。

子どもや、生徒にこうなってほしい、経験を通して得られる傾向を
住民はもちろん、親や教育関係者に伝えることも有効ではないか。

【若年層の仕事】

作り手側の若年層が、地域外からの支援で欲しいもののトップは「外部の発信支援」であった。

また、作り手若年層が、祭りの課題としているものに「祭りとしての活気に欠ける」があった。

なんとか自分たちの祭りを盛り上げたい意向が感じられる。

写真や動画をつけて共有し、祭りを知ってもらうこと、一緒に地域を盛り上げていこうと外部へ発信をサポートすることは良いかもしれない。

例えば、自由回答で祭りで使ううちわを一緒につくろう、と呼びかけをSNSにアップしている例があった。何をするかがわかり、楽しそうという雰囲気を作る側を増やすきっかけとなる…かもしれない。

【テーマを掲げる】

- ・作り手の若年層は、祭りで「町のゴミ」が増えることを懸念している。
ゴミの削減に取り組む葵祭のように、テーマを持って取り組みを考えてもらうのも良いかもしれない。

【定着】

若年層と女性は、参加年数が短い傾向にあった。（定着面）

青年部的なものがない場合は、そういったものを置く、若い方や年齢関係なく「祭りサポータークラブ」立ち上げてみる初めて参加した人たちの交流の場を設けるなど、定着しやすくする枠組みも有効か。

【引継ぎ問題（手順）】

若い方やサポーターに入ってもらい、準備や手順を聞き取り

マニュアル化／整理をしてもらうことも良いかもしれない。

全てが力仕事での貢献ではなくても、パンフレットのデザインだったり、できることは多数あるのではないか。